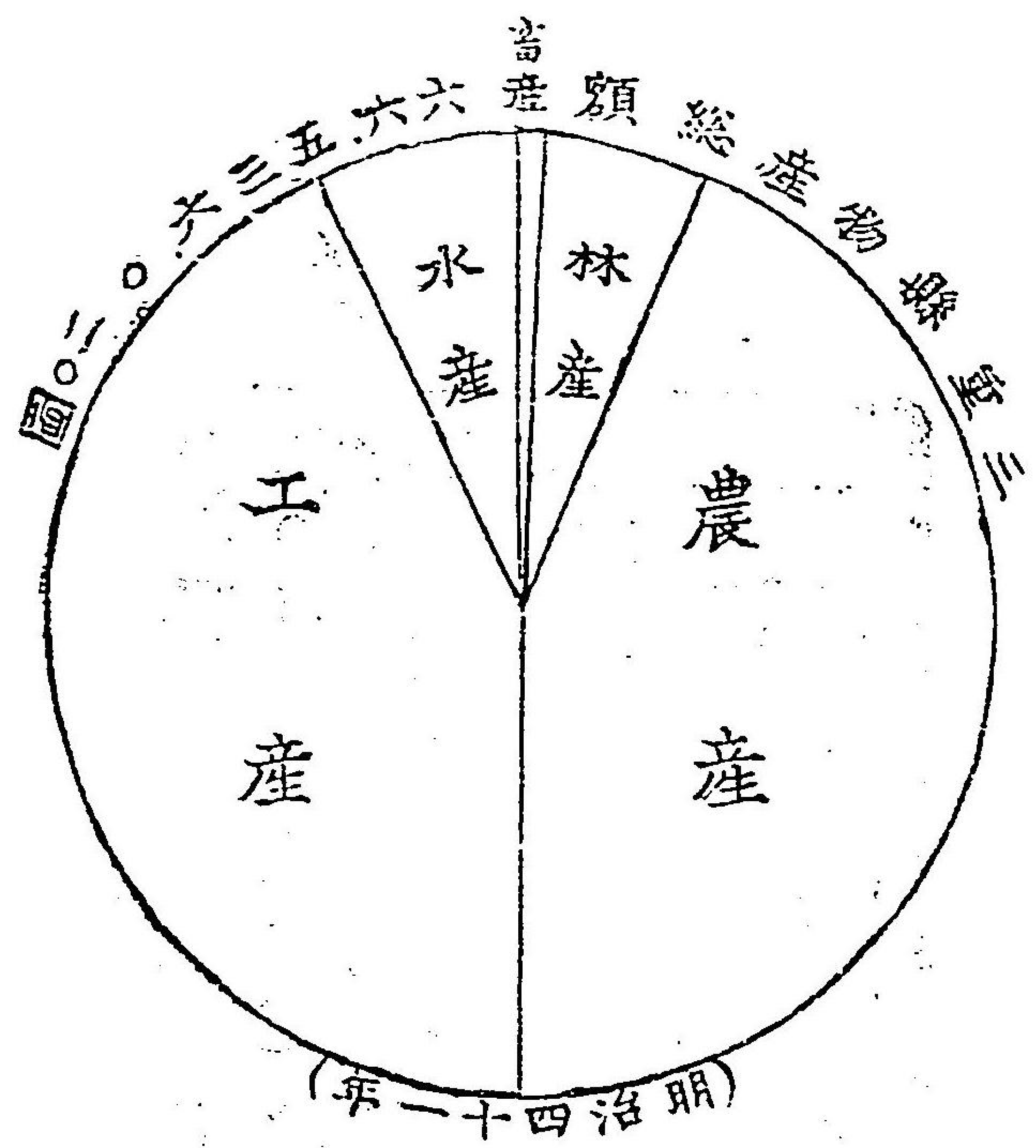


25  
899

三  
葉  
實  
孫  
察  
內



28-899



明治四十三年三月

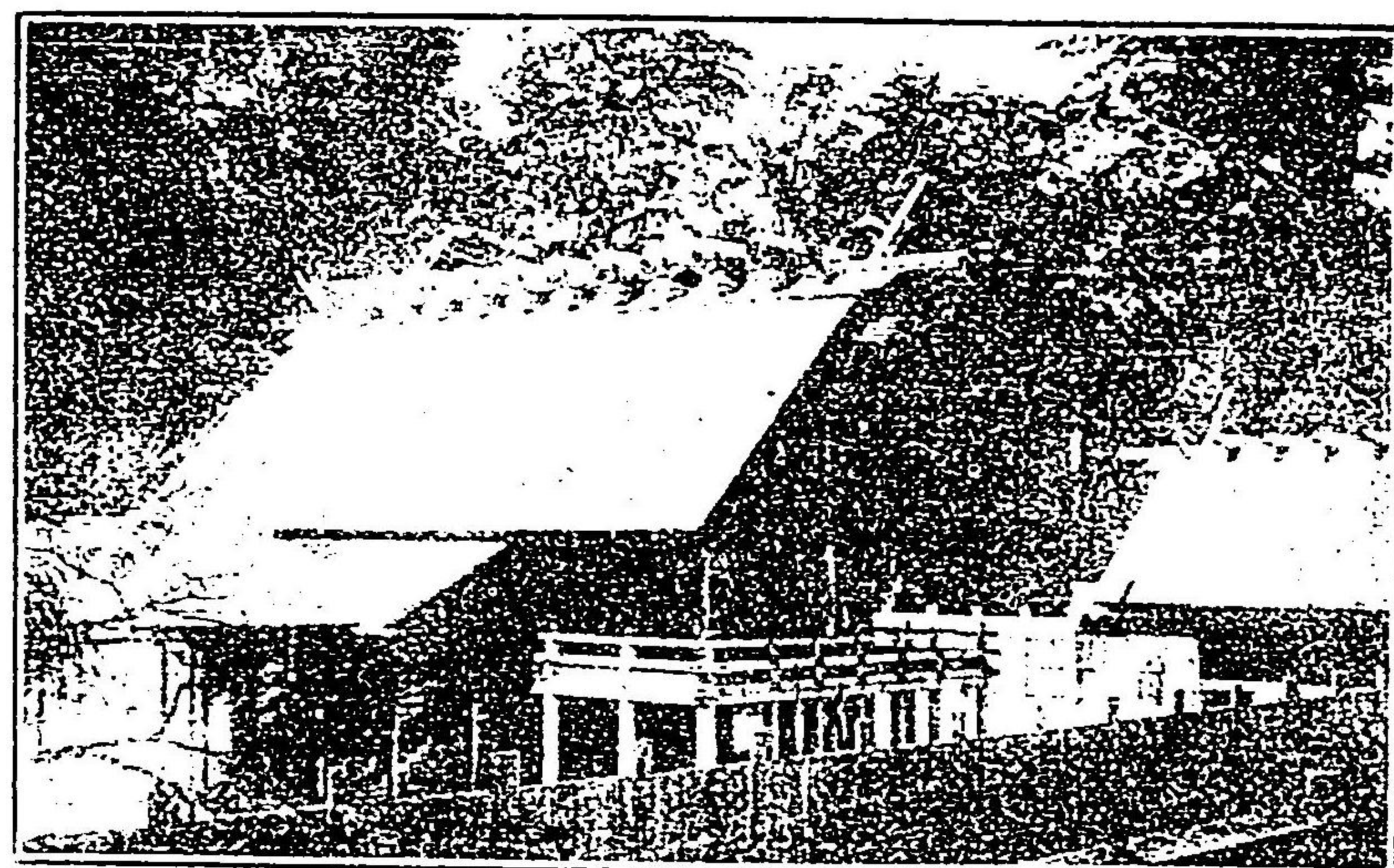
# 三重縣實業案

第十四關西府  
縣聯合共進會  
三重縣協賛會

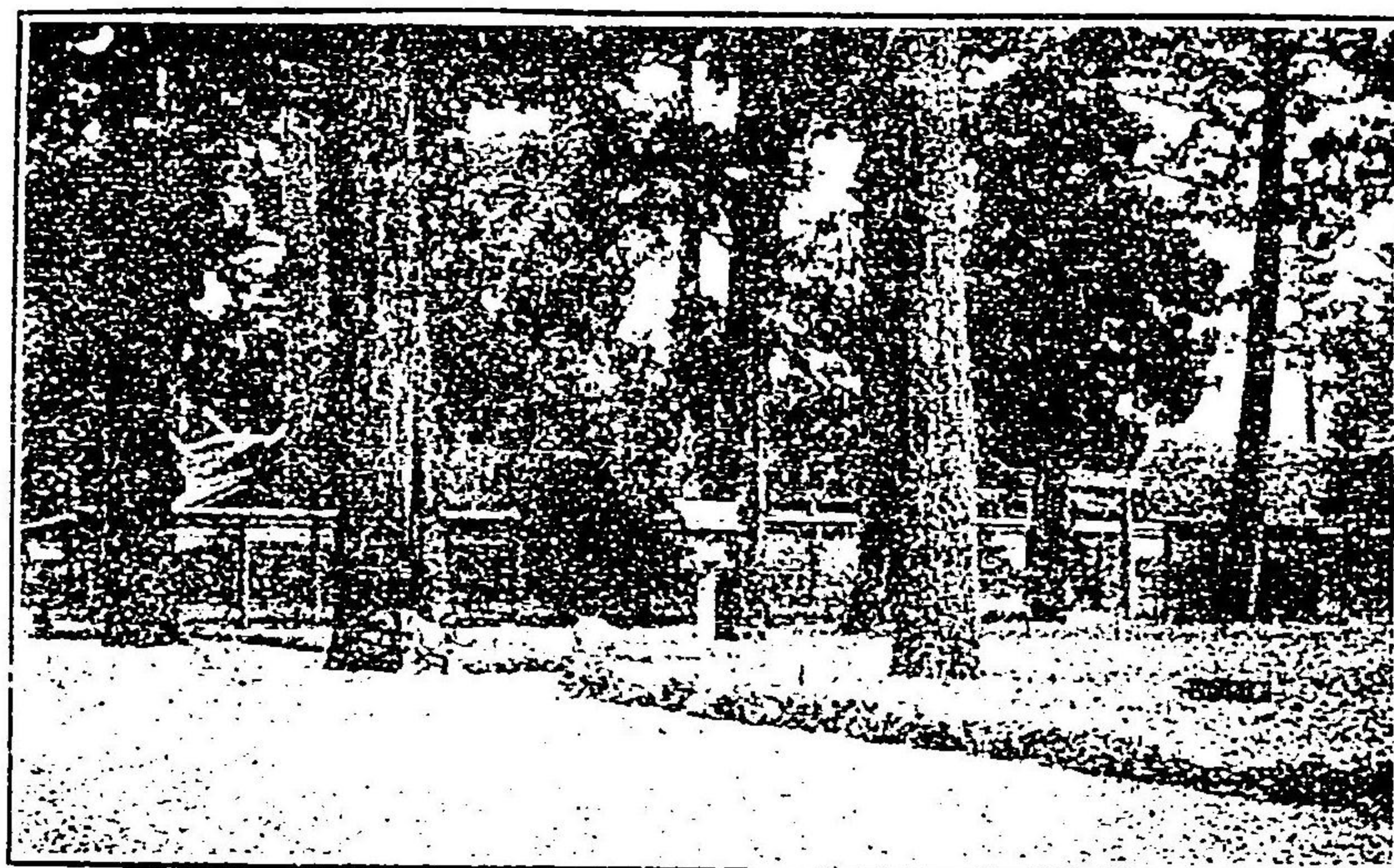
43. 3. 19

內文





宮 内

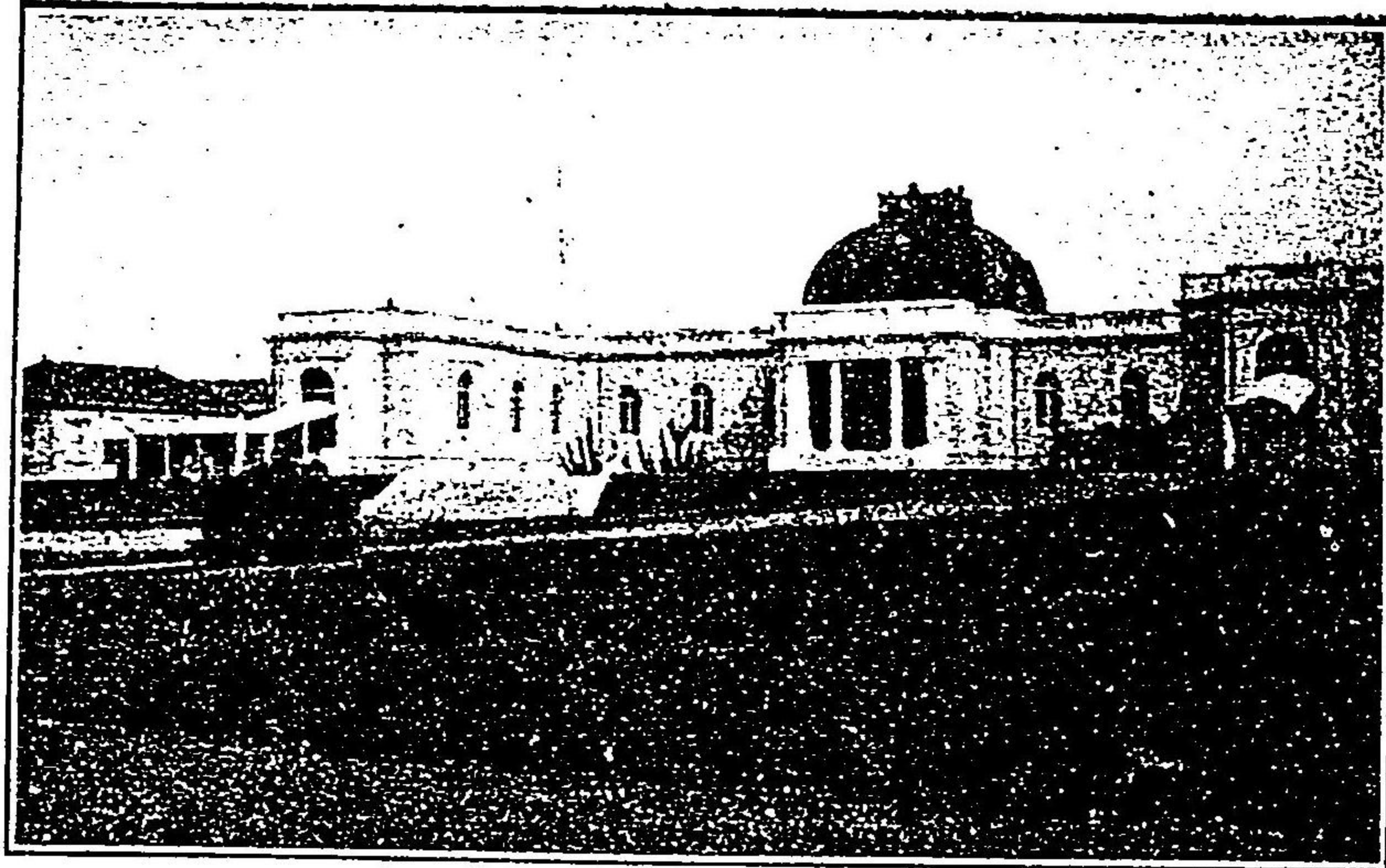


宮 外

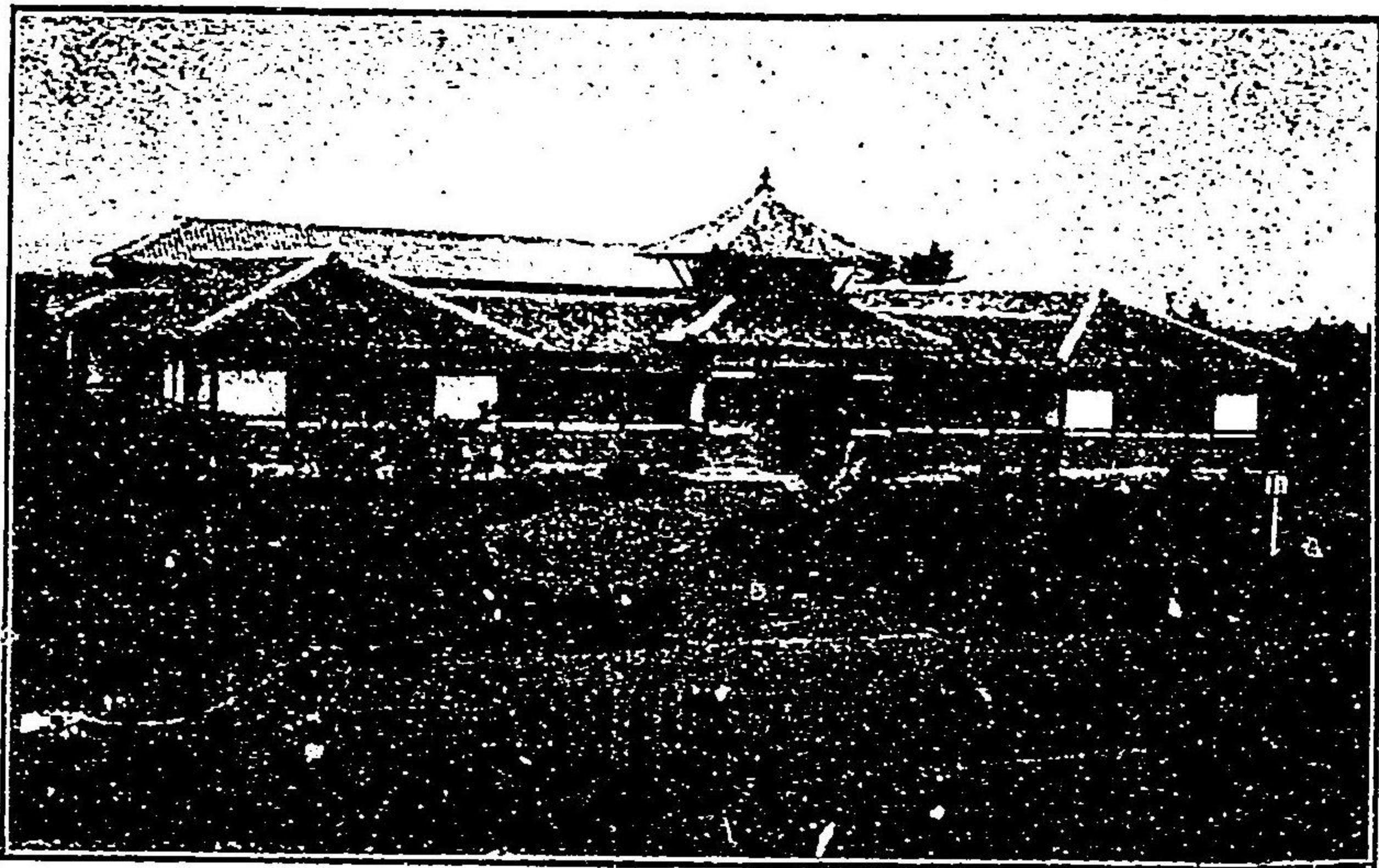


三 重 縣 願

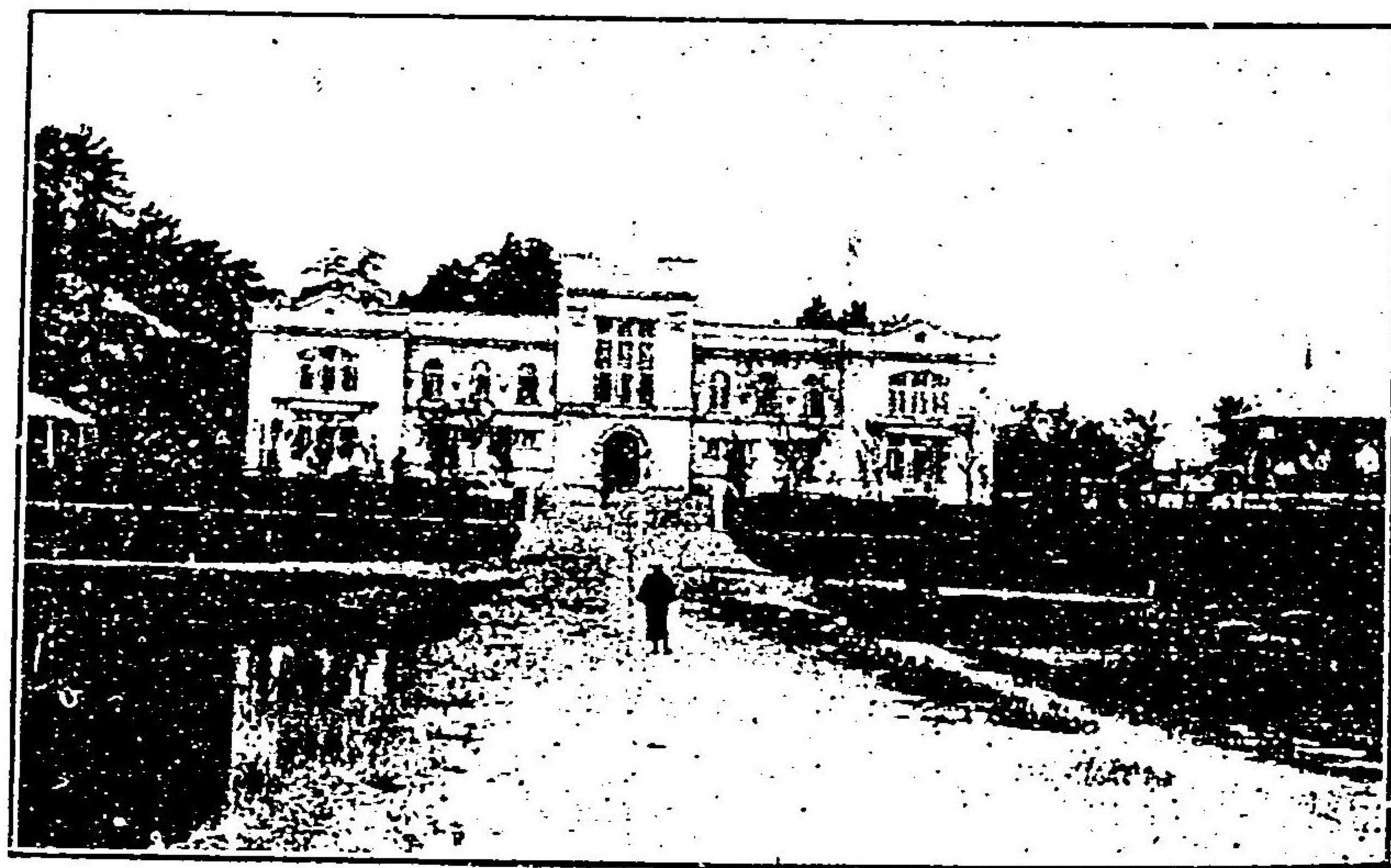




徵古館

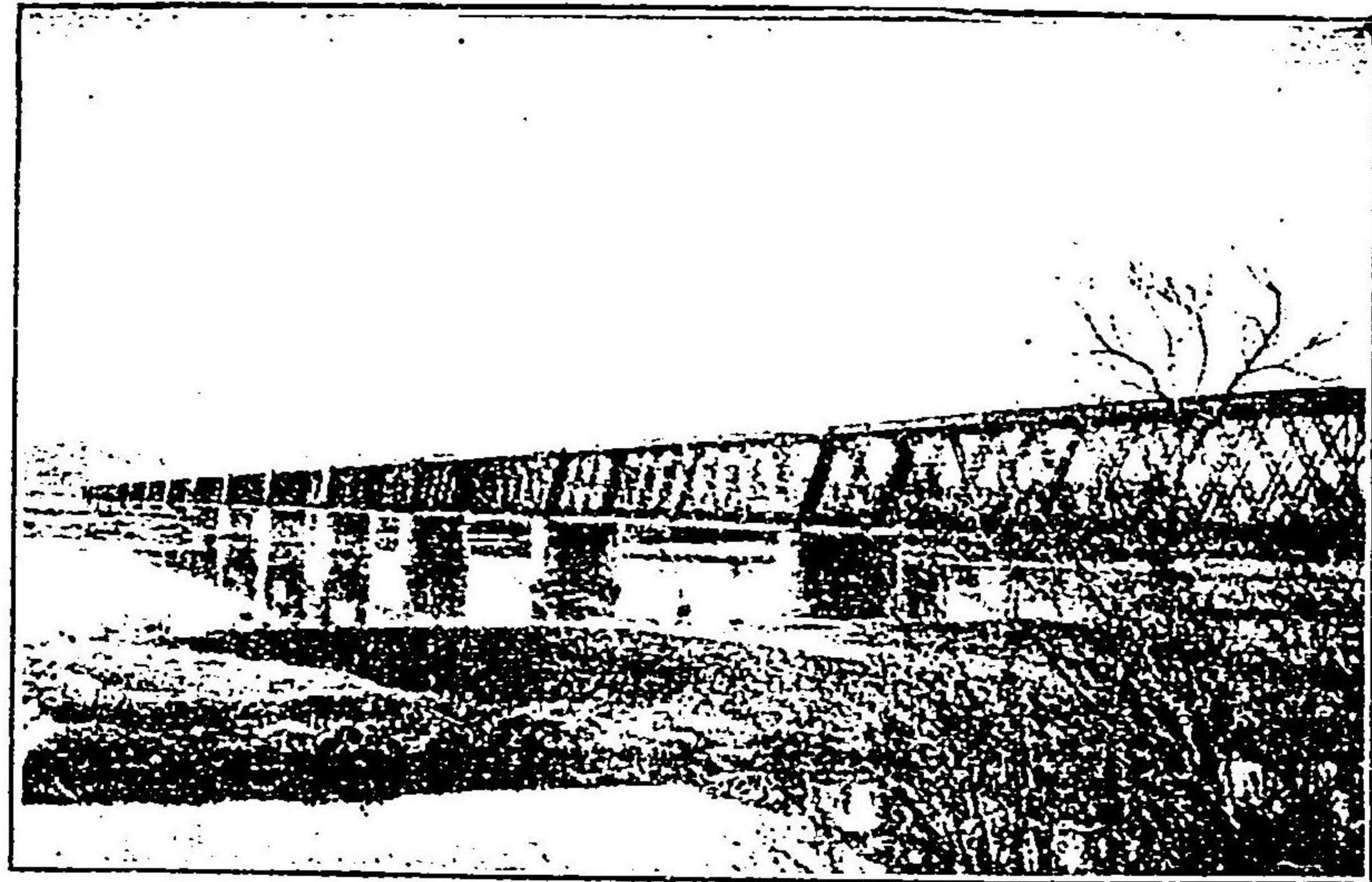


農業館

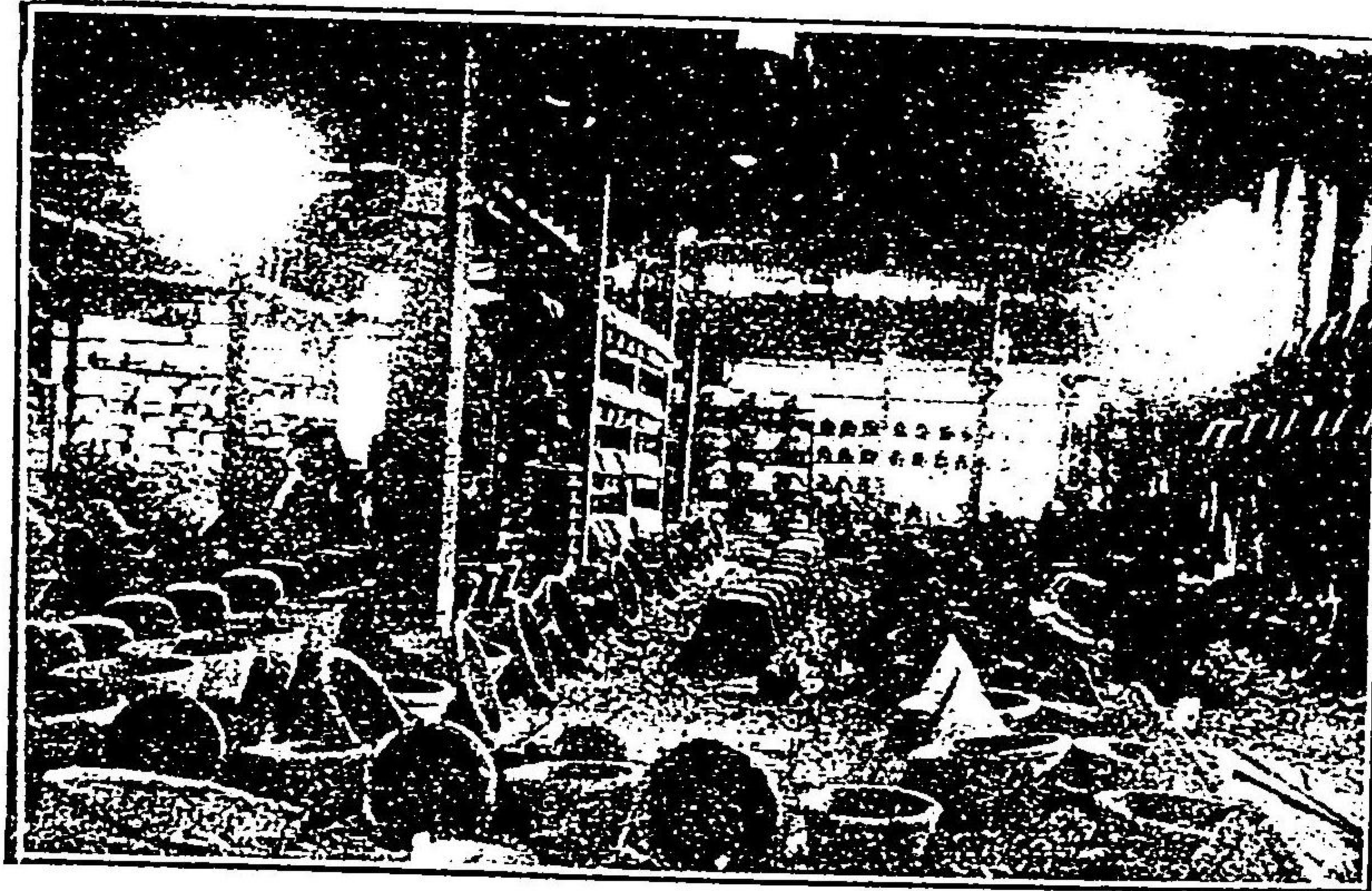


三重縣勸業陳列館

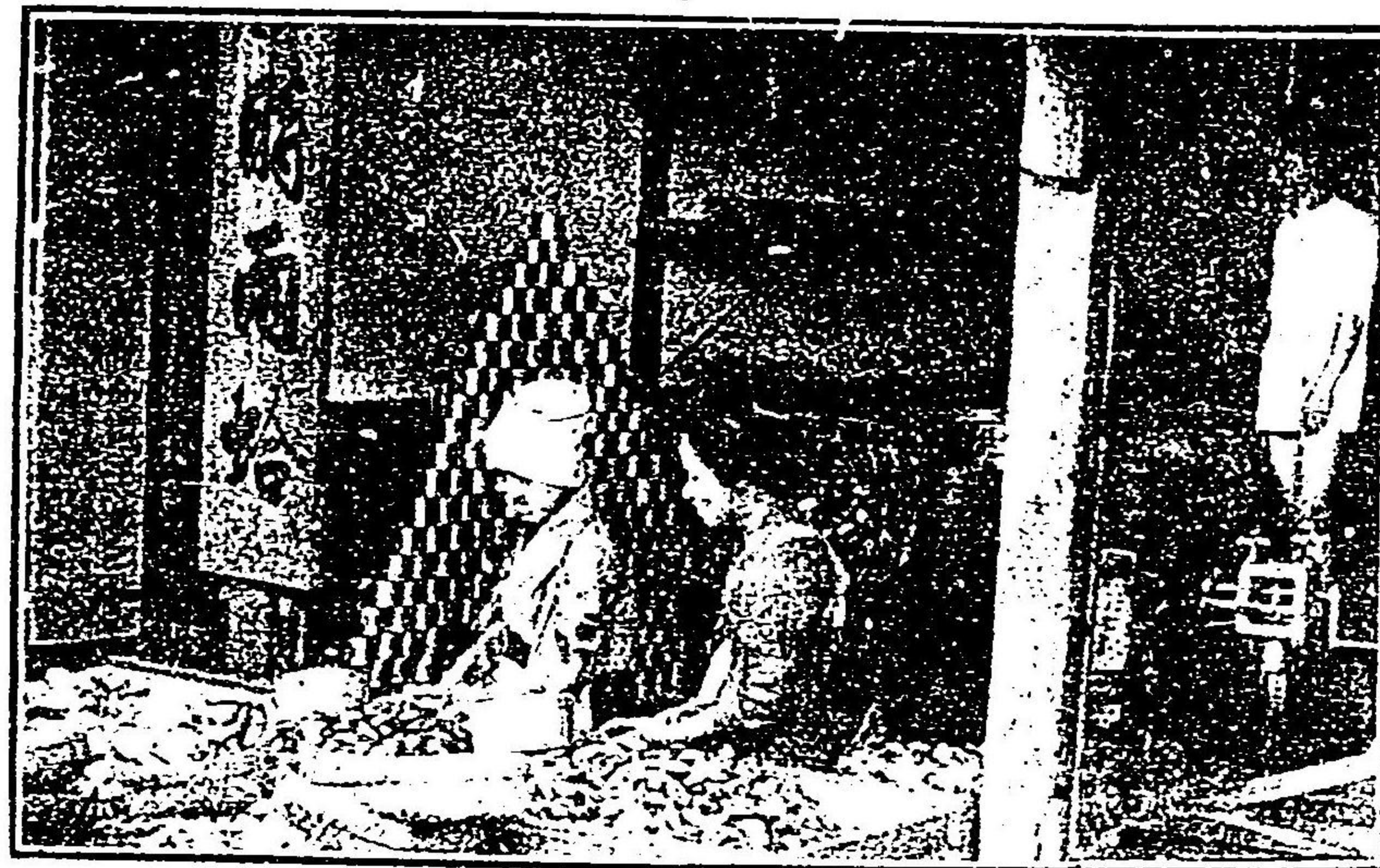




楡 鐵 川 菱 揖

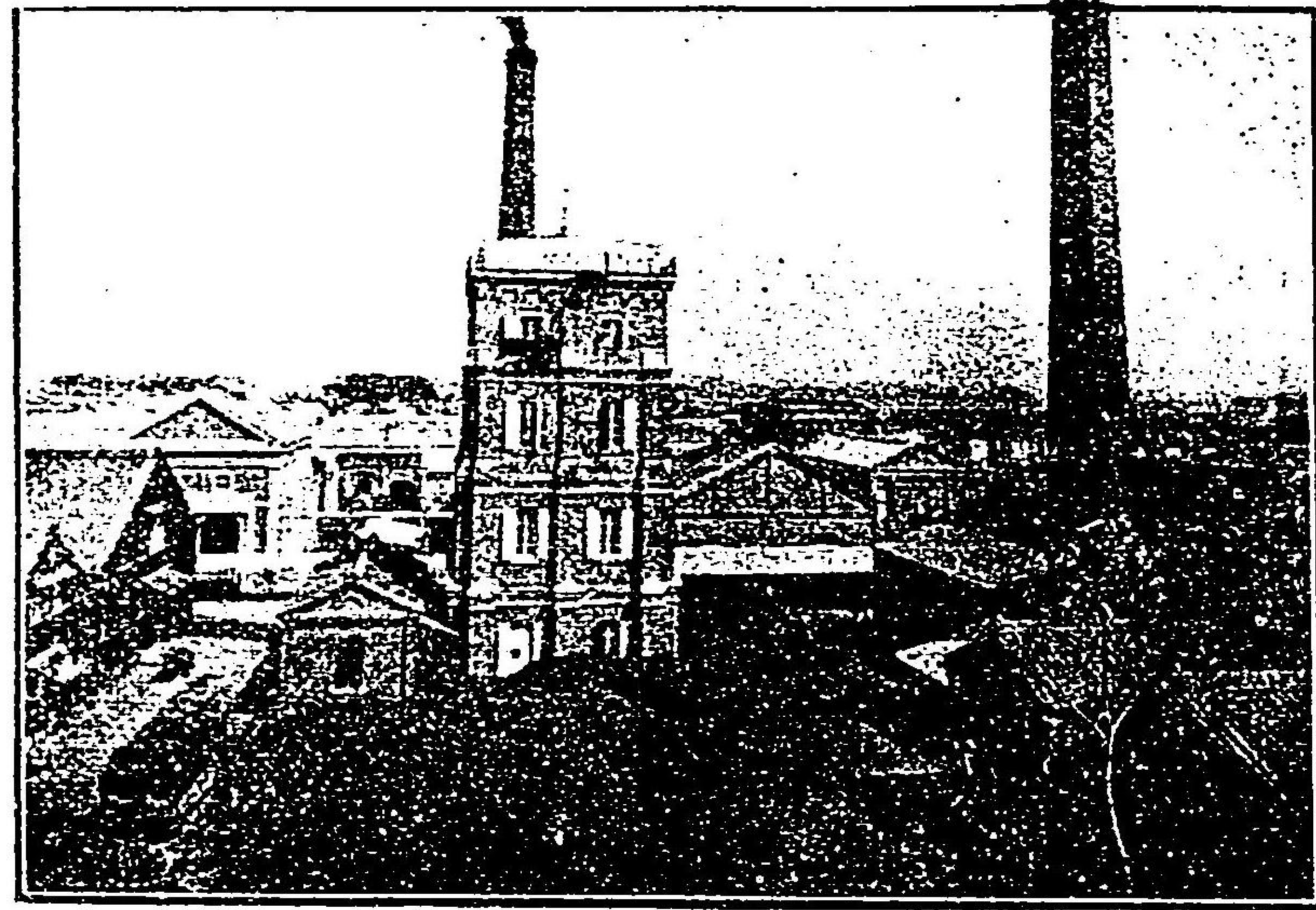


場 工 器 鐵 耶 珙

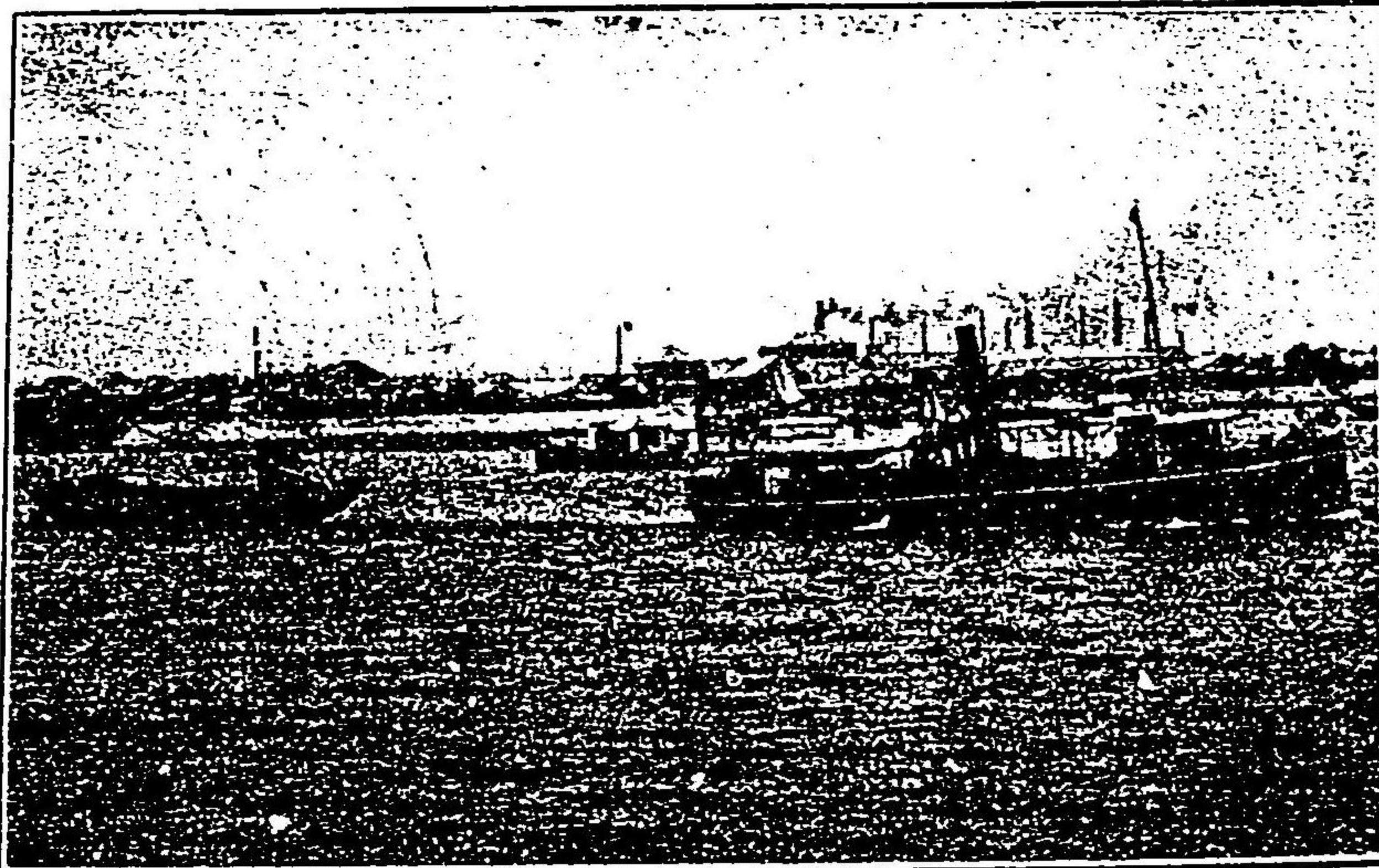


蛤 雨 時 の 名 桑





三 重 紡 績 株 式 會 社

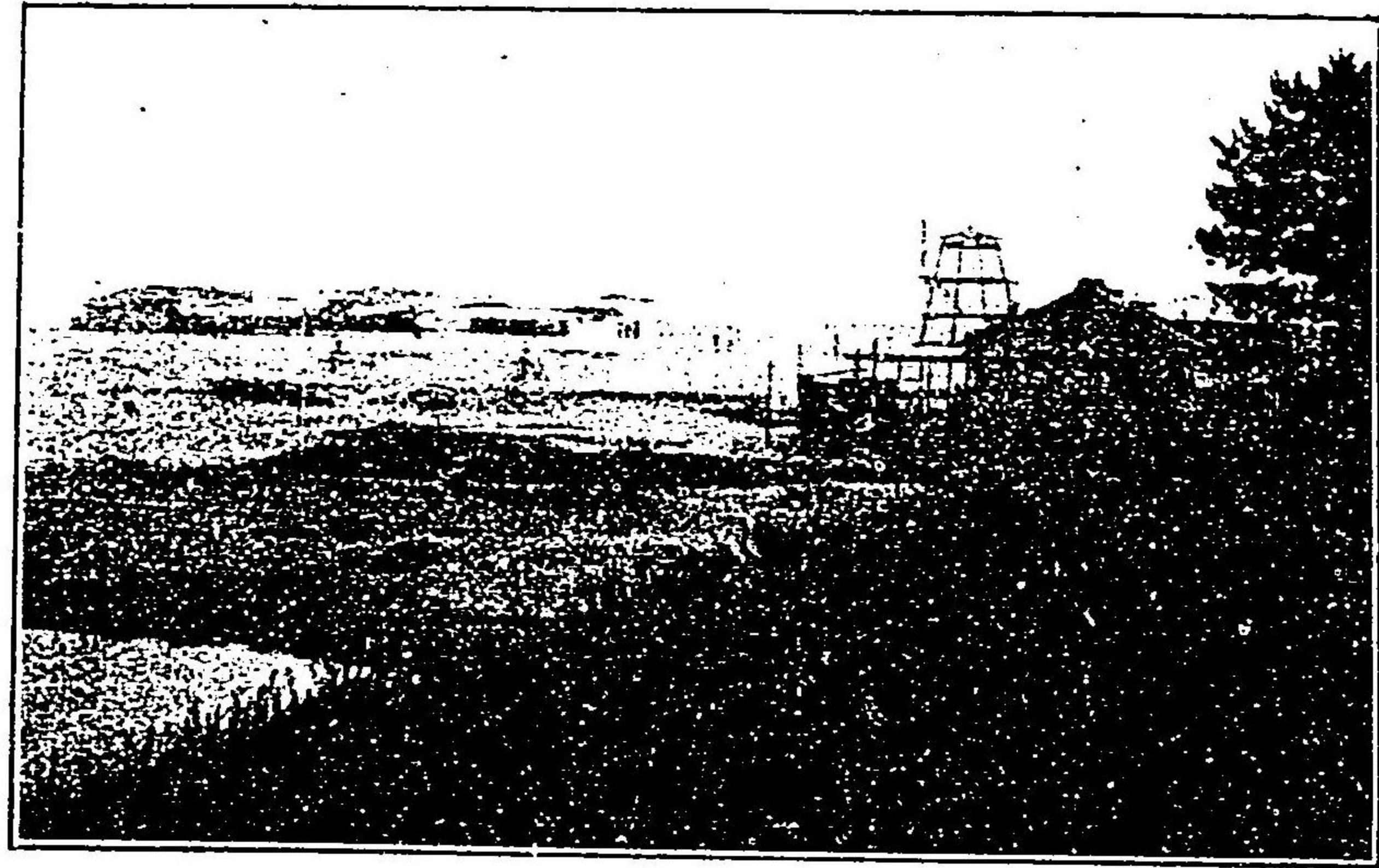


四 日 市 港

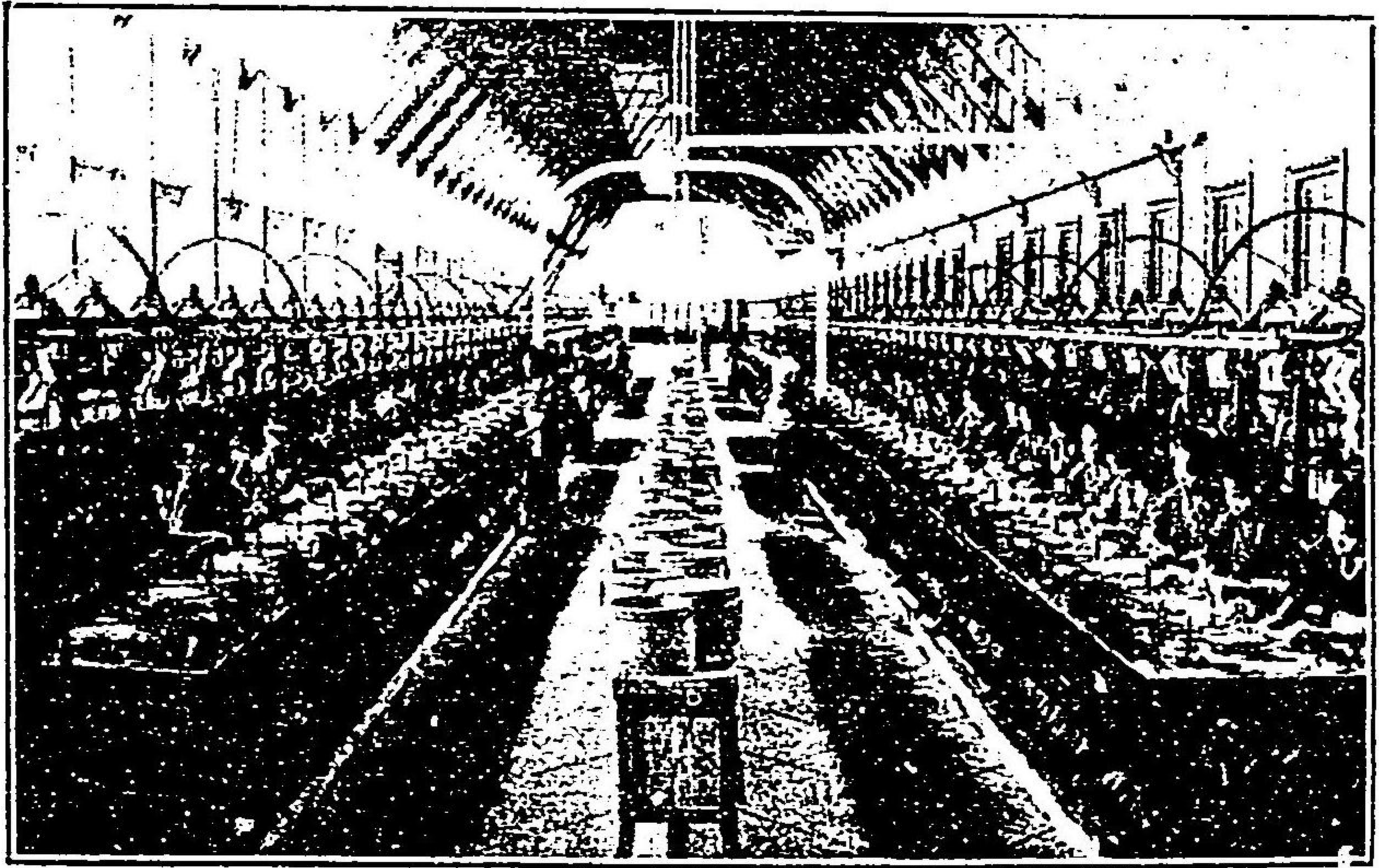


萬 古 燒 川 村 組 工 場

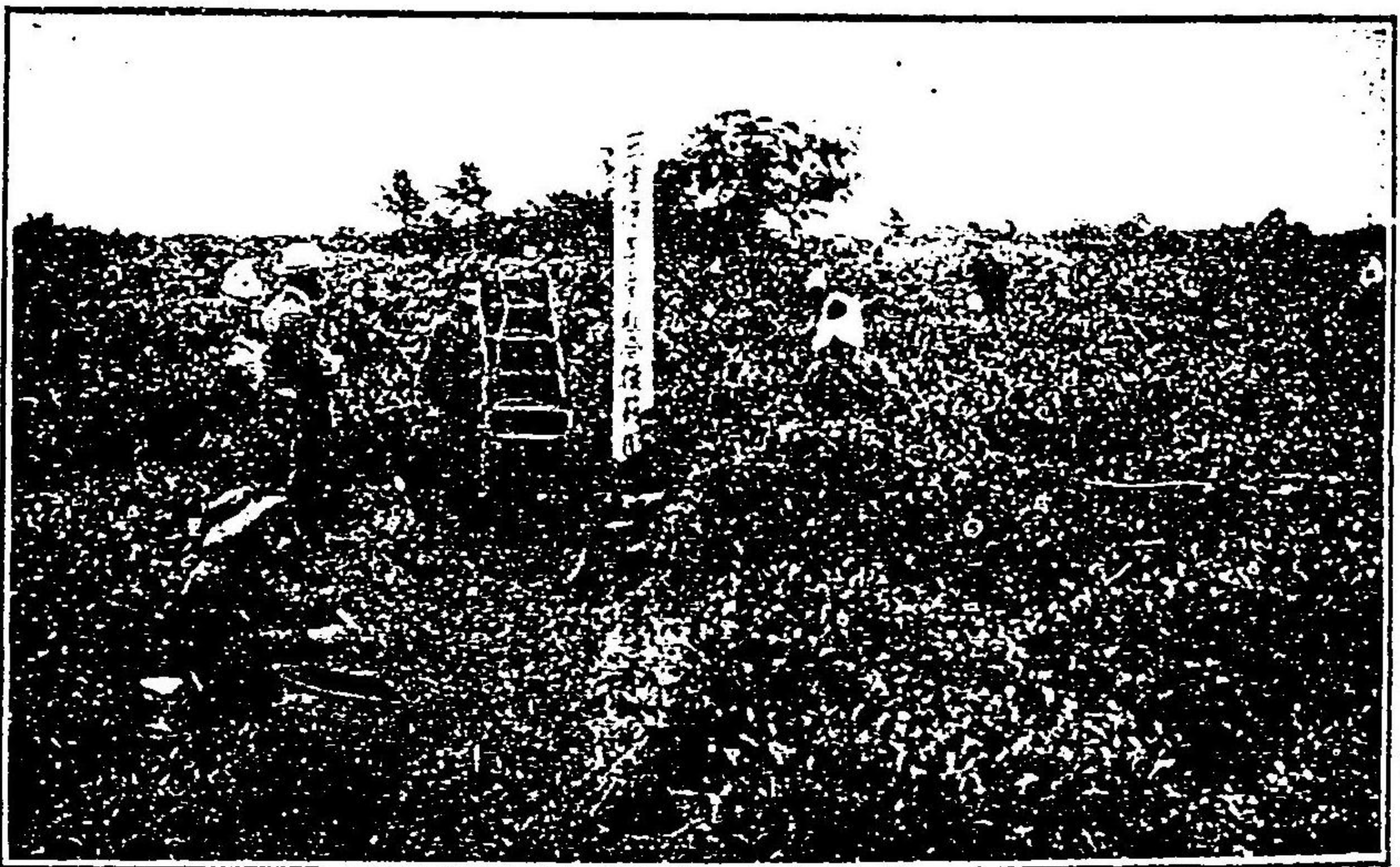




富田濱海水浴場

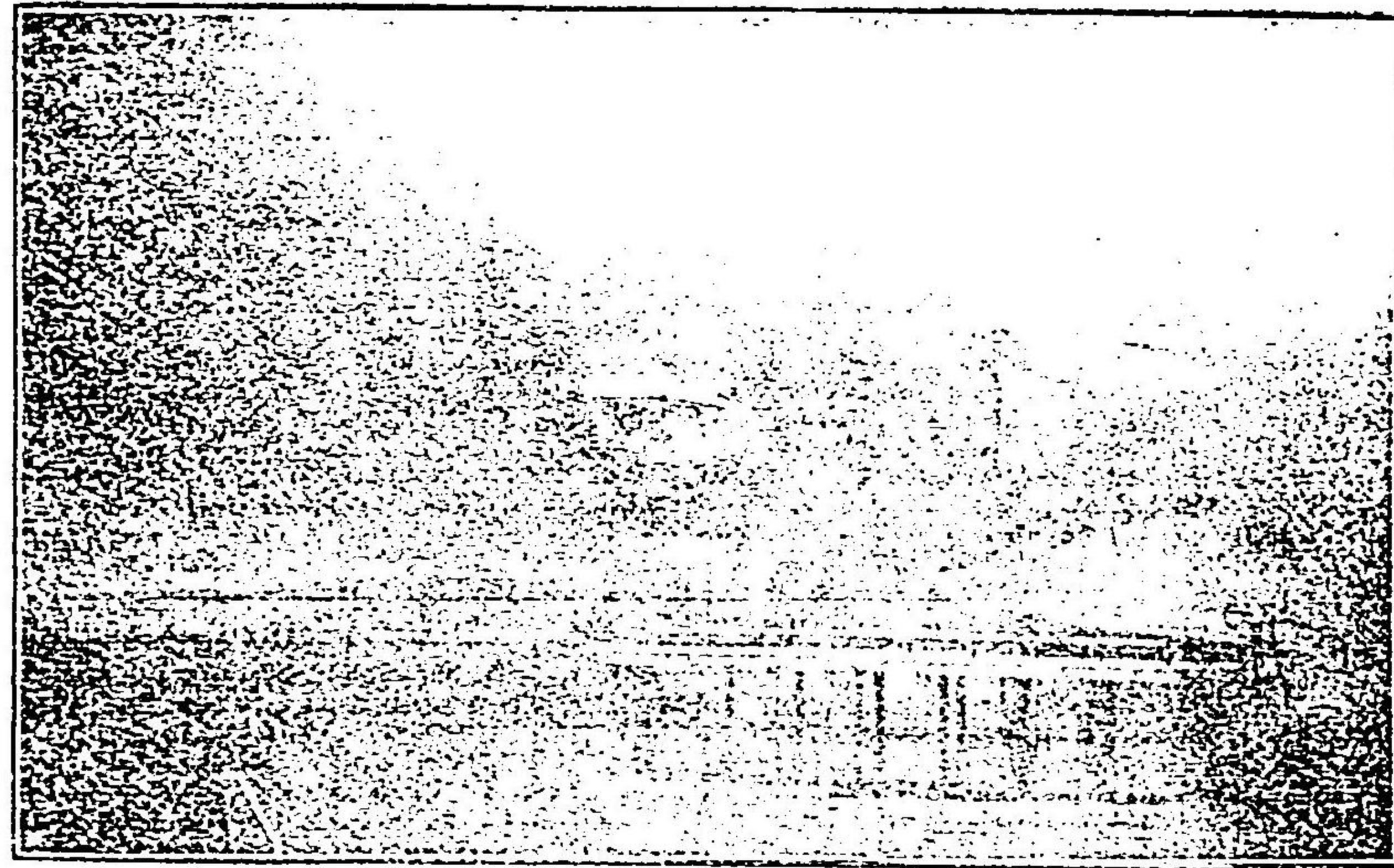


室山伊藤製糸場

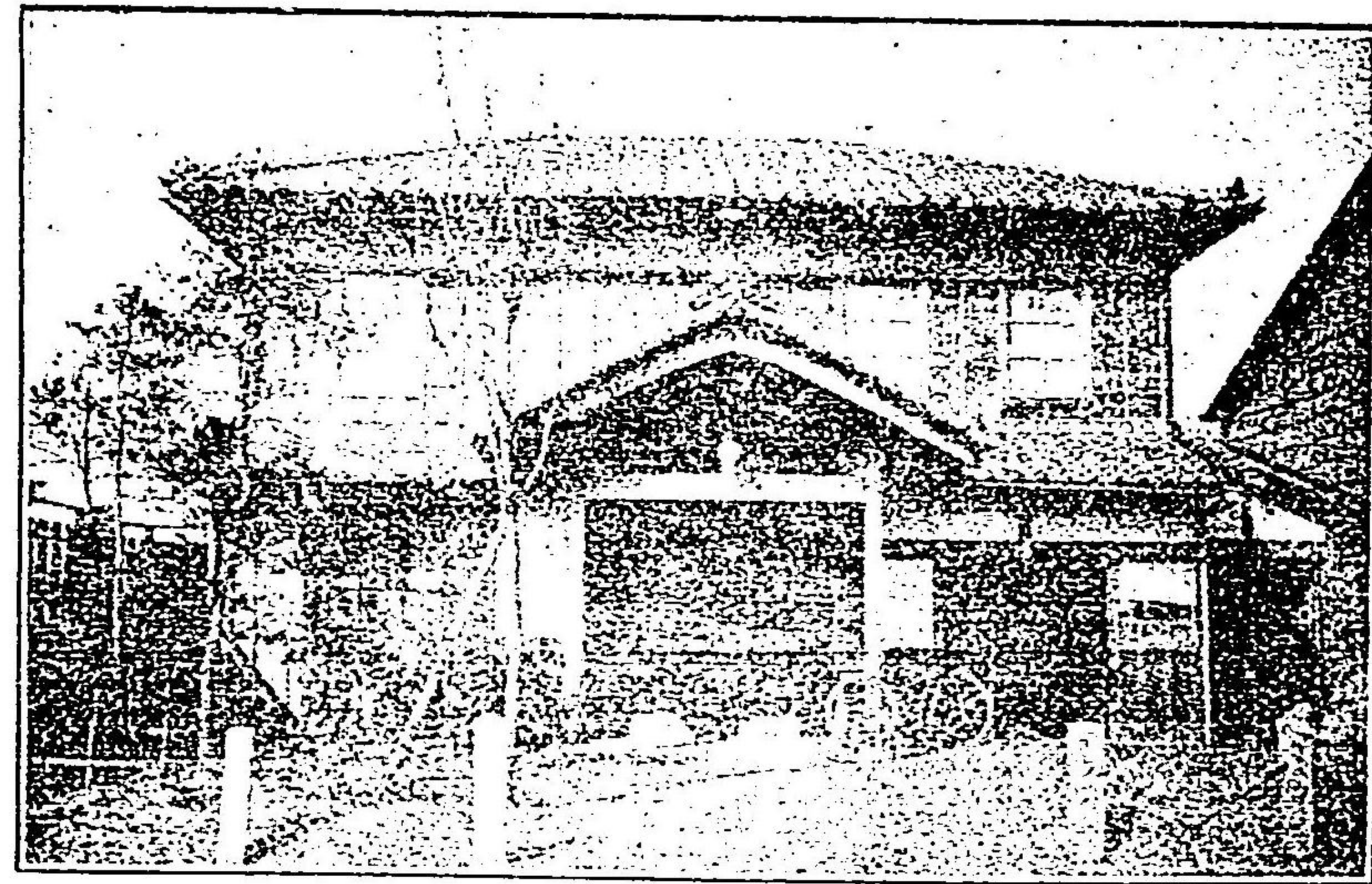


茶業組合模範茶園





津 公 園



伊勢織物業同組事務所



香 長 州 浦





染紙製造

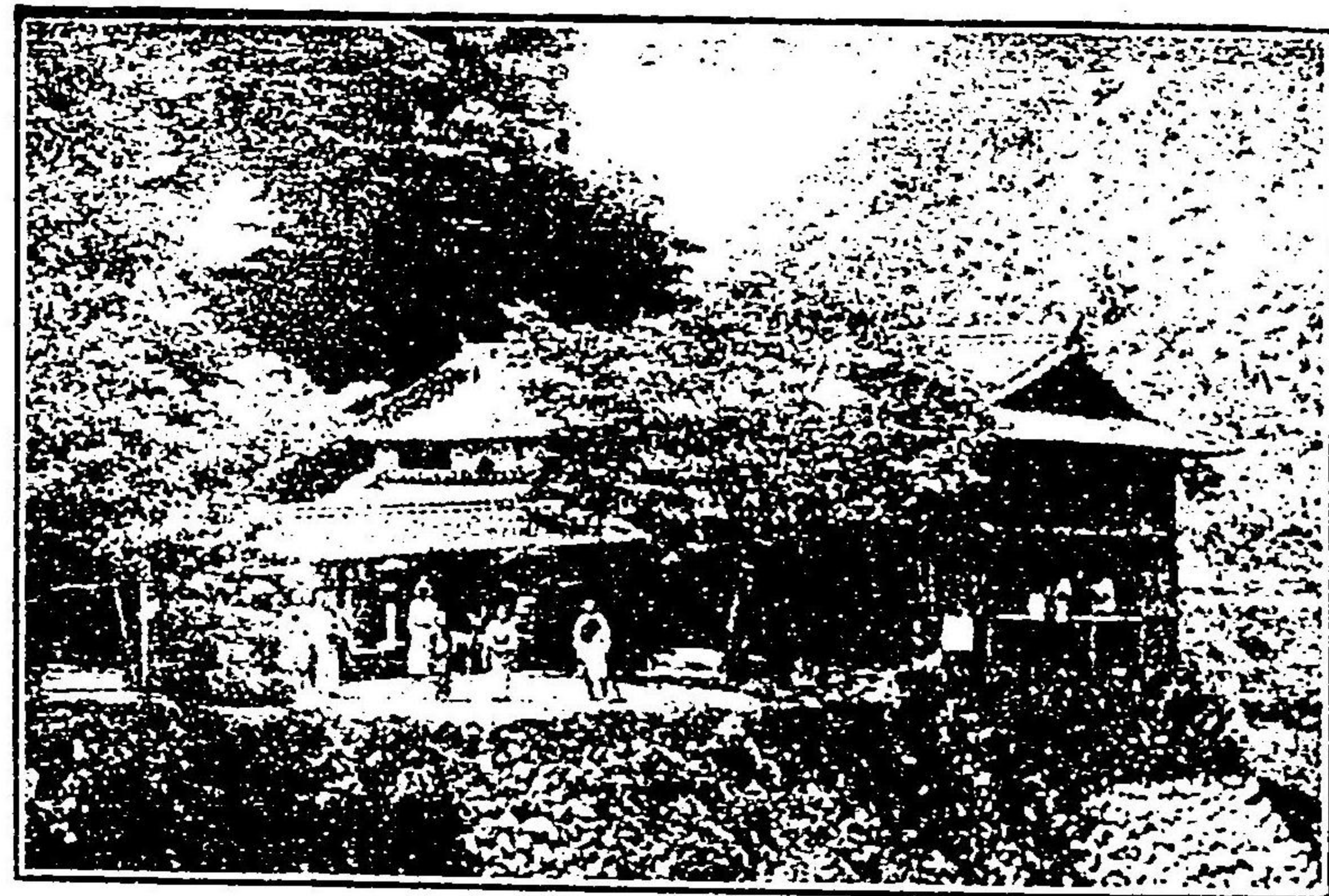


津市の観音

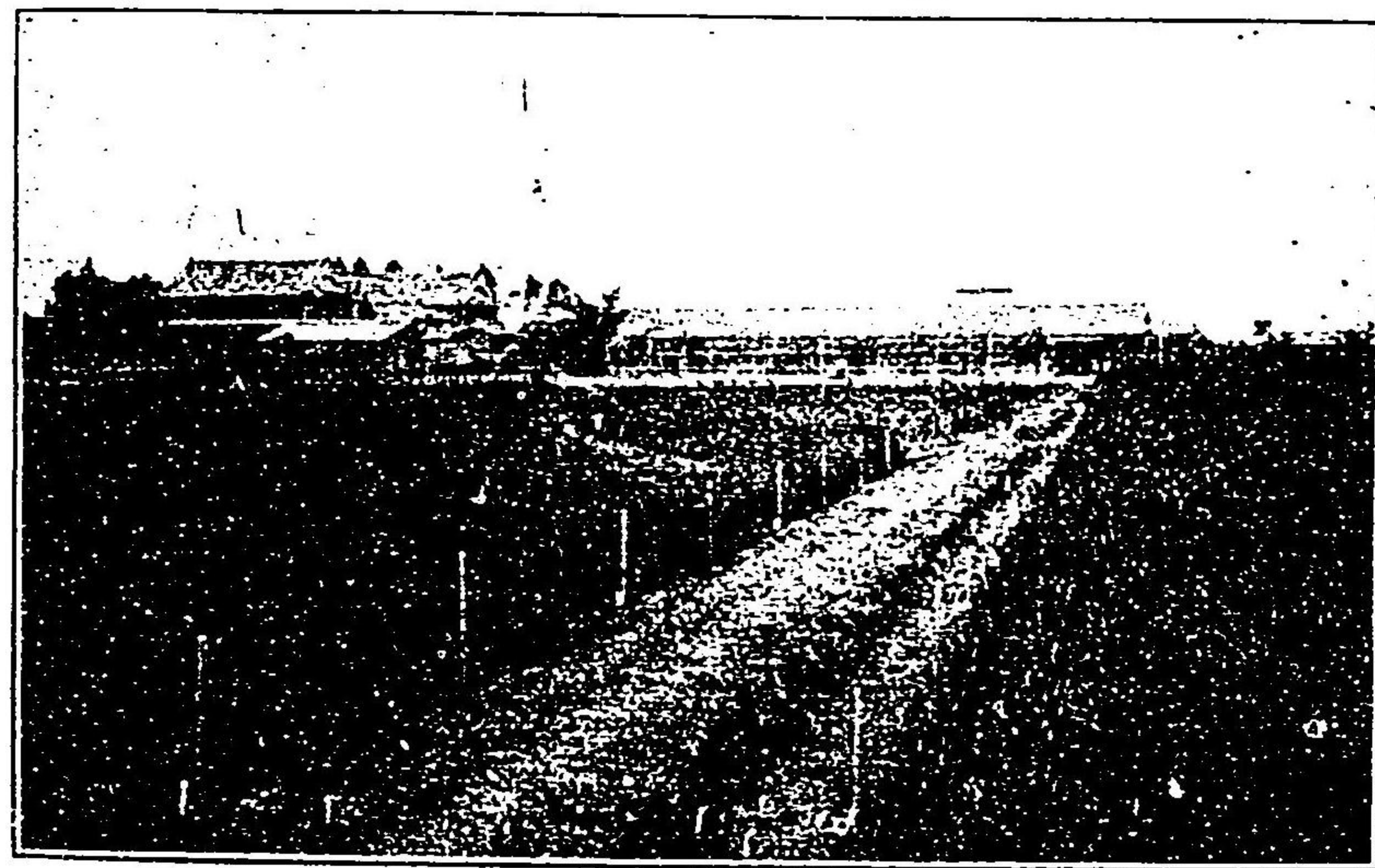


阿波の家

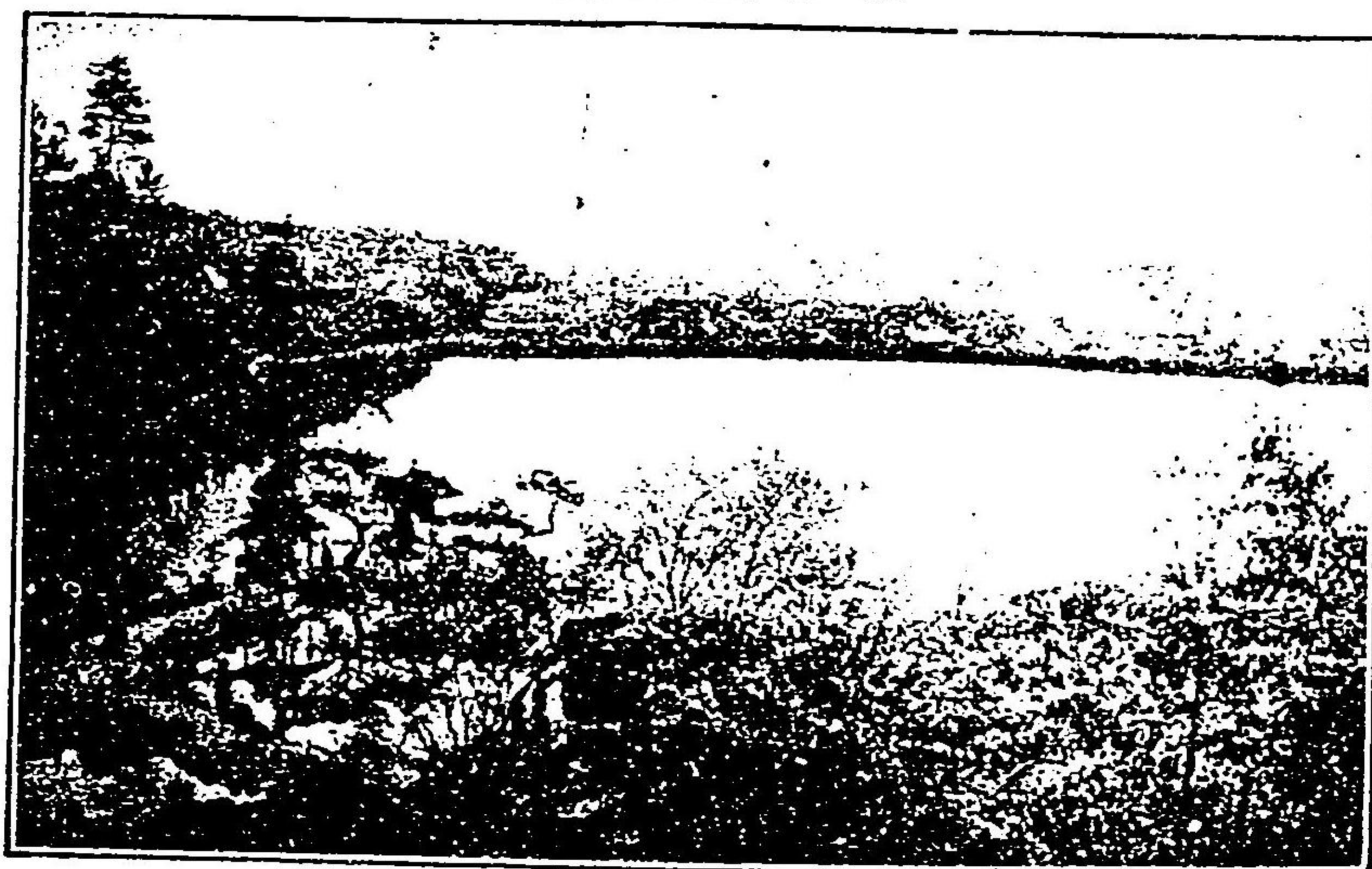




泉 溫 原 榭

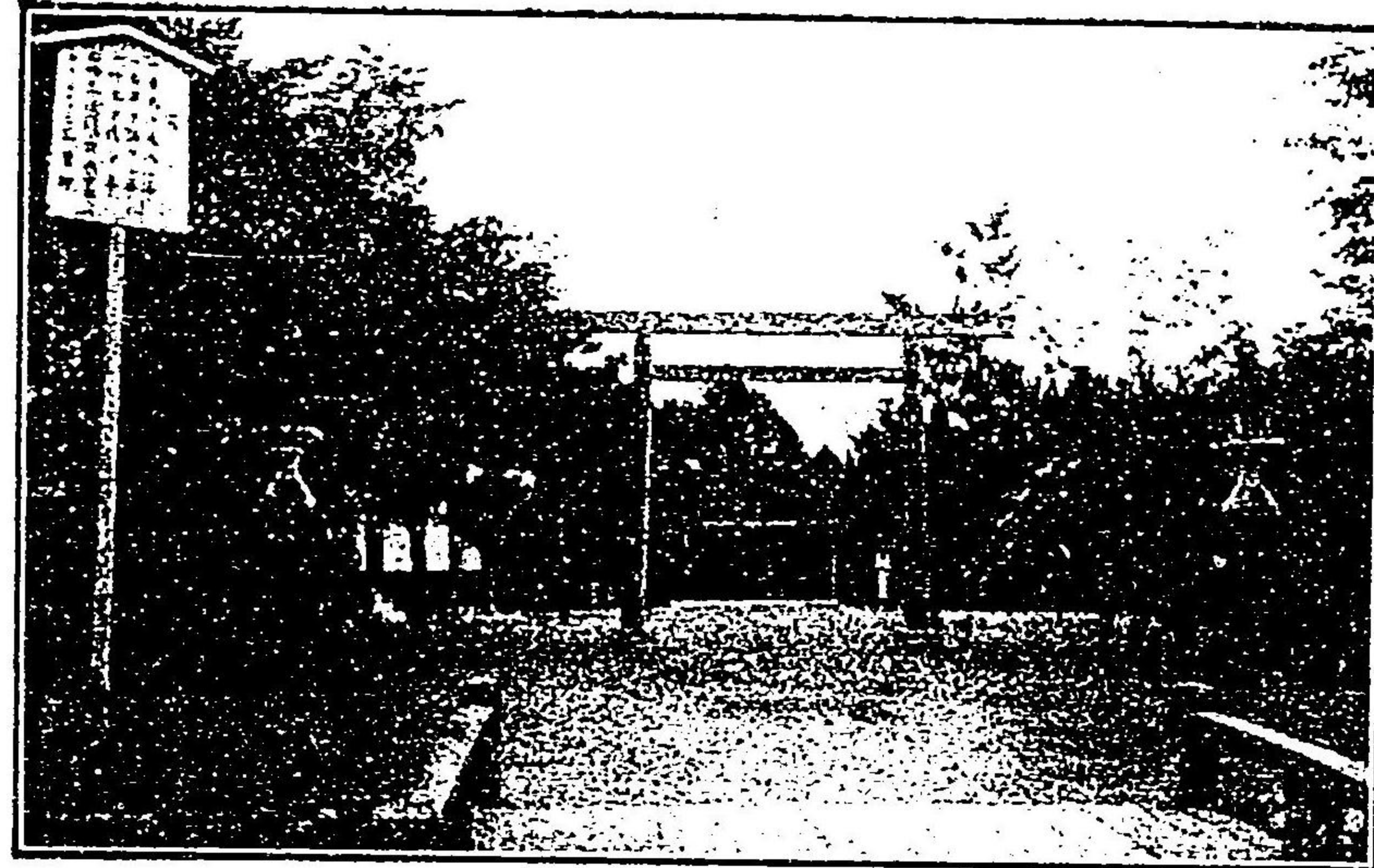


場 驗 試 事 農 縣 重 三  
地 驗 試 作 稻

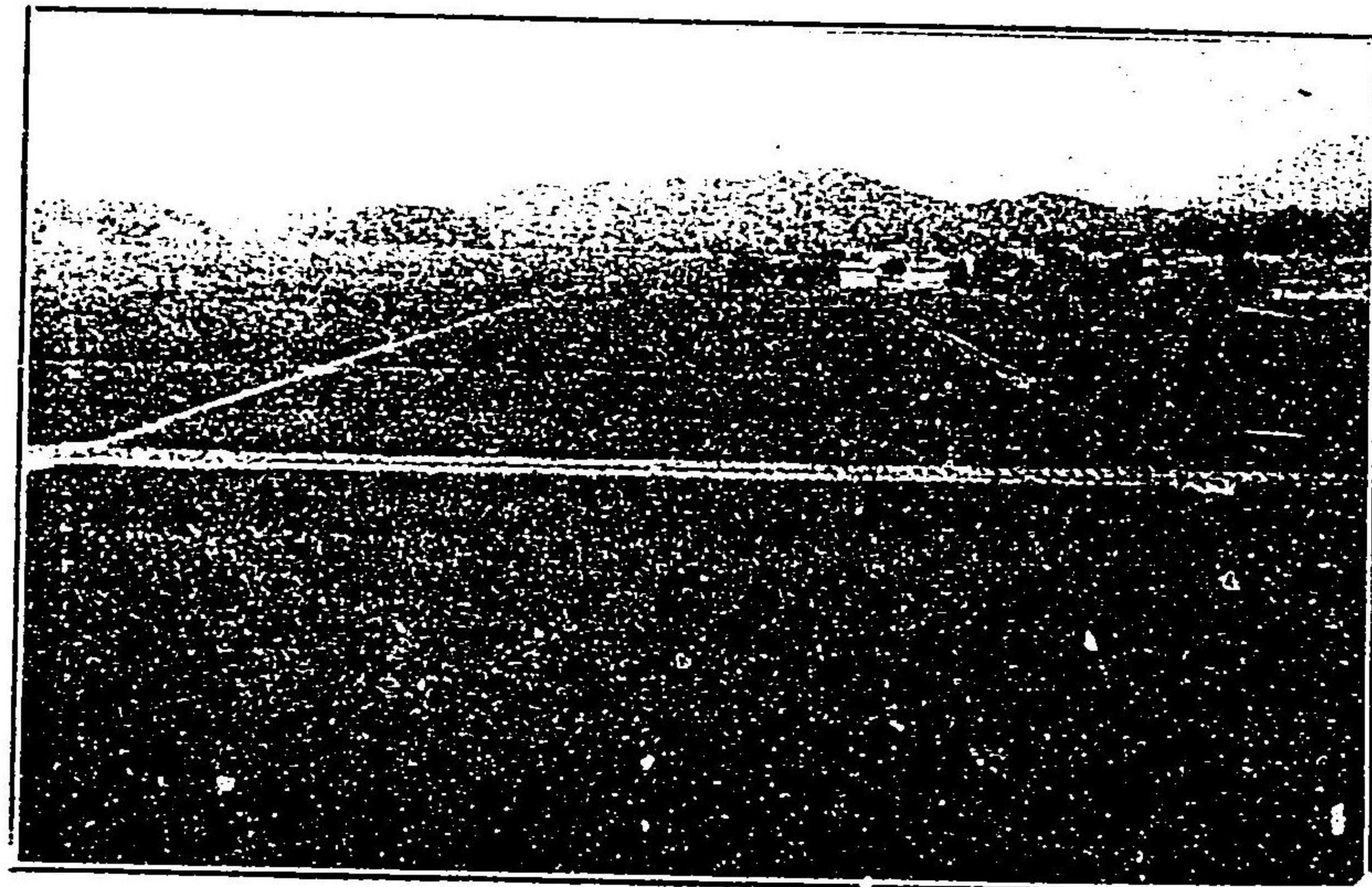


寺 巖 瑞 內 岩

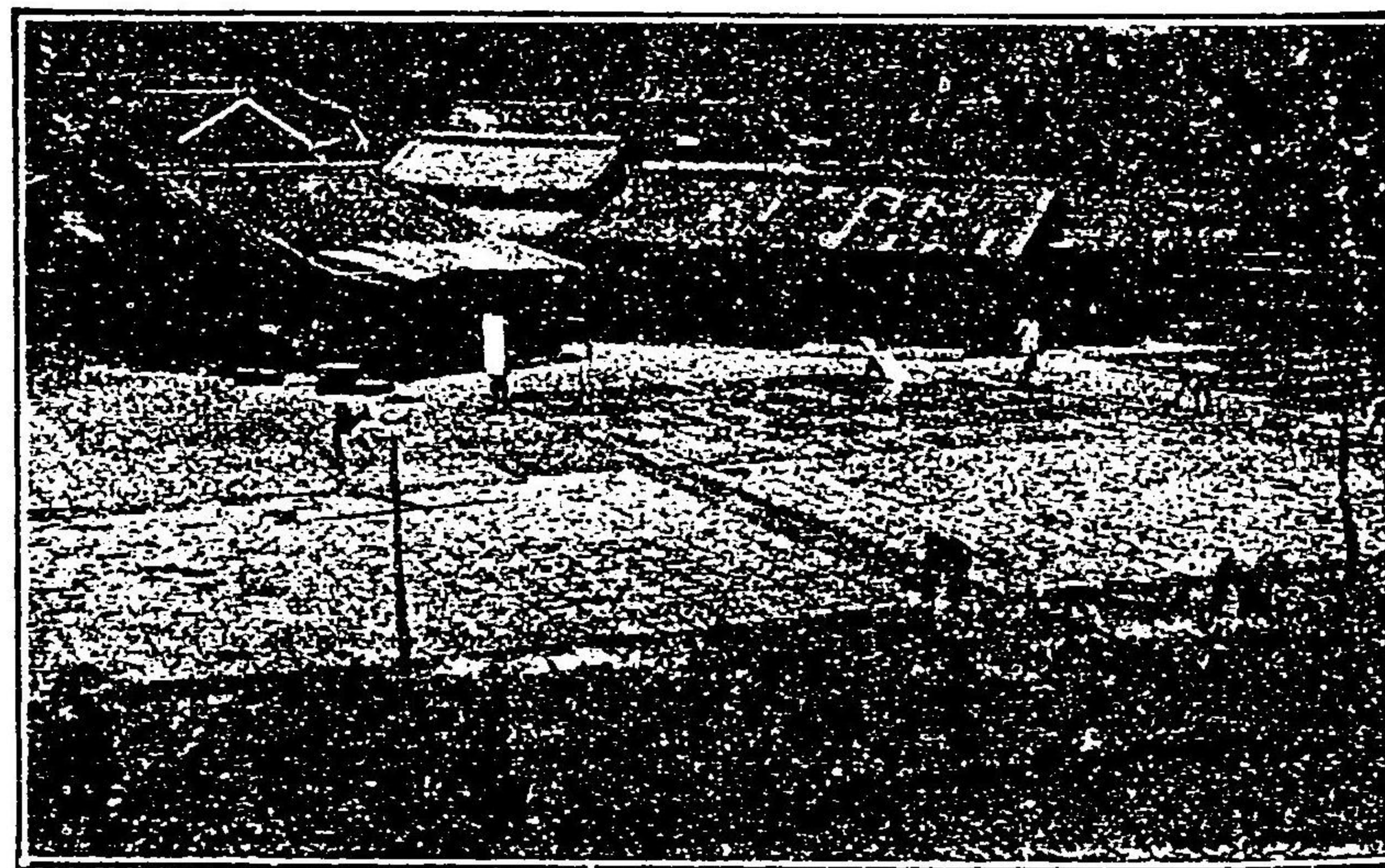




山室神社

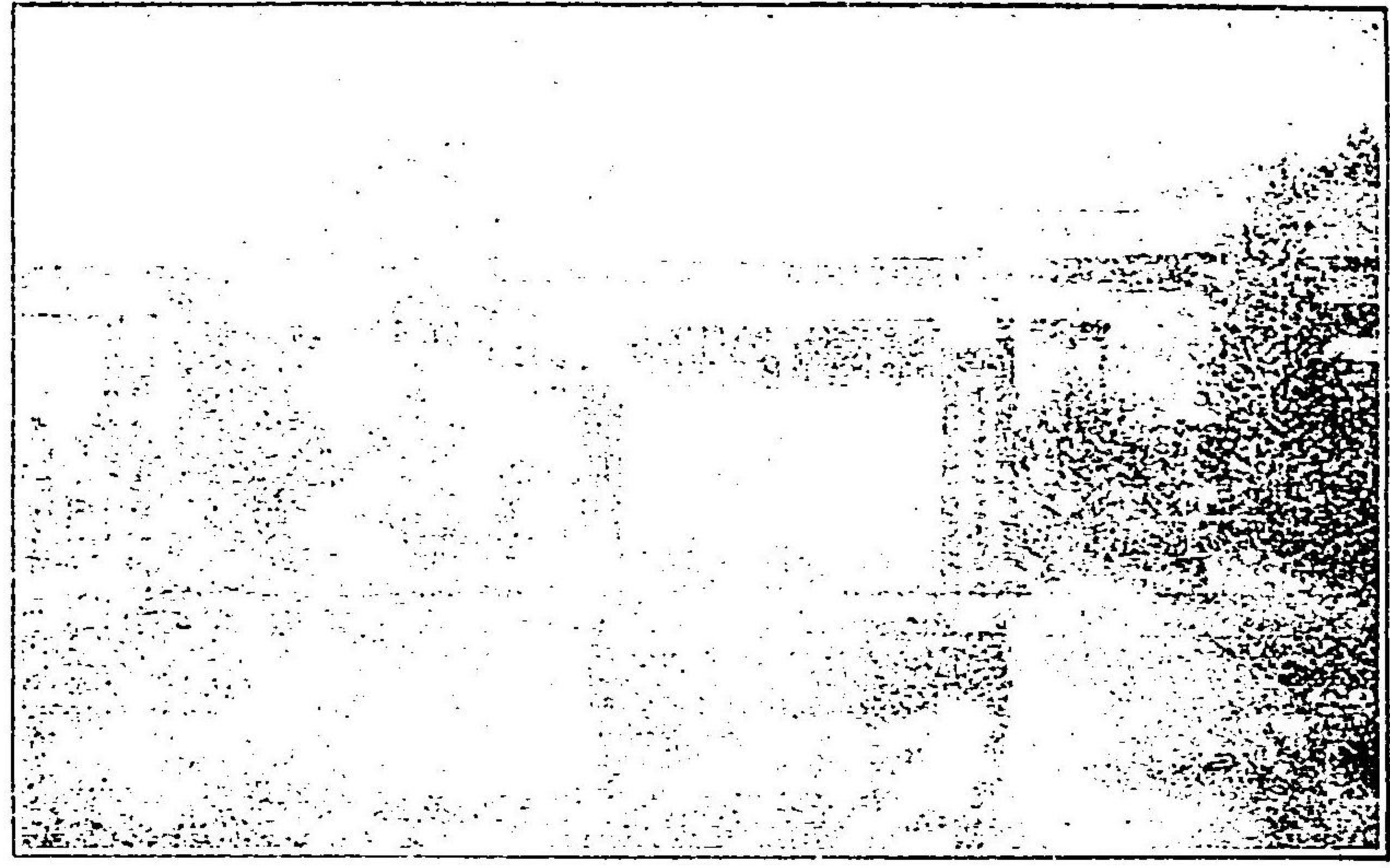


度會郡四郷村耕地整理

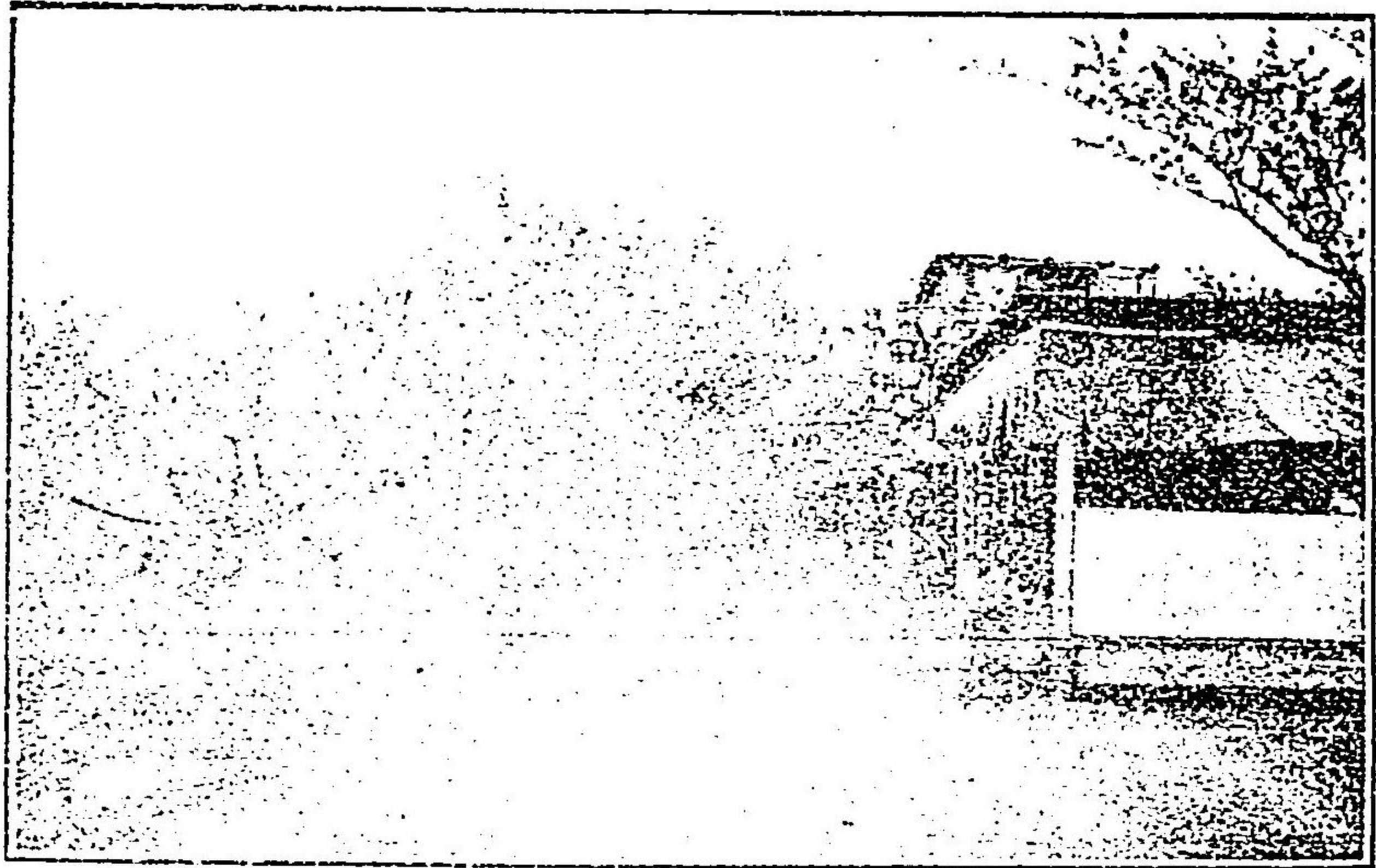


擬草紙乾燥場





三重縣宇治郡古智所

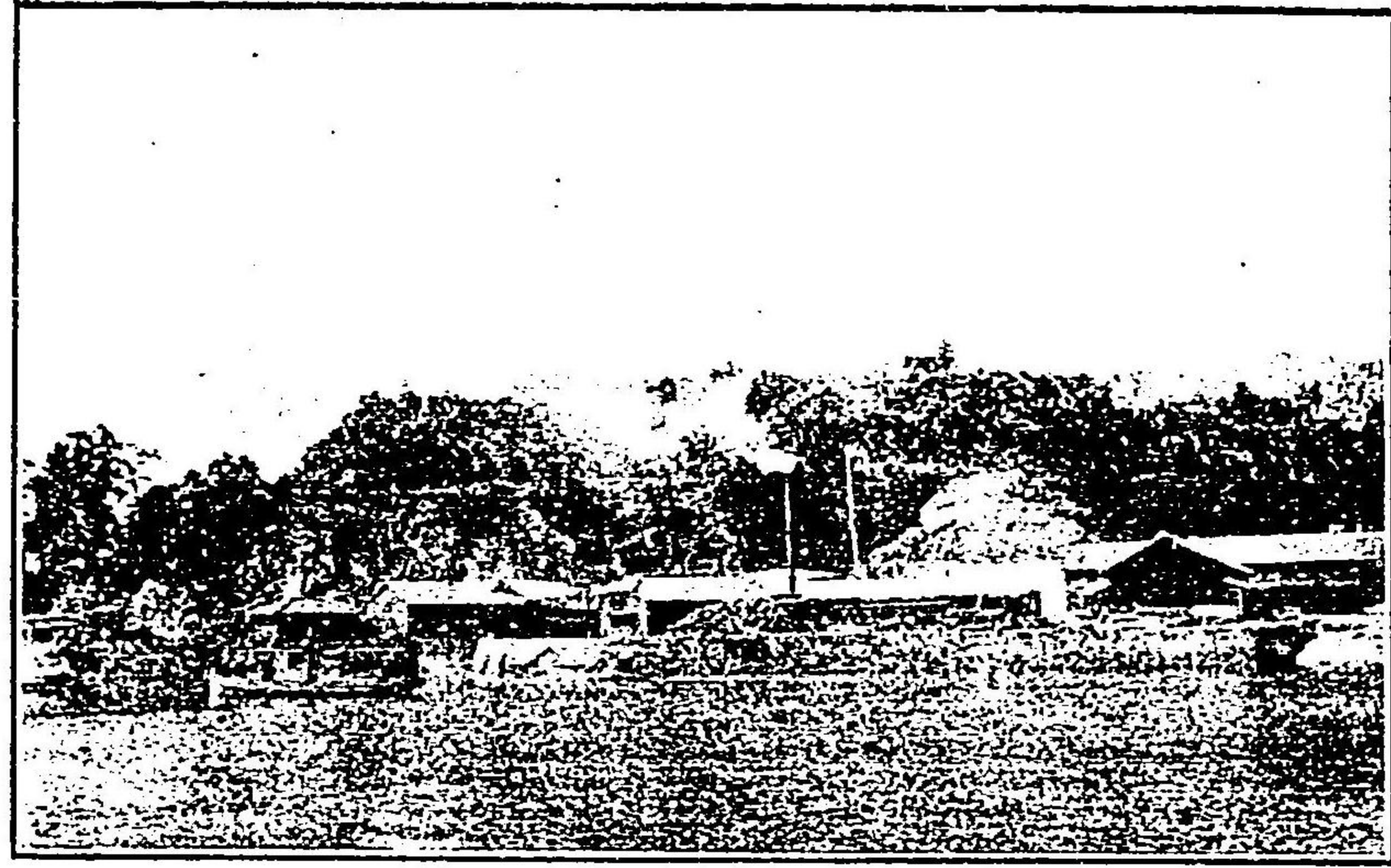


宮川堤の棧



朝熊山の展望

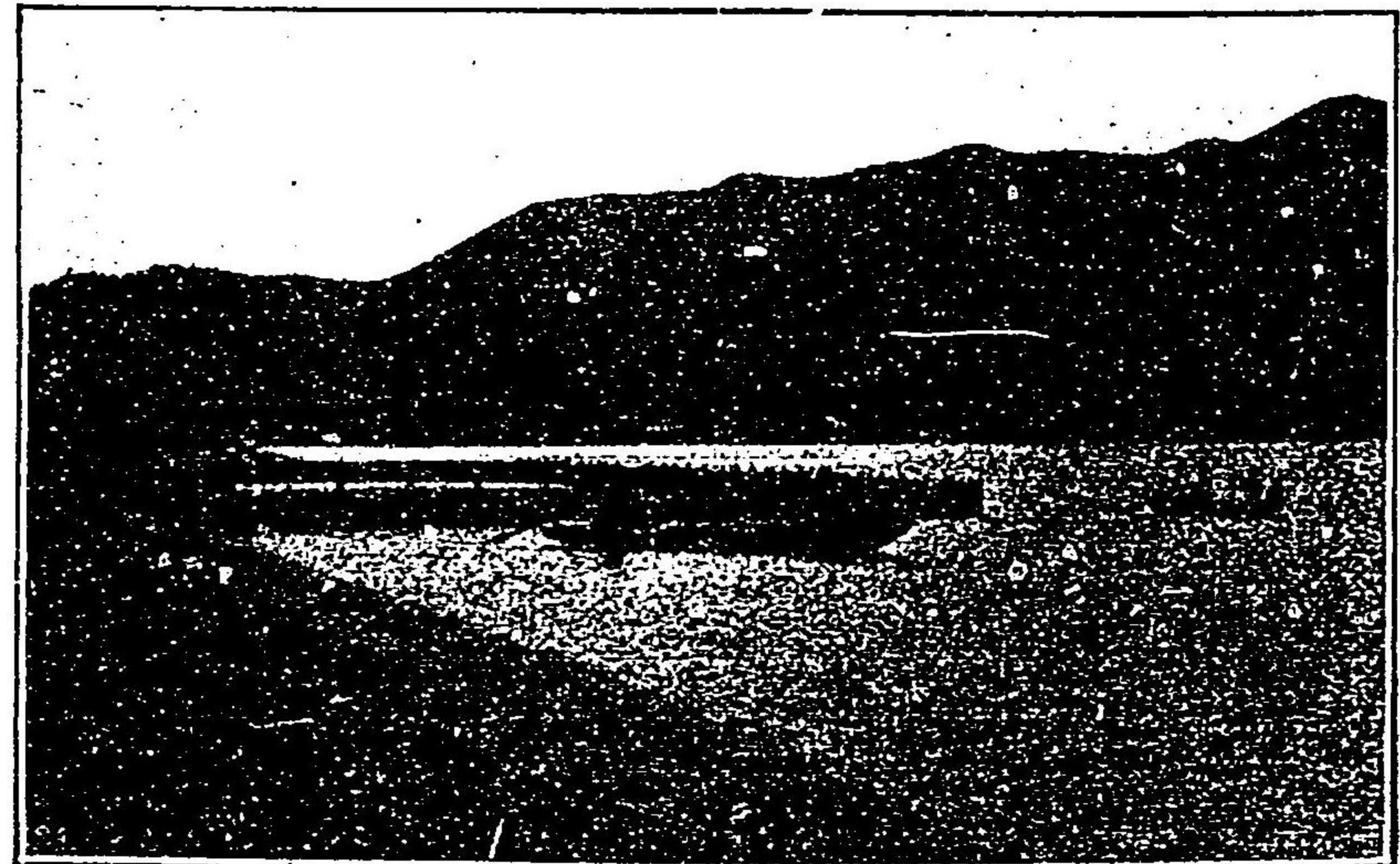




鳥羽造船所



御木本眞珠養殖場



南海魚類養殖場



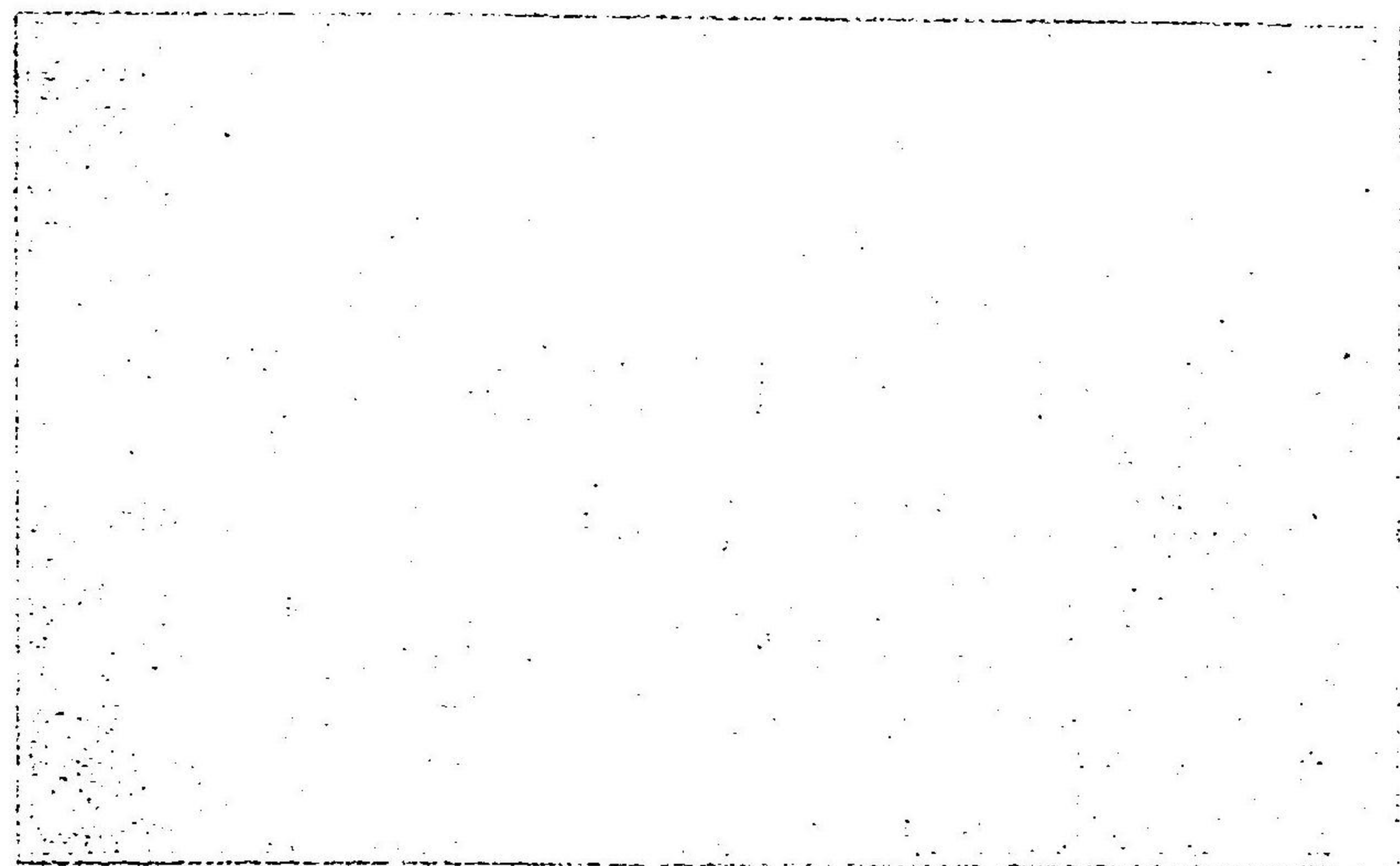


Figure 1: A very faint caption or label for the first image, consisting of several small, illegible characters.



Figure 2: A very faint caption or label for the second image, consisting of several small, illegible characters.

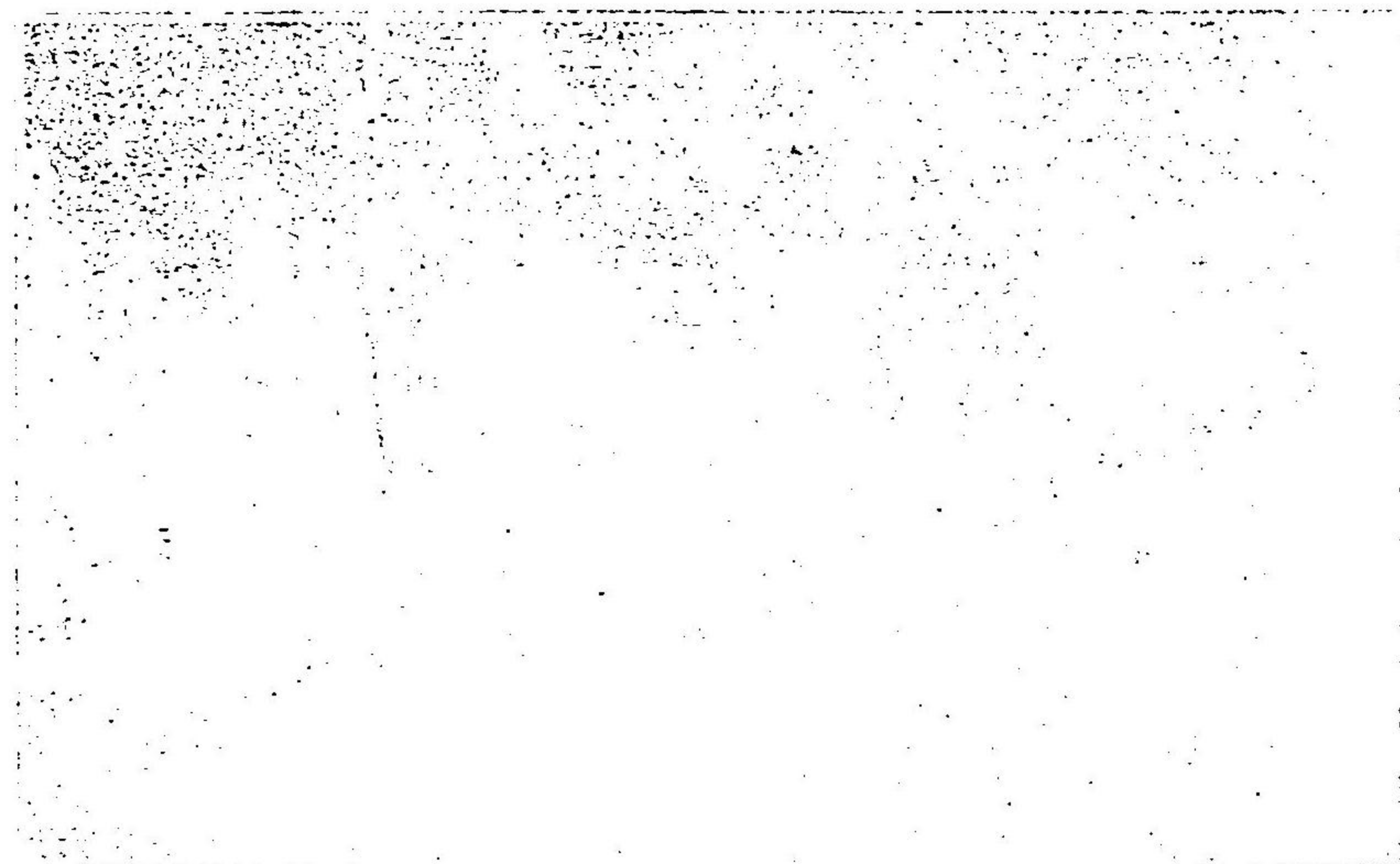


Figure 3: A very faint caption or label for the third image, consisting of several small, illegible characters.





獅子岩



丸土燒陶器



赤目瀑

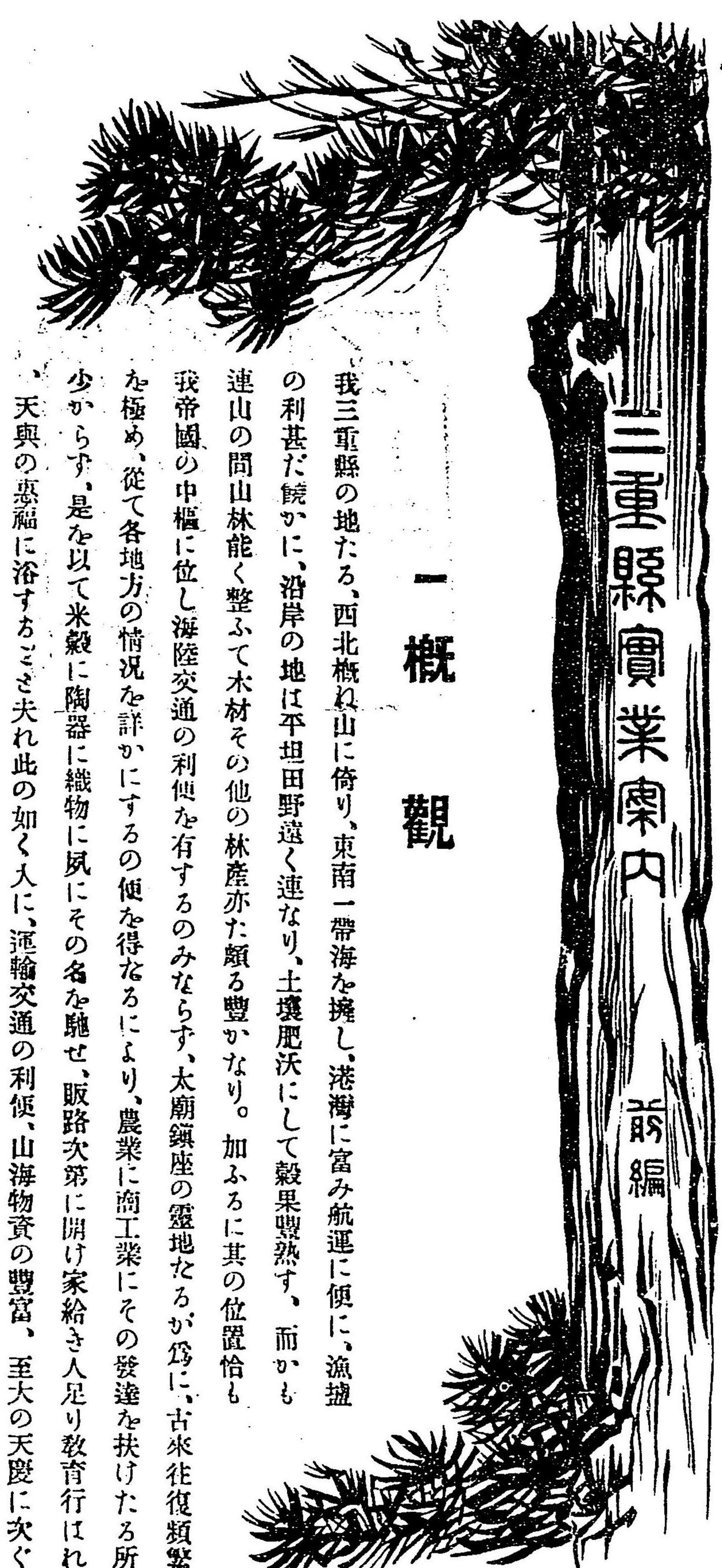


目 次

前 編

概 觀	.....	1
交 通	.....	3
農 業 界	.....	7
農 產 物	.....	7
米 麥 作	.....	7
米 穀 檢 查 所	.....	8
農 事 試 驗 場	.....	8
縣 農 會	.....	9
耕 地 整 理	.....	9
養 蠶	.....	10
農 事 講 習 所	.....	11
製 茶	.....	12
茶 業 組 合	.....	13
畜 產	.....	13
農 業 教 育	.....	15
林 業 界	.....	16
造 林	.....	17
伐 採	.....	19
林 產 物	.....	20
獎 勵 施 設	.....	21
水 產 界	.....	23
重 要 漁 場	.....	24
遠 洋 漁 業	.....	25
製 造 事 業	.....	26
養 殖 事 業	.....	28
水 產 教 育	.....	30





## 一 概 觀

我三重縣の地たる、西北概ね山に倚り、東南一帯海を擁し、港灣に富み航運に便に、漁鹽の利甚だ饒かに、沿岸の地は平坦田野遠く連なり、土壤肥沃にして穀果豐熟す、而かも連山の間山林能く整ふて木材その他の林産亦た頗る豊かなり。加ふるに其の位置恰も我帝國の中樞に位し海陸交通の利便を有するのみならず、太廟鎮座の靈地たるが爲に、古來往復頻繁を極め、從て各地方の情況を詳かにするの便を得るにより、農業に商工業にその發達を扶けたる所少からず、是を以て米穀に陶器に織物に夙にその名を馳せ、販路次第に開け家給き人足り教育行はれ天與の惠福に浴するべきと夫れ此の如く人に、運輸交通の利便、山海物資の豊富、至大の天慶に次ぐ

工業界	30
主要工産物	32
其他工産物	37
工業試験場	38
工業教育	38
商業界	39
販路一斑	39
商業會議所	40
銀行會社	41
市場	42
同業組合	43
産業組合	44
勸業陳列館	45
商業教育	46
~~~~~	
後 編	
名勝と名産	1
神宮	1
名古屋山田間	6
志摩巡り	15
關より伊賀	17
紀州沿革	20



に人心温利にして儉徳に富み、學に勵み業に精しく、教育殖産より自治精神に至るまで致て人後に落るこゝなし、且沿革の久しき名勝舊蹟の多きこゝを全國中稀に見る所なり。

その管轄する所、伊賀伊勢志摩の三國に跨り、更に紀伊の二郡を有す、廣袤三百六十二方里二六、戸數十八萬九千六百六十八戸、人口一百七萬四千六百五十八人。伊勢は縣地の大半を占め穀果陸に稔り海に漁撈の利あり、伊賀は四圍の山嶺を以て自ら一劃を成し、所謂一望萬頃の原野に乏しきも地味膏腴専ら農業を主とす、志摩は三面海に瀕し岬灣島嶼の奇勝擧げて數ふべからず、而かも南伊勢の餘脈延びて幾多の丘陵を爲し、短流幾條流れて海に注ぐ處漁撈採藻の利頗る豊富なり、紀伊南北牟婁郡は東方一帯海に面し、峯巒起伏して最も殖林に適し所謂熊野山林の真相を現はし、果樹の成育亦甚だ盛なり、殊に沿海漁利に富み、南牟婁郡に至ては平地數里に亘り氣候農桑に適す。

敷島の 大和心を人間は、

朝日に匂ふ山櫻花

本居宣長

## 二 交 通

木曾川の流れて海に注ぐ處、即ち伊勢内灣の北端よりして志摩を回り紀伊に至る海岸線延長百五十二里二十九町四十間にし、其間無數の港灣を有す、就中四日市開港場(熱田港より十六哩五)(津まで十九哩)の近時益々盛況を呈するものあるの外

津一十八哩一神社一尾鷲一鳥羽一十二哩五、的矢一二十哩一濱島一十三哩一賢浦一十五哩五、長島一六哩五、島勝一九哩

五、引本一四哩一尾鷲一九哩一鬼一八哩一賀田一八哩一木ノ本(和歌山縣新宮まで十二哩)

以上大阪商船の寄航地たる以外、幾多船舶の去來する港灣列擧に遑なからんことす

その他河川の舟運を通ずるもの亦少からず、木曾掛斐長良は尾濃勢三國の交通を助け、宮川櫛田川雲出川名張川音無川等木材を流下する水流に至ては、殆ど擧げて數ふべからず

鐵道に至ては伊勢伊賀を縦横し、今また近く山田より志摩鳥羽に延長せられんとす、名古屋より關西線に乗換へたる旅客は木曾の長橋を渡りて長島驛に停車すべし、これぞ我三重縣の北端にして、名古屋を距る僅に十二哩三、

長島一十二哩六、桑名一四哩九、富田一三哩四、四日市一四哩三、河原田一四哩二、加佐登一五哩六、龜山一三哩五、下ノ庄一四哩一、身田一十二哩二、津一十二哩四、阿漕一十二哩五、高茶屋一三哩六、軒一三哩四、松阪一十一哩八、徳和一三哩一



相可一四哩三田丸一哩六宮川一哩三筋向橋一哩一山田、更に京都大阪に向はんとするには龜山より岐れて伊賀の地を經由する一線あり

龜山一三哩五關一三哩四加太一五哩五柘植一六哩六佐那具一三哩五上野一四哩五島ヶ原一四哩四大河原  
(大阪湊町に至る四十一哩一、京都に至る六十一哩二)

若し草津に出で、東海道線に合せんには柘植より分岐する別線あり。

此他、伊勢電氣鐵道株式會社あり、電車を運轉して山田停車場より外宮前を過ぎ、内宮に抵り、他の一線二見浦に達し、更に内宮二見間を連絡するものあり。

また別に津市と久居町(歩兵第五十一聯隊營舎所在地)と約一里半の間、輕便鐵道の設あり、日本軌道株式會社伊勢支社の經營に係る。

いま國縣道中重なる道路を擧ぐれば桑名郡長島村愛知縣界より鈴鹿郡坂下村滋賀縣界に至る東海道、途中三重郡日永村より分れて宇治山田市に至る伊勢街道の外桑名町より美濃街道と濃州街道を起し何れも岐阜縣界に及び、京都府界に至る大和街道は鈴鹿郡關町より、奈良縣界に至る初瀬街道は一志郡松ヶ崎村より、初瀬新街道は同郡久居町より、別に吉野街道は南半婁郡飛鳥村より出で、和歌山縣界に至る熊野街道は飯南郡松阪町より出づ、其他縣内樞要の地を運せる菰野街道、伊勢別街道、伊賀街道、久居街道、和歌山別街道、南島街道、鳥羽街道、波切街道、名張街道あり

次に各都市役所の所在地及び本縣廳よりの哩里程を示す(左の如し(哩は鐵道、里は陸路))

桑名郡役所	大山田村桑名	三二、〇	一、〇〇丁
員辨郡役所	大泉原村楚原	三二、〇	三、三三
三重郡役所	海藏村末永	二三、七	、二二
鈴鹿郡役所	龜山町大字西丸	九、六	、
河藝郡役所	白子町大字白子	、	四、〇七
安濃郡役所	新町大字古河	、	、一九
一志郡役所	久居町大字鷹匠町	二、四	一、一〇
飯南郡役所	松阪町大字殿町	一、九	、一八
多氣郡役所	宇治山田市岩淵町	二六、一	、
阿山郡役所	上野町大字丸之内	三一、一	一、〇〇
名賀郡役所	名張町	三一、一	六、三四
志摩郡役所	鳥羽町	二六、一	四、〇五
北半婁郡役所	尾鷲町大字南浦	一六、八	二三、二八



南牟婁郡役所	木ノ木町	一六、八	三五、一一
津市役所	津市西町	一	一
四日市市役所	四日市市南新町	二二、八	一
宇治山田市役所	宇治山田市岡本町	二六、一	一

尙ほ今次第十回府縣聯合共進會聯合各府縣廳所在地に到る我三重縣所在地(津市)よりの距離左の如し

東京府(二八〇哩三)、京都府(六一哩二)、大阪府(八一哩一)、神奈川縣(二六四哩三)、静岡縣(二六二哩三)、埼玉縣(二九五哩一)、群馬縣(三五哩五)、栃木縣(三四八哩一)、愛知縣(四六哩九)、岐阜縣(六五哩七)、滋賀縣(五二哩四)、長野縣(四一八哩八)、奈良縣(五五哩六)、兵庫縣(一〇二哩)、岡山縣(一九一哩一)、廣島縣(二九一哩八)、山口縣(三八七哩八、三里十三丁)、鳥取縣(一七九哩、二八〇哩)、島根縣(一七七哩四、一二三哩、六里十四丁)、和歌山縣(一二〇哩四)、徳島縣(一〇二哩、五二哩)、香川縣(一〇二哩、六六哩)、愛媛縣(一〇五哩、一四九哩)、高知縣(一〇二哩、一四二哩)

次で人口の増殖と人文の發達に伴ひ近時著しく進歩發展したるものは郵便電信電話にして、現在郵便二等局四特定三等局二、三等局九十三、無集配局四十八に及び市内電話交換を開設せるもの津、四日市、宇治山田の三市及び桑名町にしてその他特設開通せるもの松阪、神戸、二見、鳥羽、上野、久居、龜山、尾鷲更に電話所を置きて通話事務のみを取扱へるものは富田、楠、一身山、大淀、大湊、引本にして今や縣下を通じて殆ど電話の利便なき處、これなきに及び

### 三 農 業

#### 農 産 物

地勢概ね平坦地味亦膏腴に氣候和順にして天の惠福自から農業に適するの地なり、縣下農を以て業とする者全戸數の三分の三を占むるを以て見るも尙ほ其一斑を窺ふに足るべし

今試みに農作物、繭、茶、果實、蠶種等一般農産に屬する四十一年度の産額を見るに實に二千九百三十六万八千餘圓に上り、之と物産總額六千六百五十三万六千餘圓に比して百分の四十四以上に當る、亦以て如何に本縣農産の富饒なるを知るに足らん

作付段別	田 地	七万四千九百七十七町步六
	畑 地	二万五千九百四十八町步三

#### 米 麥 作

古來伊勢米の名は嶄然全國市場に頭角を現はせり、然かも近時他府縣における農産は日進の學理を應用し種子を精選し肥料を改良し、殊に米穀の如きはその品質次第に良好に赴き、伊勢米をして獨りその名を擅ま、にせしめざらんす、此時に當り我縣當局は銳意之が改善の策を講究し、耕地整理は元より、排水灌漑の利便、苗代の管理、病害蟲の驅防、勞力の省減、器械の應用、肥料の經濟、土壤の營養等、凡て米作改善に對し必要なる施設は、強制に保護に獎勵至らざるなく、將來に於ける發達期して待つべし



きものあり。いま四十一年における米麥作付段別收穫高を見るに左の如し

米 麥	作 付 段 別	收 穫 高	價 格
	七五、四〇八、九	一、二九二、〇三三	一七、八九、五九七
	三〇、六三八、一	三五六、二五二	二、六四七、一六八

### 米穀検査所

前記の如く競ふて他府縣が農事の改良に努め農産の品位を増進せんとするの時に當り本縣の状態は是等時勢の進運に伴はざるなきやを恐れ明治三十九年以來米穀検査所を設け本市に出張所を管内十三ヶ所に置き輸出米に十九人産米に三百二十八人の検査員を各市町村に配置し、生産米の乾燥、調製俵装の成績を検査し、或は模範農家を表彰し或は小作者獎勵の爲めには之が施設實行を勸奨し或は地主、町村、地主會協定の下に納米の等級品位に應じ金穀を賞與せしめ或は小作米品評會を開く等増收に改良に鋭意努力する所あり、爾來効果大に見るべきに至り捲土重来伊勢米の名は近く再び斯界に雄飛せんす

### 農事試験場

三重縣農事試験場は三重縣勸業試験場に起り實に明治十三年の創立に係る、今津市西阿漕町に在り構内面積二町五反歩を

の二町餘歩は即ち事業の試験地たり又別に荒地三町歩を開墾して果樹園を設け、主として普通農事上の模範を示すと共に蔬菜果樹等の園藝作物を獎勵し種苗を配付し傍ら農産製作に關する試験及び家禽家畜の飼養を試み農家副業の獎勵啓發に資し更に縣農會及巡回教師と相俟ちて學理の講話に實地の指導に力を盡し斯業の發展を促進しつゝあり

### 縣 農 會

本縣に於る農業團體の組織は明治廿一年三重縣農業協會の創立に始まり廿八年を以て系統秩序的農會の組織に改め三十一年農會規則の發布に伴ひ初めて三重縣農會を設立するに至れり、稻立毛品評會に農事試験に農事講習會及農談會に農事視察に其他農事功勞者を表彰する等農事に關する多方面の獎勵に盡す所少からず

### 耕 地 整 理

本事業は實に國本培養の一基礎にして最も重要な國家的事業に屬す、我縣に於ける耕地整理は去三十五年以來縣農會に於て極力之に當り縣亦た多額の補助金を交付し技術者を置き専ら工事に従ふ所ありしが三十九年以來更に國庫の補助を受くるに至り四十一年之を縣事業に移し愈々事業を擴張して基本調査をなす等着々その進捗を告げ其の年度末に於て現に工事を完成し作付をなしたるもの二百三十七町歩五の多きに達せり、而して今工事中に屬するもの九百十町歩八、更に計畫中にあるもの三千四百十二町歩三あり、以上全部を合計し全体の工事を竣成するの時に至れば實に四千五百六十町歩を得べく、之を整理前の三千二



百九十町歩に比すれば一千二百七十町歩の増加を整理後に得べき計算にして只、地積の増加のみならず其の收穫の増収に對する價額の如何に多大なるべきかを算せば蓋し思半ばに過ぐるものあらん

### 養蠶

養蠶は縣下重要な産業にして其の發達の跡亦頗る顯著なるを見る。維新以降生糸貿易の進運に伴ひ、漸次栽桑飼蠶の發達を促し、年と共に愈々其の多きを加へつゝあるの事實は夙に數字の示せる所にして

年次	飼蠶戸數	成繭額	價額	桑園段別
三十一年	五、三〇〇	三、八〇九	一、三六、七九〇	五、〇九八、〇
三十七年	七〇、五三八	五二、七〇四	一、六五二、四七四	六、〇九五、〇
四十一年	八五、〇三三	九四、二九四	三、三八五、四三三	七、四八七、三

その長足の進歩實に驚くべしと雖も、顧みればその初め因襲の久しき容易に舊套を脱せず従て縣下重要物産の一として之に處きを置くもの多からざりしが、四圍の事情は自から之が改良を促したると同時、生糸輸出の趨勢に鑑み年を逐ふて覺醒する所あり、此時において縣は施設の一着歩として十八年初めて教師を招聘し傳習所を置き、勸農場を設け以て縣下の子弟を養成せり。

爾來各郡に組合又は聯合組合取締所を設け以て蠶種検査の機關となせり、超えて二十六年蠶業取締規則を發布し、各郡に養蠶傳習所を設け、次て頻りに蠶病消毒の普及を企圖し、各郡一齊に蠶業巡回教師を置かしむる等、孜孜改良獎勵に努むる所ありと雖未だ以て満足とするに至らざる者あり、是れ刻下桑園の改良擴張、蠶種の一定、稚蠶共同飼育、桑樹病害蟲防除等を必要とする所以なり。蓋し蠶業の盛衰は我國力の消長に關する至大の問題にして單に農産業上の一些事として看過すべからざるのみならず、特に我縣の如き米作的農家の經濟が大に斯業の發展に須たざるべからざるものあるに於てをや。

### 農事講習所

蠶業唯一の機關たる我農事講習所は、實に明治十二年の創立に係り、その初め會郡小俣村外四ヶ村の原野二百六十七町歩を買上げ、洋式農具及び耕馬二十五頭を購入し開墾に着手せり當時之を勸業試験場と稱せり、後明治勸農場と改稱し専ら畜産の改良増殖を圖り之に關する新式施設に兼れて製糸の改良普及を企て之が第一着手として座繰製糸の傳習所を設立せり、後更らに養蠶傳習所を開設し生徒の養成と蠶種桑苗の配布をなし、獸醫學校を設立したることありしも餘り多年ならずして之を廢し三重縣蠶業講習所と爲し、後また更に養蠶傳習所と改め、主として飼養期に於ける傳習をなすと数年、別に農業を經營して農産物蠶種桑苗牛乳の供給に従事し、後また再び養蠶傳習事業を企圖し明野高等養蠶傳習所となせり、之を今の三重縣農事講習所と改めたるは實に明治三十三年のこゝにして現時の施設事業は専ら蠶業の傳習その他短期の講習巡回講話を行ひ以て當事の人物を



養成し尙ほ進んで桑苗の配布を紹介し桑病及び害虫の驅除を督勵し兼ねて蠶兒飼育に關する試験をなす等その重なるものに屬す

### 製 茶

本縣茶業の沿革は頗る古く實に寶曆年間を以て起る、爾來漸次年を逐ふて改善の途に就き今や縣下重要物産の一として其名を海外に馳せ全國中その第二位を占む今最近三ヶ年間に於ける比較を示せば次の如し

年 次	原 茶	再 製 茶	計	價 額
三十九年	三、四九四、〇八六斤	一、二八六、四〇〇斤	四、七八〇、四八六斤	一、六一六、七三五円
四十年	三、五六三、八九五	一、二三八、〇八〇	四、八〇一、九七五	一、六六六、六八八
四十一年	三、一四七、二〇〇	一、三〇二、七〇〇	四、四五九、九〇〇	一、六六七、〇〇〇

然かも之れ只縣外輸出の數量を示すのみにして若し夫れ更に縣内消費、屑茶を加算せんに於ては殆ど五百萬斤に達し價額また二百万圓を計上せんとす、尙四十年に於ける茶園段別は二千九百六十四町、製茶戸數二万六千九百戸にして年々増加を見る、而して三十五年以來毎歲茶業組合に縣費若干を補助し努めて保護獎勵を加ふるも同時特に取締機關を設け更に四十二年より新たに

之が技術員を置き鋭意督勵以て大に將來に於ける發展を期しつゝあれば今後數年ならずして其の實行成績は蓋し字内に誇るに足るものあらんを信す

### 茶 業 組 合

三重縣茶業組合聯合會は明治十六年に創まり販路の改良を以て其目的とし爾來大に縣下に於ける斯業を獎勵し米國に直輸の事業を開始し二十六年シカゴ萬國大博覽會の開催さるゝや經費三千圓を投じて獨立出品をなし世界の喝采を博したりき而かも年々價格の暴落は延いて組合員が粗製濫造に傾かんとするの弊を防遏し益す製法の改良を圖り縣下に五十四ヶ所の傳習所を設置し五百餘人の傳習生を養成したり是より先き京都滋賀の有志と茶業團體を組織し北米の要地に委員を派し多少の茶荷物を試賣せしむるに方り本組合の此團體に投ぜし資金殆ど一萬圓の多額に上れり其他目下神戸市に於ける日本製茶輸出株式會社の設立に際し萬難を排して助力する所ありき實に我縣に於ける輸出茶の盛況を極めたるは同組合の啓發誘導に基くも最も多大にして更に益す其發展を期せんが爲め各郡に模範茶園を開き四十三年度に於て別に縣費の補助を受け新に試験場を設けんとするに至れり

### 畜 産

農家の副業として茶業に次ぐものを畜産とす然れどもその牛馬に至ては不振の狀況殆ど見るに足らず殊に明治三十七八年戰役



に於て更に一段の打撃を被りたる結果今尙ほ戦役前の状況に復するに至らず之を四十一年末の調査によりて視るに牛三万二十  
六頭、馬三千四百一頭の少数に過ぎず然かも耕牛馬匹の使用は農業上に於ける幾多利益の随伴する者なるが故に諸般の機關を  
して之か飼養を奨励しつゝあり、之に次で發達増殖を圖るべきは養豚、養鶏、養蜂にして今左に是等の概要を述べん

【養豚】 明治初年の頃盛んに之を飼育したりしも徒だ一時の流行に煽動せられたるに過ぎずその結果非常の失敗を以て終るに  
至り爾來一進一退の間に彷徨し最近三々年間に於て驚くべき増殖を見るに至れり即ち三十九年に四百四十二頭、四十年に八百  
七十九頭、四十一年に至り一千百七頭を計上するに至れり此の如くにして宜しく之が飼育に精勵留意せば一は以て各階級の需  
用を充たし一は以て農業經濟を補ふべく誠に將來有望なる農家の副業たるべし

【養鶏】 由來一種の娛樂に過ぎざりしが如きも明治十八年の頃より飼養を試むる者漸く多きを加へ二十年に至り初めて專業者  
を出すに至れり越えて三十三年の如きは其の數二十三万羽卵數九百万顆を計上せり然かも斯の如きは一時の流行熱に乗じたる  
者にして素より失敗に終り果してその翌年は俄然二万羽の少数を示すに至れり斯くて着實なる進歩は尙々若干の増加を示し之  
を四十一年の調査に見るに左の如し  
鶏飼養戸數五万三千七百二十戸、飼養數二十九万五千三百二十二羽(價格十三万三千四百七十三圓)、産卵數千六百七十七百三十  
六顆(價格二十七万四千八百二十圓)

【養蜂】 その法頗る單純にして困難ならず而かも多大の資本と勞力を要せざるに拘はらず需用は年を逐ふて益々増加せん

加ふるに本縣の氣候は最も之に適應するが故に大に發展奨励の途を講じ逐年擴張増殖せられつゝあり其業の最も行はるゝ地方  
は飯南、三重、牟婁、度會、多氣郡等にして、之を四十一年の調査に見るに總計集箱數九百三十一個、産額七百六十四貫價額一千九  
百六十七圓、敢て多大なりとするに足らざるも其利益の勞力に比較して尤も有望なるは將來之を農家の副業として頗る有利な  
るべきを信ず

### 農業教育

三重縣立農林學校は一志郡久居町に在り三十七年の創立に係り農業科林業科を併置す四十二年三月現在生徒一百四名にして前  
年度まで卒業生五十八名を出だせり、此他多氣郡相可村に同村外三々村組合立農業學校あるの外小學校に附屬せる農業補習學  
校三十八校を有す

今年の衣食は昨年の産業に在り、來年の衣食は今年の艱難に在り 二宮 尊 徳



### 四 林 業

本縣の地勢は東南海洋に面し大小の河川能く舟筏を通ずるの便あり加ふるに氣候温暖地味肥沃なるが故に最も林業の經營に適せり、之を其面積にして二十八萬五千六百八十六町歩實に本縣土地廣袤の三分の二以上を占め就中民有林二十五万六千四百餘町歩は殆ど耕地の三倍に近く而かも其實際の面積は蓋し之に倍すべし誠さに本縣の林業は農業水産と鼎立して縣下三大重要な生産事業なりとす

藩政時代にありては各藩何れも相當の保護法を制定し毫も其の荒廢を見るに至らざりしが維新の改革と共に林政一時に弛緩し而かも急速なる文明の進歩は建築に橋梁に船舶車輛の用材に器具機械の原料に或は電柱となり枕木となり其他各種の材料若くは燃料として著しく需用を増加したる爲め到る處濫伐盛んに行はれ復た舊時の觀を止めざるに至れり是を以て縣は林相恢復の爲に諸般の計劃を立て十餘名の技術員を置き講習會に講話會に實地指導に其他種々督勵を加へ之が發達に盡す所あり、其の施設に至ては縣設苗圃に縣設模範林に將た公有林野整理に項を別ちて後に記する所あるへし

御料林野は宇治山田市、多氣度會及志摩の三郡に、國有林野は右一市三郡以外の各郡市に散在し、民有林野に至ては勿論全縣下に亘りて之あり。今之を自然の地勢によつて伊勢地方、伊賀地方及び志摩より紀伊二郡に至る三部に分てば其の最も大面積を占めたる伊勢地方に於ては比較的森林に豊かならず伊賀地方は面積最も小なれども却て之に富み其の最も豊富なるは面積の大

ならざる志摩郡と度會郡の南半部及南北半婁郡の沿海地方とす

### 造 林

造林は逐年その面積を増加せり樹種は杉、扁柏最も多く黒松、赤松之に亞ぐ最近三年間に於ける民有林新植の面積及樹苗數左の如し

種 類	明治四十一年		同 四十年		同 三十九年	
	面 積	苗 數	面 積	苗 數	面 積	苗 數
扁 柏	五四九、五	三、二四四、〇七九	四九〇、六	三、三三六、一七五	四九〇、五	三、八五六、一三三
杉	一、三三二、〇	六、九七〇、六六九	一、一〇一、三	六、〇二六、八六五	八五九、六	六、六九四、五三〇
赤 松	一九四、七	一、〇三六、三三三	一七八、五	八三五、九六二	一三三、八	六八六、九四〇
黒 松	四〇六、五	二、〇〇三、三九一	五九八、九	二、一四四、七四二	三七七、一	二、三六六、四三六
樟	一一〇、一	八〇三、〇六六	九、〇三	一、〇七七、〇五一	二四、四	二四三、〇三〇
其 他	一八、〇	八二、二六〇	二七、四	一〇三、〇〇〇	二八、九	一一八、三九〇
計	二、五〇九、九	一四、一〇三、一八七	二、四九三、五	一三、三七三、七九四	二、一六五、四	一三、九八五、四四八



民有林天然下種造林面積左の如し

種類	明治四十一年	明治四十年	明治三十九年
赤松	一、二五八、五	一、〇〇八、八	一、三三二、二
黒松	四三三、四	六六六、〇	九九一、〇
櫟	一五、六	六三、四	五八、九
檜	三、九	四、一	五、〇
扁柏	一、二	一、三	一、八
杉	三、〇	一一三、三	一一、二
樅	...	四二、八	四二、八
梅	...	三三、七	三三、七
其他	六四五、四	一、八八、二	一、八六七、六
計	二、三三四、〇	三、七〇三、六	四、三三三、二

伐採

公有林、社寺有林、民有林にたける明治四十一年中伐採したる生産額左の如し

種類	材用		炭	
	數量	價額	數量	價額
扁柏	一三三、二二	五九七、五五	...	...
杉	四九〇、一八	一、一四五、一七	...	...
赤松	三三、〇九	五、二七五	三、〇七九	四六、〇二
黒松	三三、八七一	六四、四九九	三九、七六六	六九、九二五
樅	五〇、八四三	六九、九七一	...	...
櫟	四〇、〇三	三八、二〇八	...	...
檜	...	...	...	...
樅	...	...	...	...
其他	七、〇一〇	二、四、五三三	六五三、三三〇	一三三、〇二五
計	...	二、一〇五、一〇六	...	四〇三、七七七



竹

七、二六

三、六八

……

……

右の如くにして累計二百五十四万五千五百六十四圓を計上せり

### 林産物

明治四十一年中における林産物左の如し

種類	種類	種類	種類	種類	種類	種類	種類
丸及角材	樟腦及樟腦油	一、〇四九、八六四	樟腦及樟腦油	三、三三三	板及挽割物	一、四五五、六六三	三、四四八
樽	木	一、四、一九六	杉葉粉	二〇、七八	樽丸	九、五一	一五、二〇四
樹脂	松茸及菌	二四、七〇〇	草	七、八六	竹材	三、三二六	一五、〇七四
竹材	下炭	三、三二六	薪炭	四〇三、七七	檜皮	三、八三三	七、八六
檜皮	炭材	四八、〇九三	炭材	三九、四六〇	杉皮	四八、〇九三	三九、四六〇

其他を累計して三百五十三万五千九百七十七圓に上れり。鑛産に至ては其産額殆ど云ふに足らず。僅に志摩南牟婁郡の一部において銅十九万貫を、鈴鹿南牟婁郡の一部において石炭八十万貫を、桑名員辨阿山名賀郡の各一部に於て亞炭三百二十九万七千貫を産出するに過ぎず。その價額合計五万三千二百餘圓のみ

### 奨勵施設

- 【保安林】 縣當局は順次調査を遂げ森林間接の目的を達するが爲め之を保安林に編入しつゝ、あり特に漁業保護を目的とする魚付林の設置を以て最も急務とし其他防風潮害防備目標等之に次ぐ就中伐木作業に對しては縣技術員に於て順次調査を行へり
- 【森林開墾】 その出願にして郡部に屬するもの凡て郡長の處分に委任せるも面積一町歩以上のもの又は公有林社寺林若くは保安林接續地砂防指定地其他二縣以上に亘る淀木曾町屋の三川流域内の開墾等その關係の重大なるものは特に知事の承認を要せしむるの規定にして明治四十一年中の許可開墾面積三百三十四町八なり
- 【林野火入】 林野の火入に就ては縣當局専ら此弊風を打破するに力め或は關係者を集めて其有害無益なることを説示し或は規則を設けて之が制限を加へ更に明治三十九年に至り取締規則の改正を行ひ且焚火取締の條項を加へ一面訓令を以て防火の設備をなせり
- 【種子取締】 南勢地方及南北牟婁二郡に於ては杉扁柏の種子を採取販賣するもの少からず或は不良種子を供給して造林者を誤



まらしめんとするを慮れ種子採取及販賣取締規則を制定して嚴重に當業者を取締り母樹の年齢採取期節採取量を制限したり

【摸範林設置】 日露戰役紀念事業として明治三十八年度より十年計畫を以て面積千四百町歩を經營するものにして其目的とする所は造林上及林業經濟上の摸範を示し一面縣基本財産を造成せんとするにあり現今設置済林十二ヶ所に及び縣苗圃養成の樹苗を充用する費金を除き經費豫算額九萬七千九百八十八圓伐期は六十年とし着手十五年以後より毎年循環して間伐を行ひ六十九年目に至り差引純益金二千六百餘萬圓を蓄積せんとするものなり

【樹苗配布】 公有林野植栽獎勵の手段として十ヶ所の縣苗圃に於て養成したる樹苗毎年約七百万本を無代配布しつゝあり此經費一箇年約壹萬圓にして現在苗圃面積四拾町歩を有せり

【其他の獎勵】 前記以外獎勵事業の重なるものを擧ぐれば公有林野の整理、町村林學校林の設置、木炭の改良醋酸樟腦の製造樟茸の栽培等にして種々の方法を以て之を督勵し之を指導し以て獎勵の法を講じつゝあり就中公有林野の整理は本縣須要の事業として先づ部落有財産を統一して町村基本財産たらしめ次で經營方法を決定實行するものにして現に整理済面積は公有林野拾萬町歩中三萬町歩に達せり郡に於ても郡技術員を置きて之が督勵に努むる所少からず郡有林の如きは二三郡を除くの外已に之を設置し凡て各般の業務は逐日進歩しつゝあり

## 五 水 産

伊勢海を擁し太平洋に面し多くは之れ瀬海の地海岸線の延長百五十有餘里に達し海産物の豊富なる農産工業を併せて本縣の大産業となす而かもその水産の業に至れば依て來る所頗る古く到處の漁民出で、は海に漁り入ては則ち之を誦として天照皇大神に捧げ奉り又濱出と稱へて豐受大神の禰宜毎年九月十二日勢田川より舟を櫂して二見郷高城濱に御禊を修むるの古例すら之あり、今之を四十一年度の統計に見るに漁業採藻を業とするもの一万九百九十二戸五万六千七百七十人に及び是等漁民が以て海上の家とする漁船一万三千四隻あり彼等は此の五間に足らざる狭き小き船を海上の安宅として一纏断すれば身は忽ち魚腹に葬られんとするの險を冒し或は千尋の海底に介藻を採り或は萬里の波上に綸を垂る其辛酸また果して如何、死別生別板子一枚に命を托して纜を埤頭に解き去りたる彼等は歸來いかなる海幸を齎すべき之を四十一年の成績に見るに其價額實に二百五十七万七千圓に上れり、尙此外遠洋漁業に従事するもの漁船五百二十三隻乗組員三千四十四人にして此漁獲物價額三十八万三千餘圓を計上す

古來僻言の伊勢と冠せらるゝ中にも伊勢雄海士、伊勢島、伊勢濱萩、伊勢船、伊勢鯉、伊勢海老、伊勢鬚斗、伊勢鱈、伊勢鱒、伊勢鱈、伊勢青海苔、伊勢和布など水産に關するもの亦多く東海市場に伊勢人の名を擅にする其沿革最も尙しと雖も却て陸産業に追躡する能はずして獨り水産業が世の大勢に後れ徒らに舊套を墨守するを許さず明治十九年漁業組合準則の發布と共に沿



海各郡市漁業組合を設置するに至り越て三十一年水産試験場の設置は方に斯業革新の機運を作り爾來着々保護獎勵に力むる所あり

### 重要漁撈

水産漁獲物にして最も重なる産額を計上するは鯉を第一とし鯉、鯽、潤目鯉、鮪、鯷、鯛、秋刀魚、鯖、鰯、鰒等順次その次に位す鯉漁業は古くより行はれたるものにして夙に熊野節なる名稱を博し志摩伊勢南部紀伊地方の主要漁業にして志摩郡坂手、菅島、波切、和具、布施田、度會郡宿田會、中嶋、吉津、鳴津、北牟婁郡長嶋、嶋勝、尾鷲、南牟婁郡二木嶋の如き最も盛んなり、四十一年に於けるその漁獲價額小鯉を合せて七十萬圓に上らんさせり

鯉漁業は沿海郡市一般に渉り到る所漁獲あらざるなくその數量の多きその利用の廣き他の魚族の遠く及ぶ所にあらず或はサーティーンを製して貴重食料となり煮干鰯となり或は田作となり清國に輸出せらるゝ等頗る多種なると共に漁法亦多様にして地曳網、飼取網、巾着網の如き或は敷網或は流網或は刺網あり近時また揚繰網の進歩著しきものある等殆ど網具種類の凡てを便用せざるなく四十一年中の漁獲物價額三十三萬一千圓に上れり

鮪漁業は縣下外海方面に於て専ら行はるゝ所にして古來主として楯切網、一本釣、延繩等を以て北牟婁郡須賀利浦、矢口浦、南牟婁郡三木浦、及志摩度會郡に於て漁獲せらる

鯉漁業は南北牟婁郡及度會志摩郡の重要漁業にして、大敷網、建網及釣具を以て捕獲す、殊に北牟婁郡九木浦に於ける敷網の盛大なる東海に於ける鼻祖を以て稱せられ沿海漁業の巨擘たり

鯖漁業は南牟婁郡度會郡南部及志摩郡等に行はれ其産額も亦大にして前途頗る有望なり若夫れ能く容器の製法を研究し米國海峽殖民地并に濠州等に輸出せば益し重要物産の一たるを疑はざるなり

其他鰯鰒秋刀魚鰩鰒牡蠣白魚等の魚族介類は沿海到る處に群をなし諸種の海藻亦沿岸に多量を産す、捕鯨は南北牟婁郡に行はれ度會志摩等亦好望の地なり、外海の珊瑚は未だ採取するに至らざるも若し斯業に着手するに至らば恐らくは其産額また少くからざるべし

### 遠洋漁業

本縣沿岸に於ける魚族の豊富なる夫れ此の如く從て漁民の進んで更に遠洋漁業に出でんとするの思想なきを以て縣は夙に之が獎勵に努め明治三十二年三重遠洋漁業株式會社の創立に際し縣費を貸附し其後政府の遠洋漁業獎勵費を補助せらるゝに至り更に本縣漁民の發奮を促進し縣水産試験場また遠洋漁業摸範船を新造して有志漁民を試乗せしめ大に斯業の發展に力むる所あり、殊に朝鮮海方面に於ては志摩郡前嶋地方に於ける婦の出漁に始まり年來度會郡に北牟婁郡に年を逐ふて益す其の數を増加し更に近時河藝郡漁民の各種漁具を以て韓國沿海に出漁するもの多く就中鰯地曳網の有望なる將來恐るべき發達を見るあらん



## 製造事業

一般の漁師、彼等は只経験を有するのみ、鐵石の如く發育せる筋肉頑丈なる體軀而かも祖先傳來の漁船と漁具只これ生命なり。漁場の形勢潮流の緩急海底の土質彼等の關する所にあらず魚族の種類分布繁殖の状況成長の程度栖息の狀態彼等の知る所にあらず其他漁具漁網の改良水産物の製造すべて唯經驗に訴へ舊慣を踏襲するも過ぎず然かも社會の進運は永く此の舊態を保つを許さず是を以て水産試験場(志摩郡濱島)をして専ら當業者其嚮ふ所を指示誘掖し製品の改良販路の伸張を促さんか爲め卑近なる種類重要製造物の改良製法試験その他試賣を行ひ或は巡回講話をなし之が開發に力めたるが爲め頓に著しき進歩を來たし顯著なる成績を示すに至れり今左に重要製造品及特殊製品の現況及消長を紹介する所あらんとす

【時雨蛤】桑名の名産にして其他三重郡及四日市市より製出する從來本品は曲物其他簡易の容器を用ひ之を販賣せしも近時雜詰とし或は意匠を凝せる陶器に容れ益すその販路を擴張するに至れり

【布苔】古來伊勢布苔と稱し薄漉布糊を以て名あり専ら多氣度會の二郡より製出し品姿技能共に巧妙なり、殊に近時需用漸次その範圍を擴張し個人的消費に加ふるに工業的利用頓に増加し遂に外國に輸出するに至り爲めに地方所産の原料を以て之を供給するに足らず故に遠く他府縣又は韓國より其原料を仰ぐに至れり更に近來當業者水産組合を組織し検査の法を設け荷造の制

を改め大に市場に好評を博しつゝあり

【田作】主として内海沿岸に産出し就中河藝郡一志郡の産を佳良なりとす而かも概して本縣産は色澤食味乾燥本邦同品に卓越し千葉縣産と共に其名聲を世上に博し年次販路産額を増進せり

【鮑貝斗】往昔伊勢大廟の大廟に貝斗を添へて頒布せしより見るも其製出の古く且つ盛んなりしを知るべし然れども現時は其事全く廢滅に歸せり之れ近時鮑の需用頓に増加し價格亦昂騰を來せしに依るものならんか而して只僅かに志摩郡國府村に於て製出するも之を大廟に献納するの外他に販送するとなしと云ふ

【海參】輸出水産物として重要な位置を占め縣下産額亦尠からざるに拘らず古來その製法單に煎熱乾燥するに止まり更に品質の改良販路の擴張を圖るものあらざりしが明治十九年頃より各地品評會共進會の開設に刺激せられ官民合同一致奮勵の結果漸く一般の智識を啓發するに至りしも尙ほ未だその聲價を揚ぐるに至らざりしが明治三十二年より三十五年に亘り一層その改善を期せんが爲め水産試験場をして之が改良試験を行はしめ獎勵指導の結果俄かにその聲價を恢復し昔日の粗惡品は漸くその跡を絶たんとするに至れり

【鱈節】縣下重要水産物の巨擘として銳意その品質の改良を圖り製法に注意すも雖も販路頗る狹隘にして爲めに一朝その豐漁に際せば製品市場に堆積滯滞し價格頓に暴落するの恐慌を見るのみならず種々の事情は粗製濫造に流れ大に聲價を失墜するに至れるを以て明治三十五年に亘り縣水産試験場に於て専ら其の改良に留意し斯業に熟練せる當業者を高知及靜岡より聘し縣



下固有の製法に改善を加へ弘く縣下當業者に之を指示し近時漸く販路を擴張するに至れり

【罐詰】明治三十四年以來縣水産試験場に於て之が製造試験に従事し或は講習に講話に種々獎勵の結果漸くその方法一般當業者の聞知する所となり所々に罐詰製造業者を見るに至り蠔、味附鮑、鮑、鮑、水煮罐詰を製する者あり進んで明治三十七八年職役に際しては縣下當業者に於て三重海産組合を組織し専ら軍用罐詰の製造に従事し約十八萬貫を供給したるもあり、之より後三十九年戦後經營の發展に鑑み東洋水産株式會社を創立し専ら鮫油漬罐詰及各種水産物罐詰を製造して之を海外に輸出せり今本社を鳥羽町に置き各所に工場を有す

### 養殖專業

我縣の地勢たる幾多水族の養殖に適すべき優勝の位置を占むるに拘はらず、一般斯業の感念に乏しく僅かに之ありざるも未だ以て完全の施設を行ふにあらず是を以て明治三十一年水産試験場設置以來盛んに水族の蕃殖保護法を説き以て斯業の開發指導に任し直接間接に得たる成績頗る尠からず

【海苔】明治二十七年三重郡川越村に於て着手せるものを以て本縣に於ける海苔養殖の嚆矢とす之より後三十二年水産試験場初めて桑名郡伊曾島村に斯業を經營開拓しその結果大に見るべきあるに至り三十七年以後民間に於て各自之を行ふものを續出し現今面積三十三萬五千七百五十六坪に達せり

【牡蠣】縣下沿岸到る處牡蠣種屬の棲息せざるなしと雖も未だ進んで養殖法を講ずる者なく只古來北牟婁郡相賀村渡利に之が事業を經營せるものあるに過ぎず是を以て明治三十三年以來牡蠣試験場を設けて之が模範を示し或は巡回講話に依り頻に之が誘導啓發に努め爾來斯業に従事する者を續出するに至り現今公私有を合せて面積十四萬七千八百六十坪に及びり

【鯉魚】從來之が養殖に従ふものなきにあらざりしも只僅に農家の娛樂として其成育を樂むに止まれり、時に三十三年伊賀上野町に於て鯉兒の養成を企畫し現に伊賀兩郡に於ける養殖場二十六萬六千三百八十五坪産額一万一千五百五十六圓に及び之に次ぐを桑名郡とす實に一般農家の副産業として頗る適切にして興味あるものにあらずや

【眞珠】縣下沿岸は能く眞珠の生産に富み往時蕃殖保護の目的を以て眞珠採收組合を設け之を取締る所ありしも往々濫獲に失し遂に昔日の觀なからんとし人爲的養殖を試みんとする者なきの時に當り志摩の人御木本幸吉氏深く之を遺憾とし會ま明治廿三年眞珠介の主要部たる眞珠の人工を以て作成し得べきを信じ諸方學者の説を叩き多年之が研究に苦辛の結果遂に眞珠介に人工を加へて眞珠を作り得べきことを發見し地を英虞灣神浦多德島に卜し苦慮經營獨立今日の名聲を成し御木本の名は眞珠を聯想し眞珠と云へば直ちに御木本の名を喚起するの信用を内外に博するに到れり若し夫れ伊勢參宮の一歩を進め多德島にその養殖場を訪づれ今日の盛況に比べて慘憺たる苦辛の經歷を聞かんか眞珠王の名また徒爾ならざるを知るべし、かくて茲に一般興運の氣力を喚發し地方競ふて養殖場の設置を見るに至り現今養殖場面積志摩郡若干に度會郡を合せて二百二十五萬二千二百九十四坪に上れり豈に盛んならずや



### 水産教育

水産補習學校六校あり特に崎島水産學校は將來最も有望にして志摩郡和具村に在り外三ヶ村の組合立にして明治四十年の創立に係り四十二年三月現在生徒百七十名あり

## 六工業

今茲に本縣の工業を語るに當り、近く數年間に於ける工産物總價額の統計を農産物の夫れに對比して一覽するの要あり

### 工業 農業

明治三十七年	一五、三一六、〇八二円	二三、四三三、一一九円
同 三十八年	一九、九五四、二三一	二四、六三九、六六七

同 三十九年 二五、八八三、八九二円 二七、四二〇、〇〇〇円

同 四十年 二七、八二八、七三〇 三〇、一四〇、八七七

同 四十一年 二八、九八二、四〇二 二九、三六八、〇六三

此の如くにして軌近工業界に於ける長足の進歩は歲々農産の壘を壓し其の差額頗る些小なるに至り共に物産總價額の四割四分を占む、而かも現下の趨勢は更に進んで農産を凌駕し將に縣下の最大産業たらんことを亦以て本縣の工業化せられつゝあるを思ふべきなり

尙ほ少しく進んで四十一年度統計表を一瞥するに

種別	社數	資額		積立金
		本額	拂込額	
株式	一六	一三、九八一、五〇〇円	七、六七〇、六七五円	三、三三七、一四七円
合資	二四	六五八、一〇〇	四九五、五九三	七五、五三三
合計	二二	一三、七〇〇、六〇〇	八、二七五、九〇八	三、四三三、〇一〇



工場	製糸戸數	器械座	工場							
			紡績	織物	製糸	精米精油釀造造船其他計				
	一八二	六五	四	三	九四	六	二五	八	九五	二六六
機業戸數	職工十人以上織場	家内工業	賃、織業	織元	計					
	五	一、三六八	三、七〇	一六三	五、四〇六					

にして更にその産額を類別に依て見れば織物、紡績綿糸最も主位に居り、蠶絲、清酒その次に位し、菜種油、溜、菓子、醬油、漁網など産額漸次その順位に在り、今以下項を逐ふて主なる工産物の一般状況を紹介する所あらんことす

### 主要工産物

【紡績綿糸】 流石に斯界の巨擘三重紡績株式會社を有するとして其生産額巨額に上り一ヶ年産額二百三十余万貫、五百五十万五千餘圓を計上す四日市、津、桑名、川島の四工場を合して職工約七千五百人、石炭消費高約四千二百萬斤また以て一班を察すべきなり。同會社は實に明治十九年の創立に係り本社を四日市に置き支店を名古屋大坂に設く其他工場としては前記四ヶ

所の外愛知尾張名古屋津島の分工場あり初めは資本金貳拾貳萬圓を以て起り今や附近の小會社を併呑して拂込資本金五百八十七萬七千六百七十五圓積立金三百十六萬圓を有す記憶すべきは同社は夙に二十年の頃より印度棉花の有望なるを知り自から機械の改良と多年の苦辛を以て同棉花が摩芥種子の混交を除却するの法を講じ進んで社員を英領印度に派し孟買タタ商會と印度棉花の輸入を契約せり之れ本邦に於て印度棉花を紡績事業に用ふるの嚆矢なりき

【織物】 工産物中最も巨額の主位を占め價額六百九十二萬四千餘圓を有す雖も之れ亦三重紡績の織布を以て大部分を占有し四日市津の二工場に於て一ヶ年の産額百二十三萬九千九百九十九圓の價額三百九十四萬五千餘圓を計上す然り雖も伊勢木綿の名は古來その價の低廉とその質の強實さを以て稱せられ近時益々改良の實を擧げ大に進歩の成績を見る者あり、現に津市及び安濃河藝鈴鹿の三郡に於る伊勢織物同業組合、飯南一志多氣の三郡に於る松阪木綿同業組合は互に組合員を指導督勵して染織の改良を圖り生産組合を設けて染色を保全し更に三重織物生産組合を設けて製品を整理する等敢て舊時の聲價に満足せず互に向上の意氣あるは喜ぶべし、機業戸數五千四百多くは之れ前記組合の地區内に遍在し殆ど賃織業家内工業その大部分を占め百人以上の職工を有するものとして安濃郡新町富田三、河藝郡一身田村富田金七及び松阪木綿合資會社の工場なるが如く多く白木綿を産するの外綿織は元より、絹綿交織に斬新なるものを織出し夜具襦及び改良染無地織に於て亦大に見るべきものあり【タオル】 最近數年間に於ける事業にして桑名郡富洲原村三重浴巾商會に於ける産額を第一とし其他河藝郡三重郡其他にも之を製織す其他近く各地に續々として勃興し日を逐ふて發達しつつあるを見る殊に最近の特許にかゝる津市森田庄三郎發明の臘



染浴巾は未だ市場に出でずして既に内外の喝采を博しつゝあり

【蠶絲】紡績綿糸及織物に次げる主なる産業にして最近一ヶ年産額三百二十九万余圓に及び工場數九十四職工四千二百、之を郡市別に依て見るに其の三分の一は三重郡にして百万圓を算す次位は一志郡なれども五十萬圓に落つ、更に之を工場に就て見ると三重郡三重製糸場を第一とし次で同郡伊藤製糸場、一志郡高岡製糸會社を最も著名なるものとす津市關西製糸會社と共に何れも十七万以上二十七萬圓の産額を計上せり

【清酒】明治四十一年に於ける産額二百八十九万四千余圓にして度會郡及宇治山田市を除く外各郡市に於て醸造す、而して三重郡最主位にあり總産額の四分の一を占め河藝阿山之次ぐ、多く縣内に消費せらるゝも尙ほ東京地方に若干を輸出し各地に組合を設け津市に聯合會を置き検査員をして監督せしむる等銳意その改善を圖り更に縣知事主宰の下に毎年二期品評會を開き益す精良なる造出を見るに至れり

【醬油、溜】醬油も亦三重郡を以て主なる産地とし總産額の二分を占め溜は河藝郡の二分七厘を以て最多とす、通計總産額百十万七千余圓にして由來本縣に於ては溜を以て醬油より上位にある者とし一般に歡ばれず且つその味の美なるに於て素より醬油の及ぶ所にあらず尙他府縣に於て多く之を産せざるを以て大よ誇り近時縣外に販路を擴張するに至れり、三重縣醬油同業組合は津市にあり醬油溜製造業者二百四十一を組合員とし互に改善の法を講ぜり

【菜種油】古來伊勢の水と呼ばれて稱讚を博せる種油は四日市附近を以て重なる産地とし明治十五年斯界の有志者四日市製

油會社を組織し人力壓搾法に代ふるに機械力製造法を以てしたるも不幸にして解散の悲境に陥りしを同市九鬼紋七氏に依て其事業を繼承せられ今や其の販路は内地は勿論支那地方へも歳々巨額の輸出を見るに至れり其他縣下を通じて壹ヶ年産額七拾貳萬貳千餘圓を有せり

【漁網】四日市に三重製網合資會社あり特許の編網機を有し全国各地に販賣店を設け沿海漁民をして其の機械製編網の効果を周知せしむる等大に斯界の爲に盡す所あり、之より後津市に中村兄弟商會あり共に特許の編網機を有し各製網を供給せり之を内地にしては四國九州北陸北海道樺太及び沿海の諸國その他清韓地方にも輸出せり

【瑛瑯鍋】桑名町瑛瑯鐵器株式會社の專有産物にして舊く同町廣瀬與左衛門氏の經營にかゝり近頃時運の要求に伴ひ株式組織としたる者にして壹ヶ年製造高は鑄物鍋釜類二十二萬個價格五萬五千圓、薄物瑛瑯瑛及食器七十五萬七千個價格五萬三千餘圓なり政府また該事業の有望なるを認め機械器具を貸付し別に補助を受けて技術者を海外に派遣し更に製品の改良を行ひ近く南清印度地方に販路を擴張せんとするに至れり

【染形紙】河藝郡白子町の特有産にして其濫觴を詳かにせずと雖も古老の口碑に傳ふ所によれば足利氏の季世公卿萩原中納言時の白子山觀音寺住職某法印と舊知を以て此地に流落し徒然の餘暇富貴繪形なるものを案出し寺門に參拜する道者に販賣せるに初まり後さめ小紋形の發見となり友禪染形更紗染形の進歩となり遂に今日の如き技術の發達と製品の精巧を來し今や製造戸數百五十八戸一ヶ年産額百九拾八萬貳千圓に及び更に進んで町立工業徒弟學校を設立して以來その彫刻の技術益す進歩し従て



全國に販路を擴張するに至れり

【擬革紙】多氣郡明星村を以て古來の産地とす伊勢參宮をなす者は必ず山田市街つば屋煙草入の店頭に陳列されたる多きをみるべし古來伊勢名産の一として其名遠近に喧傳す多年の經營は原紙の改良となり着色法の案出となり更に擬革紙通有の油臭を除く等慘憺たる苦辛を重ね今やその製品は只に煙草入のみに止まらず各種の應用を見るに至り其の聲價は海外にまで廣まり需用日に増加し英米佛西白の諸國及香港に輸出せらる

【銅器】津市はその始め寛永年中但馬守吉種といへる鑄造の名手ありしより夙に銅器を以て名あり後京都の人平井安兵衛なる者この地に流寓し斯業の發展を企圖したるに起り爾來その子弟等愈々技術を練磨し殊に若林はや盛んに海外輸出に留意する所あり社會の趨勢と時運の流行に伴ひ頻りに意匠を凝らし改善を行ひ能く好事家及び外人の嗜好に投じ今後愈々有望の輸出品たらんことを

【漆器】畿近斯界の流風専らその塗料の美を競ひ實用の器たるを忘れんとするの時に當り獨り宇治山田市に於ける春慶塗は内地向きを専らとし其外觀の点に至りては他に一着を輸するも其實用の器たるに至りては品質堅牢に且價格低廉にして頗る日常の需用に適す、桑名益は桑名町の産にして樂翁公の遺徳と共に蕪善盆の名古來喧稱せらるる所なり古雅と堅牢を以て鳴る、共に尙ほ改良發展の餘地あるべく縣當局に於て専ら奨励しつゝあり。津市に於る斯業は近時漸く曙光を見る

【陶器】その萬古燒は縣下著名の物産にして販路また大なり元文年間初めて桑名に起り今専ら四日市地方に於て製出せられ

合資會社川村組その最たり典雅清新の趣味は年を逐ふて歐米に歡迎せらるる別に關町に鈴鹿萬古あり、其他伊賀燒の雅致はまさしに信樂燒を凌がんことを阿漕燒神路燒等また聲價あり

【製紙】また主要なる物産にして和紙は特に宇治山田地方のもの産額最も多く販路甚だ廣大なり次て飯南郡深野附近にも許多の各種和紙を製す、其他名賀郡に於ける伊賀半紙の名は最も古く世に知らるる所なり更に四日市製紙株式會社は靜岡縣芝川に工場を設け盛んに各種洋紙を製出し清國地方にも輸出せり

【造船鐵工】造船は大湊と鳥羽の獨占にして特に合資會社鳥羽造船所を尤とす只に新造船の多數なるのみならず特に驅逐艦の修繕或は船具の製造を命ぜられたる如き以て其の信用と隆盛を下するに足らん、鐵工場亦各地に點在す殊に四日市三重鐵工所最も事業の盛大を見る次て大湊に菊川鐵工場等あり

## 其他の工産

津市の茄子、團扇は古來の名産にして、山田に山田傘あり伊賀上野附近に亦多くを製出す、阿山郡の經木、眞田、柎藤細工は夙に農家の副産として市場に雄飛するのみならず、度會郡の花筵、飯南郡の草履表、河藝多氣名賀の行李も亦有望の事業に數へられ、鳥羽町東洋水産會社に於ける鰹油漬の新企業は外國製品と競争するの意氣を示し、沃土の製造は現に智利國製品を壓倒せり挽材製箱の事業は度會及牟婁郡に於て最も盛なり、之を織物としては只に伊勢木綿のみならず近時羽二重、絹の製織三重郡



その他に勃興せり、その他三重セメント會社のセメント及び三重郡その他に於ける煉瓦、瓦の製造、津市の燐寸、製氷、或は各地の澤庵漬、四日市松阪の菓子、多氣のオフラート、桑名附近の素麵等一々列擧せば日も亦足らざるべし

### 工業試験場

三重縣工業試験場は津市に在り四十二年度の創設にかゝる、染織、陶器、漆器、銅器その他一般工業に於る各種の試験、意匠の考案等をなし各専門の技師技手を置き常に縣内各地を巡回して講習講話會を開き學理に實地に指導獎勵する所あり以て大に斯道の發展改良を促進せしめつゝあり

### 工業教育

縣立工業學校は松阪町に在り明治三十五年の創立にかゝり本科豫科を合せて四十二年三月現在生徒百七十九名にして前年度までの卒業生六十一名を出だせり、其他鳥羽町に町立商船學校あり航海科機關科を置き、白子町に町立徒弟學校を置けり

## 七 商 業

陸に東西の要路に當り海に舟楫の便到る所に在り、是を以て古來海陸の通商盛んに行はれ維新以來外國と貿易を開くに及んで對外の商業は益々活氣を加ふるに至れり、而かも縣下豪商に乏からず店舗を東京大阪横濱等に有して盛大なる商業を營む者頗る多く又いま籍を縣下に有せざるも其の出身本縣なるが爲め直接間接に縣下事業に勢援を與ふる者三井家を始めし其他枚擧に違あらず且清韓米濠に於て有力なる商業を企劃せる者近來陸續として輩出せり、之を要するに縣民の縣外に於ける商業上の勢力は得て侮るべからざるものあり是に於て内外氣脉相應じ消息相通じ爲に縣内商工業を刺激しその發達を裨益促進する所亦決して少小にあらず

### 販路一斑

生糸は主として横濱より、茶は多く神戸より輸出し、綿糸綿布は或は四日市より大阪を經由して清韓諸國に輸出し、陶器、珐瑯、磁器、擬革紙、木綿、漁網、紙類は多く内地の需用に應ずるを主とせるも其の米國清國韓國へ輸出し又は在留外人に需用せらるゝもの近來著しき増加を示し、銅器、タオル、經木眞田細工、檜織の微も雖も海外に輸出するも少きにあらず、眞珠は東京に致して後海外に出だされ、沃土は大阪に送りて後精製輸出の料に供され、鯉油漬は重に米國に歡迎さる、菜種油は之を他



に販き石油は之を外に仰ぎ、酒は主として縣内に捌き、生魚乾魚は主として大阪名古屋に輸たし、海草類は販路を内外各地に有し、食糧煙草は勿論附近專賣局に買上げらるるものとす、而して取引の最も盛んなるは米穀にして尙他縣の産にして本縣を經由するもの少額にあらず、外國米臺灣米の本縣より内地に輸入せらるるもの亦頗る多し。而して海陸ともに出入貨物の多數を取扱ふは四日市を第一とし棉花の米國又は印度より肥料の北海道滿州よりするの輸入は總て此地に由る。次で日用雜貨品にして縣下に需要せらるる大部分は其供給を大阪名古屋に仰げり。蓋し本縣商業の状態は千差萬別固より更僕に暇あらずと雖も要するに大勢は駁々として隆運に向ひ然かも其の歩調は漸次個人的より團體組織となり或は組合小トラストを爲し需要供給の權衡を保ち以て他の競争者と相角逐するの時運に會せるは獨り本縣商業者の爲めに賀すべきのみならず我邦商戰界の作戦法とて亦大に歡ふ所なりとす斯の如くにして内地向專業の商賈も發展の餘地を見出し得べく兩々相須ちて商業政策確立の時代に到達するあるべきを信す

### 商業會議所

津市及び四日市市に在り共に二十六年五月の設立にして爾來着々商業上の弊害を矯め進むで商業者の爲に必要な資料を供しつゝあり、四十一年に於ける經費決算津は貳千七百餘圓四日市は五千九百餘圓を以て是が經營施設に懈らず斯界の爲めに調査研究し一般商業者の顧問所として貢獻する所少からず

### 銀行、會社

大小三十有餘の銀行、資本金額よりすれば大は百萬圓より壹萬圓の小に及び、設立年月よりすれば古きは明治十一年に起り新しきは四十年に設立されたる者あり、業務の種類、土地の狀況、設立の時代、資本の大小に従ひ其營業振に多少の相違はあれど何づれも着實丁寧を競ひ近く伊勢銀行の破綻を見たる以外一般にその基礎の鞏固なるを見る、今四十一年末に於ける現在銀行左の如し

種別	社數	資本金		積立金
		總額	拂込額	
株式	二七	六、八九〇、〇〇〇 <small>円</small>	四、八五六、三七九 <small>円</small>	九五〇、一九三 <small>円</small>
合名	三	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一四七、〇五〇
個人	二	一〇一、五三〇	一〇一、五三〇	一四三、〇〇〇
農工	一	七〇〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇
計	三三	七、八五二、五三〇	五、八八七、八九九	一、四五一、二四三

其他第一、名古屋、愛知、左右田、丸八貯蓄、高須貯蓄銀行等の縣内各地に支店を有するものを合せて四十一年中に於ける諸



預り金壹億貳千三百五拾六萬八千餘圓、貸付金四千三百三拾三萬八千餘圓なり、是に由て之を視るに資本の充實は優に全國屈指の位地にあるも縣民の金融機關に對する利用の程度未だ高度にあらざるを發見すべし然れども金融機關そのもの情態より見るときは漸次小資本の銀行は大本資本のそれに合同せらるゝの傾向を示しつゝあり  
次に會社狀況を見るに銀行及び工業會社を除き左表の如し

種別	社數	資本金		積立額
		總額	拂込額	
株式	三三	三、三三三、五〇〇 <small>円</small>	一、八九一、五〇 <small>円</small>	一五、二九三 <small>円</small>
合資	二六	三、五、一〇〇	三六、五六 <small>円</small>	三七、三〇一
合計	五九	一、三二、八〇〇	一、〇六、八〇〇	九八、八〇〇
		五、一九〇、四〇〇	三、七二四、八六四	二八七、三九四

### 市場

これを取引所として桑名に米穀、津及び四日市に米穀株式の三ヶ所あり。特に桑名に於けるもの始源極めて古く從て其の起る所詳かならざるも舊藩廳の頃許可を得て米市場を公開せしは今より百二十餘年前天明年間にあり爾來會員組織を以て米市場又

は米會所と稱し其後今の取引所と改むるに至れる變遷一再ならず難も連綿として今日に至るまで取引を行ひ來れる經歷已久しく賣買受渡の正確なる深く世間の信用を博し東西の間に介立して頭角を現はし其一低は斯界の重視する所となり其賣買高に於ても亦到底他取引所の及ぶ所にあらずしが今や時勢の推移は左表の成績を示して漸時四日市の爲に壓倒せらるゝに至れり

年	桑名		四日市		津	
	石數	金額	石數	金額	石數	金額
三十七年	七〇、九八〇 <small>石</small>	八、九三、八〇 <small>円</small>	五三、二七〇 <small>石</small>	六、五〇八、〇 <small>円</small>	三〇八、四〇 <small>石</small>	二、六五六、二五 <small>円</small>
三十九年	三九三、〇九〇	五、七〇七、二三	四四三、七七〇	六、四二六、七九七	一九四、二八〇	二、八〇七、三五六
四十一年	三七二、〇三〇	五、七二、一五五	五七、一〇〇	八、七三五、二三	二六二、二六〇	四、〇五二、六九一

その他諸南市場に至るは魚類市場に至る處にあり外に青物、繭生糸等を合せて七十二ヶ所あり四十一年に於ける取引總高三、五八一、八八一圓なり

### 同業組合

肥料、醬油、製絲、漆器、織物、米穀、度量衡、木材、萬古焼陶器、沃世、蠶種、鉄鑄物その他牛乳、素麵等重要物産同業組



合法に依れる組合二十三にして百萬圓以上の製産高を計上せるもの左の如し

名 稱	地 區	製産又は販賣額
三重縣製絲	縣下一圓	四、〇〇〇、五〇〇 <sup>円</sup>
四日市肥料商	四日市市一圓	三、五二四、二七八
同米穀輸出	同	一、八六九、五六〇
伊勢織物	津市、安濃、河藝、鈴鹿郡	一、三七一、八一五
三重縣醬油	縣下一圓	一、一二〇、二三七

### 産業組合

産業組合の必要は縣當局に於て専ら之を唱導し縣農會及び郡市長を通じて其發達を指導し或は講話會を開きて之を奨勵する所あり、四十一年末に於ける現在數總計百四十五にして内譯

信用購買	一九	購買	三三
購買販賣	九	生産販賣	六
信用購買	二二	信用購買販賣生産	八

に及び尙近き將來に於て更に有力なる聯合會を組織し個々の組合と相俟ちて愈よ向上發展を期せんとしつゝあり今前記多數組合が資金の融通に生産に販賣に將た購買事業に着々好成績を收むるの間にありて尙その模範とするに足るものを摘記すれば左の如し

信用販賣購買	三〇	生 産	七
販賣信用	一	購買生産販賣	四
販賣生産信用	一		
無限 相津購買組合(飯南)		無限 鶴方信用組合(志摩)	
同 立神信用組合(志摩)		同 栗加購買組合(安濃)	
同 玉瀧村信用組合(阿山)		同 柄田信用組合(阿山)	
有限 豐地信用販賣購買組合(一志)		有限 生系販賣組合東海社(阿山)	

### 勸業陳列館

明治四十年第九回關西府縣聯合共進會に於ける參考館の建物を繼承して三重縣勸業陳列館とし同年十月の開館に係り津市公園にあり、縣下に於ける各種生産品を網羅せるは勿論縣外に於ける參考品を陳列し、委託販賣を以て出品する者亦漸次その數を



増加し營業者をして各自製品の改良を競ひ販路の擴張を企圖するに至れるは誠さに慶ぶべく更に圖書閱覽室を公開し各種の書籍を備へて公衆の閱覽に供せり、且つ樓上の一室を供用して品評會競技會その他實業上の會合に貸興しつゝあるは一面營業者と接近の期を得るのみならず又頗る利便とする所なり

### 商業教育

四日市に縣立四日市商業學校あり、明治二十九年の創立に係り現在生徒本科豫科を合せて三百七十七名にして卒業生四百四十四名を出だし自家營業に従事する者其他外國各地會社商店に就職する者多く皆悉くその途に活躍し斯界に貢獻する所少からず

# 伊勢本編

伊勢本編

伊勢本編

伊勢本編

伊勢本編

伊勢本編

伊勢本編

伊勢本編

伊勢本編

伊勢本編

伊勢本編



増加し當業者をして各自製品の改良を競ひ販路の擴張を企圖するに至れるは誠に慶ぶべく更に圖書閱覽室を公開し各種の書籍を備へて公衆の閱覽に供せり、且つ樓上の一室を供用して品評會展覽會その他實業上の會合に食與しつゝあるは一面當業者と接近の期を得るのゆゑならず又頗る利便とする所なり

### 商業教育

四日市に縣立四日市商業學校あり、明治二十九年の創立に係り現在生徒本料豫料を合せて三百七十七名にして卒業生四百四十名を出だし自家營業に従事する者其他外國各地會社商店に就職する者多、皆悉くその途に活躍し斯界に貢獻する所少からず

**産額** 最近壹ケ年産額百九拾萬反、價額百參拾七萬圓なり

**機關** 染色は伊勢染生産組合に、整理は三重織物生産組合に、各脈絡せる機關を有す

三重縣津市

# 伊勢木綿

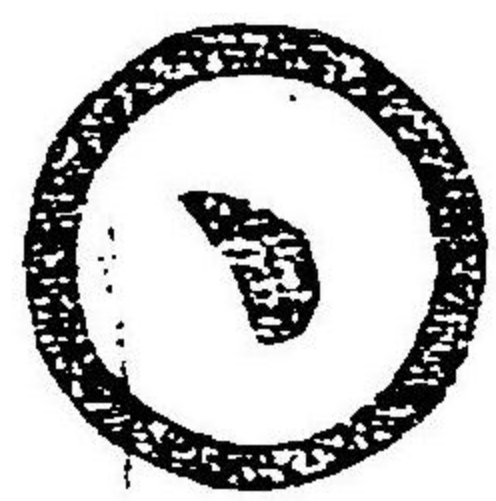
伊勢織物同業組合

**検査** 毎反嚴密なる検査を行ひ粗製濫造を防ぐ

**保證** 組合員の製品に對し其の糸質染色の堅牢と長巾を保證す



屋問類酒。物產海。粕干。耐燒



# 松之伊野竹

村楠郡重三縣重三

## 祝第十回共進會開催

弊館ハ津市ノ中央ニ在リ岩田川ハ庭前ヲ  
東シ津港出入ノ船舶晝夜來往ス川ヲ距テ  
、阿漕浦ノ勝地平次ノ舊跡結城神君ノ靈  
地アリ四時ノ眺望實ニ佳絶トス館内ニハ  
海水浴場ヲ設ケ一般顧客ノ御用ニ供ス

### 高等旅館

并御料理

津市極樂町

### 聽潮館

長電一〇六番

# 全

營業主

## 村山一平

四日市 西側 村山運送店 電話(長)一〇二番	東京新橋 驛前 村山東京支店 電話(長)新橋三三六二番	大坂湊 町驛前 村山大坂支店 電話(長)三一六五番	大坂片 町驛前 村山出張所 電話三六四五番	四日市 驛前東側 村山繭糸店 電話三三二番	四日市 停車場 村山石炭部 電話一〇二番
---------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-------------------------------

## 優良蠶種製造販賣

三重縣飯南郡大河内村

### 伊勢蠶種改良會

電信 署號 イセ  
振替貯金東京第六七〇六番

會長 堀木 虎吉

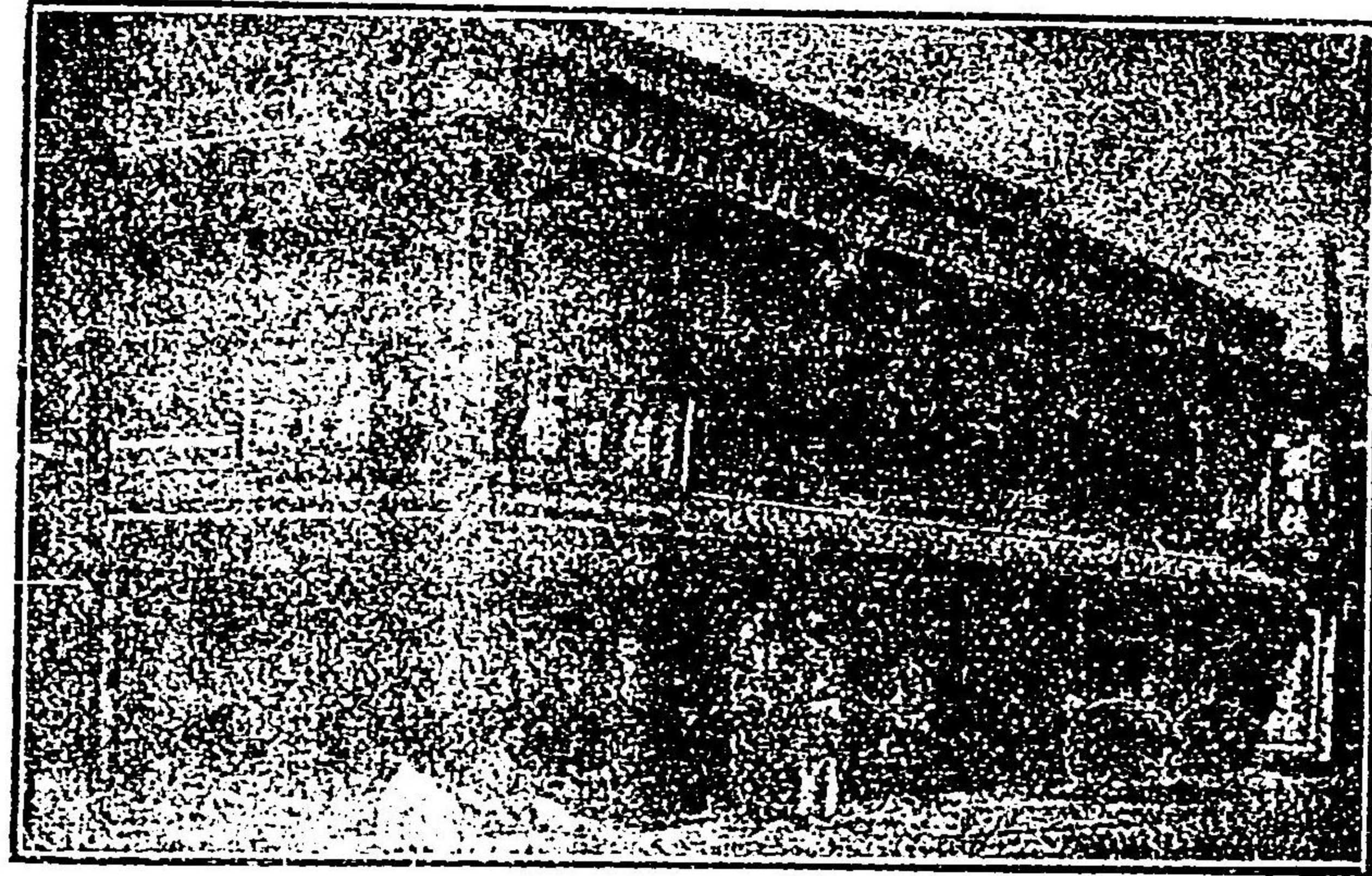
製造主任 宮下 孫三郎

飯南郡大河内村  
同郡漕代村



帝國鐵道院指定

旅 館 



伊勢山田停車場外前

朝 日 館

(二見內宮電車道分)



工 場 之 圖

- 一 汽機汽罐其他諸機械
- 一 窯 業 諸 機 械
- 一 田邊式鉄製自動織機(專賣特許品)
- 右製造販賣仕候間御用被仰
- 付度奉願上候

合資 三 重 鐵 工 所

本店 四日市市高砂町五拾番屋敷  
出張所 名古屋市西區西柳町三番戶

宇治山田市岩淵町

鷄 晨 園 養 鷄 場

場主 藤 本 久 男

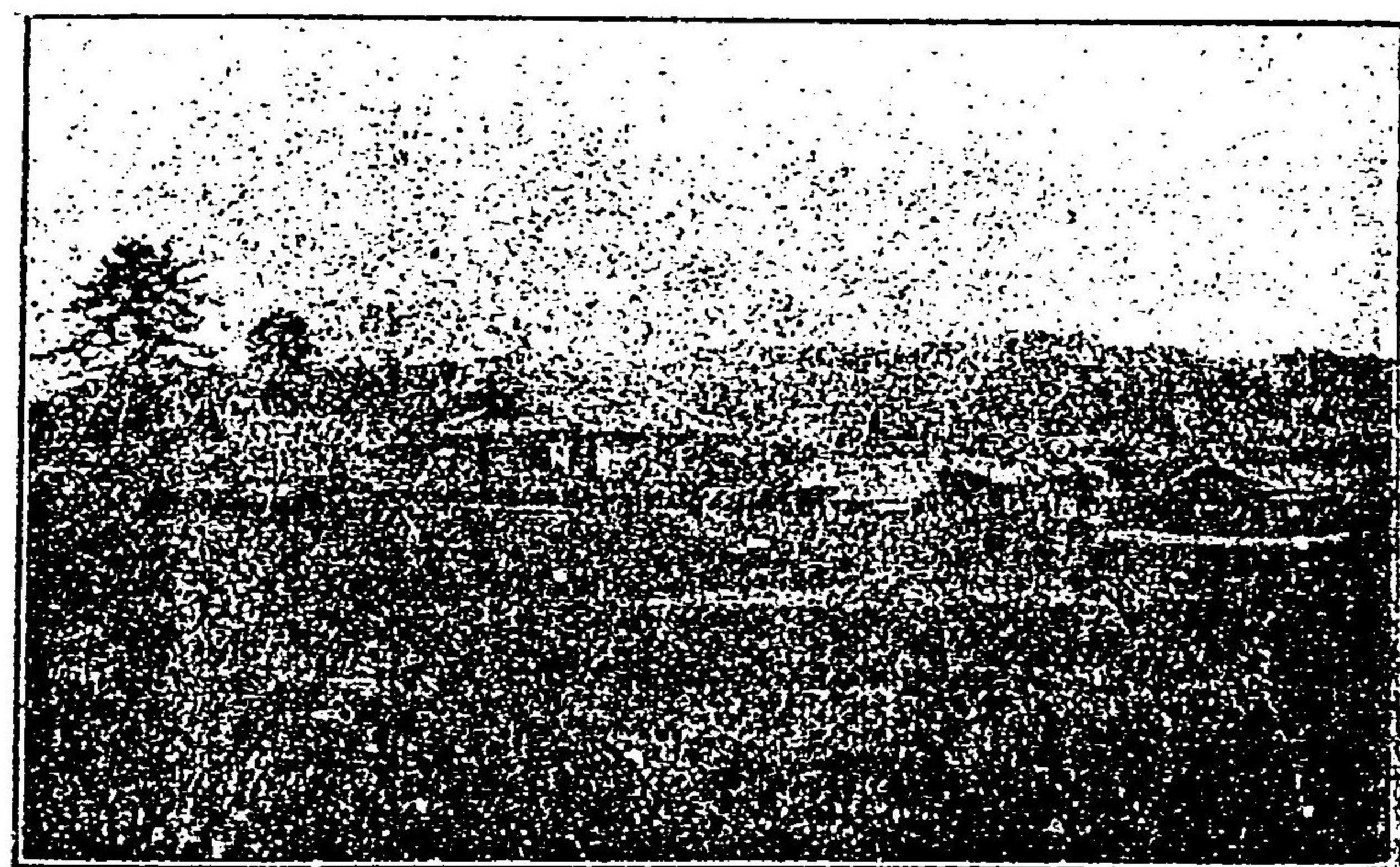
電話三六四番



# 伊勢草履表問屋業

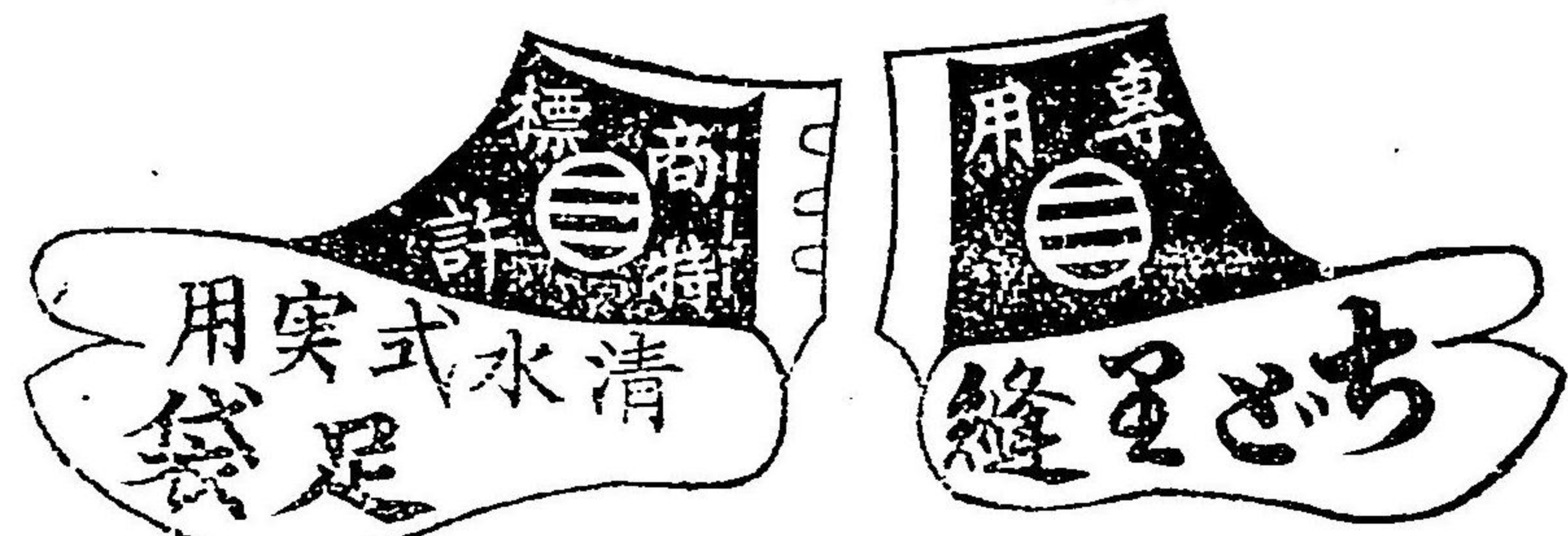
飯南郡鈴止村大字東岸江  
**正** 山口庄藏  
 同郡同村大字同  
**傘** 前田平吉  
 同郡同村大字同  
 松本嘉之助  
 同郡同村大字同  
 宮本駒吉  
 同郡松阪町大字湊町字油屋町  
**矢** 白塚大三郎  
 多氣郡齋宮村大字竹川  
 長電話二二五番  
 田所傳右衛門

伊勢三重郡坂部温泉場



## 旅館各治樓

四日市驛ヨリソ一里



普通足ノ五保丈ナ事下 通袋四倍ツ夫ル一天  
 格好良シ縫方全

製造發賣元

四日市江町

## 清水由三郎商店

電話略(シ)振替口座九八四三

## 御料理兼旅館

四日市停車場より二丁

# あづま

長電二三番



日神本海上海運送火災保險株式會社  
 日本海上海運送火災保險株式會社  
 日神本海上海運送火災保險株式會社

海陸運送業

伊勢國四日市港海岸

便宜合資會社

長電話 四八六番

名古屋市西區大船町四丁目

名古屋支店

長電話 四四〇番

四日市市停車場前

出張所

長電話 四七番



三重縣松阪停車場前

長電話 八六番

營業科目

機械製材  
 建築用材販賣  
 建築工事請負  
 製函及賃挽

三重縣特産萬古陶器ハ近來改良シ内外共新形異風品製造  
 仕リ荷造等モ堅固ニテ早達可致候間多少ニ不拘御用命之  
 程伏而奉深願候 敬具

三重縣四日市市

萬古陶磁器同業組合



日本神戶 上海 運送 火災 保險 株式會社 船隻 代理店  
 日本神戶 上海 運送 火災 保險 株式會社 船隻 代理店

海陸運送業

伊勢國四日市港海岸

便宜合資會社

長電話 四四八番

名古屋市西區大船町四丁目

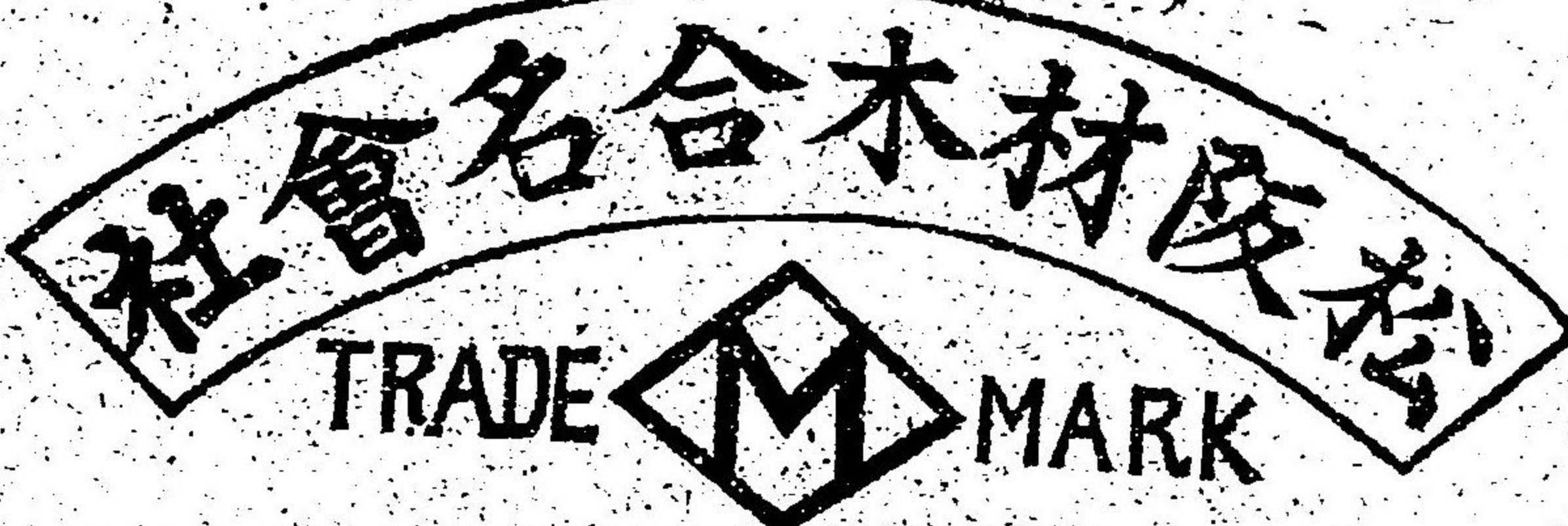
名古屋支店

長電話 四四〇番

四日市市停車場前

出張所

長電話 四七番



三重縣松阪市停車場前  
 長電話 八六番

營業科目  
 機械製材  
 建築用材販賣  
 建築工事請負  
 製函及賃挽

三重縣特產萬古陶器ハ近來改良シ内外共新形異風品製造  
 仕リ荷造等モ堅固ニテ早達可致候間多少ニ不拘御用命之  
 程伏而奉深願候 敬具

三重縣四日市市

萬古陶磁器同業組合



社會名合  町阪松

# 行銀上井內堀

社員 同

西町出張店	新町出張店	六軒出張店	宮前支店	井上又兵衛	堀内鶴雄
-------	-------	-------	------	-------	------

## 各釀造元特約

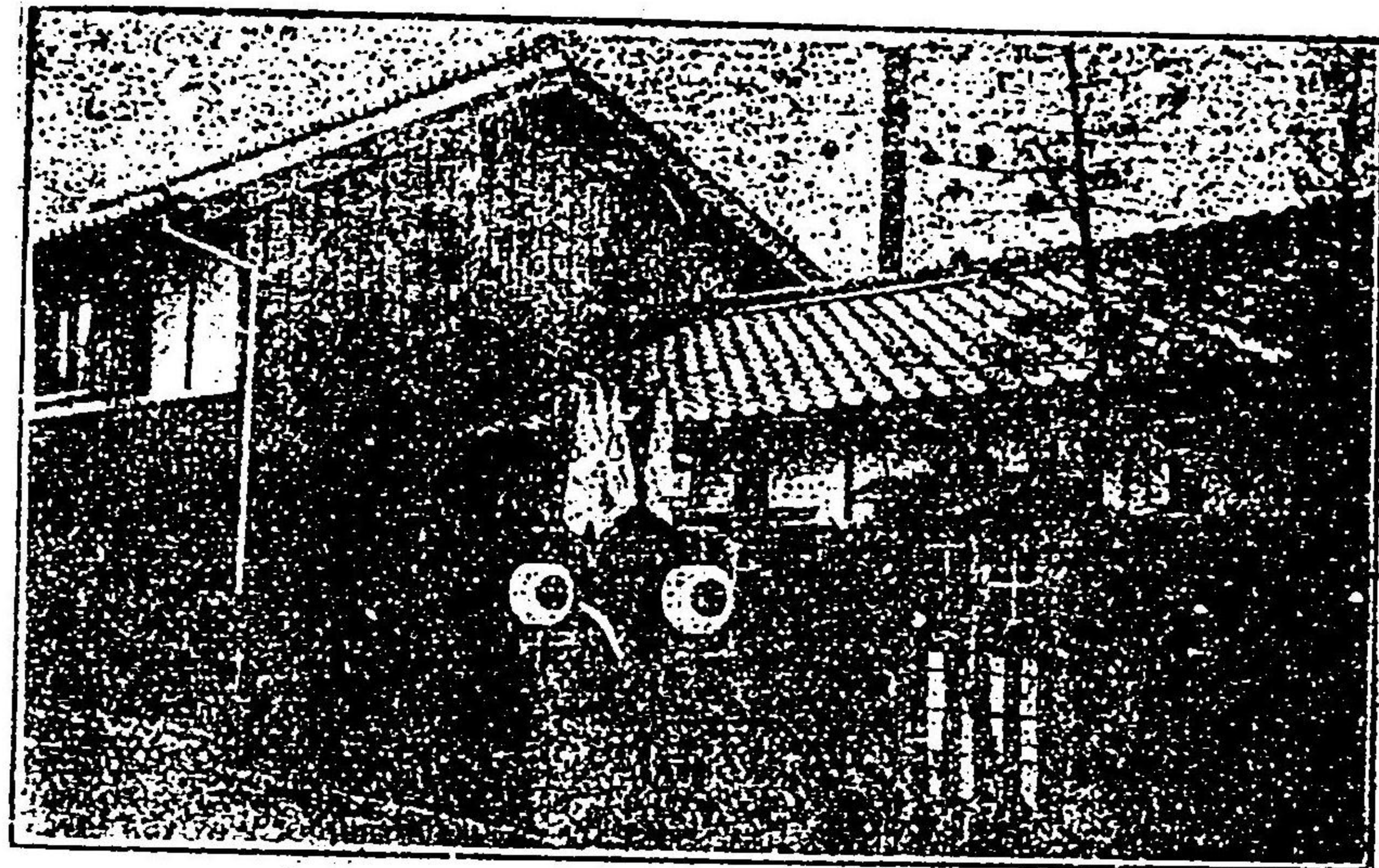
四日市市北町

和洋酒問屋 黒川 新作

振替貯金口座東京電話貳〇九番  
第壹八五四番 電信略號クロカハ

### MIYE TOWEL & CO.

ISE, TOMIDAISIKI



色一田富郡重三縣重三  
會商巾浴重三

(T)ハ又(ミ)號略信電 × 番三話電設特

一虎印

三十度乃至  
四十五度 各種

一獅子印

九十一%  
九十四% 各種

前記製品ハ最モ進歩セル學理ノ應用ト四季釀造ノ裝置ト恒哉式蒸餾器トニ依リ吟釀シタル實用的逸品ナリ

三重縣四日市市大字北條町

釀造元 三重酒精合資會社

長電話三二六番





三重縣  
實業案  
内後編

名勝と名産

一神宮

御製

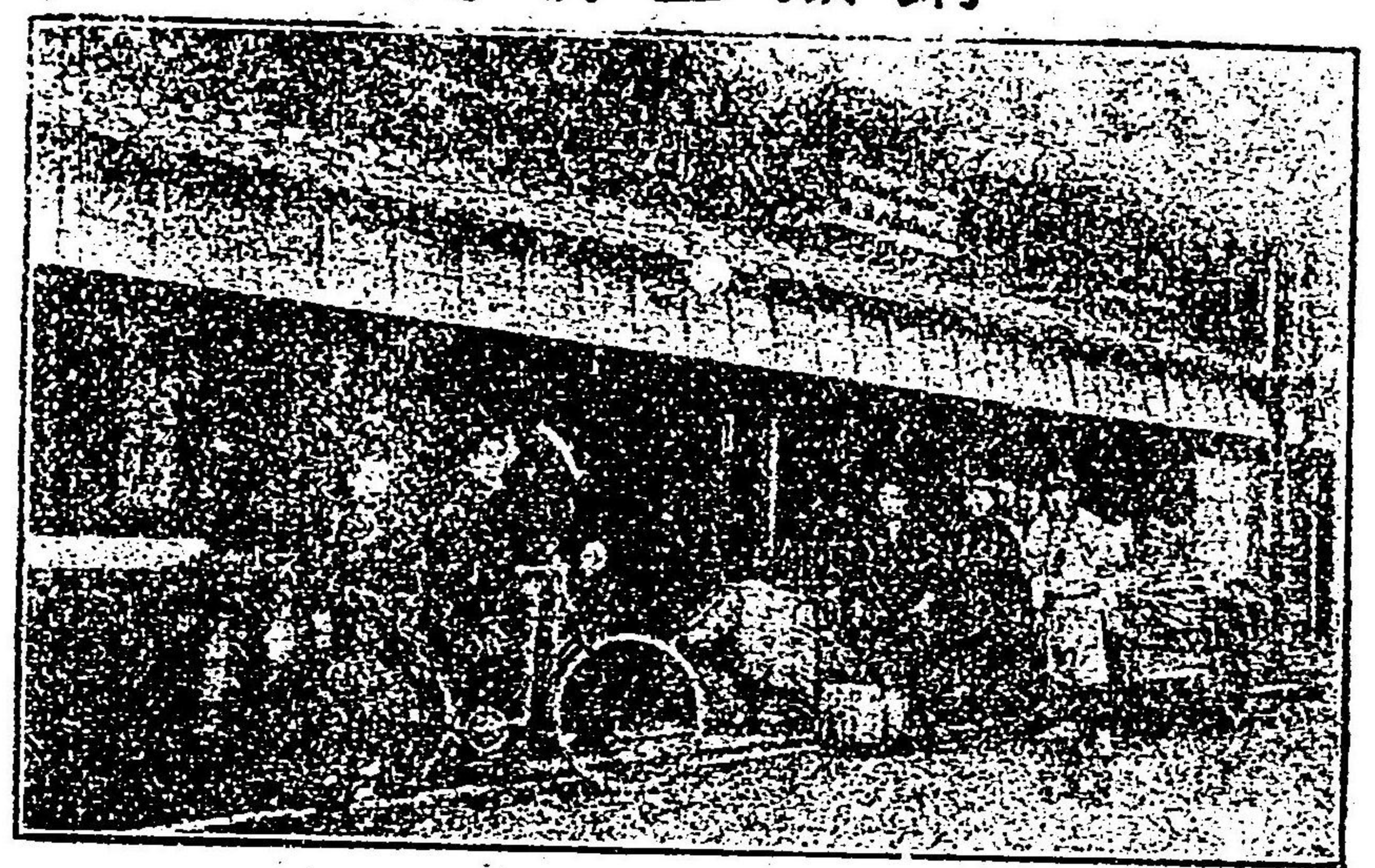
皇后宮御歌

とこしへに民やすかれと祈るなる  
我世を守れ伊勢の大神

神風の伊勢の内外の宮はしら  
ゆるきなき世をなほ祈る哉



銅鐵金物商



三重縣津市大字東町  
阿保弘平  
商號鐵屋 長電話五四番

金  
かぜぬつり  
ネツトリ

試に是非一服を用ひらばよ

堂録  
内務省免許薬名  
健胃強壯解熱散薬  
ネツトリ  
伊勢松坂新町  
東谷泰  
伊勢松坂新町  
東谷泰

にせ物ありの登録には注意

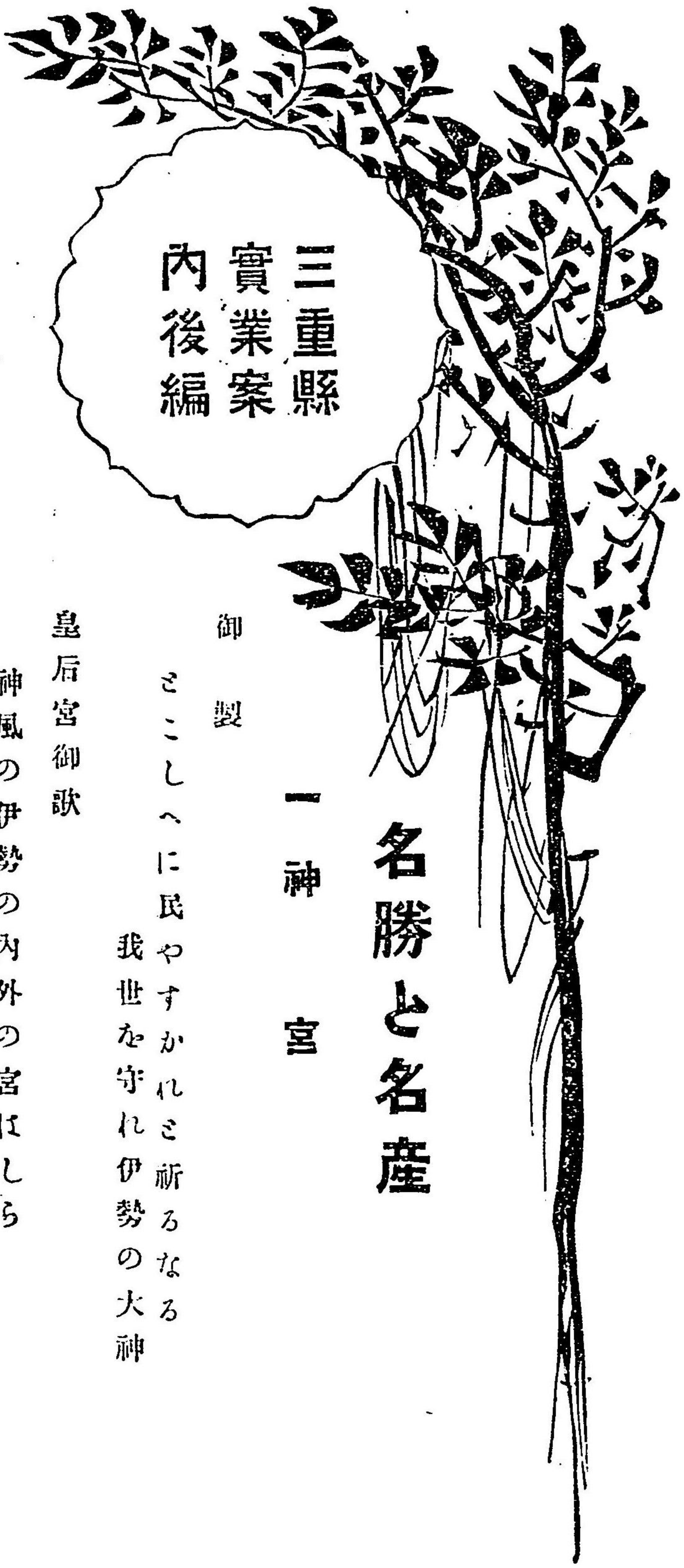
ネツトリは解熱に抜群の特  
効ありと共に健胃強壯の神能を有す

本舗 東谷泰  
伊勢松坂新町

電話長十番 振大 阪一〇六八  
三六二

定價	三五包	七五包	七五包	七五包
八	八	八	八	八
九	九	九	九	九
十	十	十	十	十
十一	十一	十一	十一	十一
十二	十二	十二	十二	十二
十三	十三	十三	十三	十三
十四	十四	十四	十四	十四
十五	十五	十五	十五	十五





三重縣  
實業案  
内後編

名勝と名産

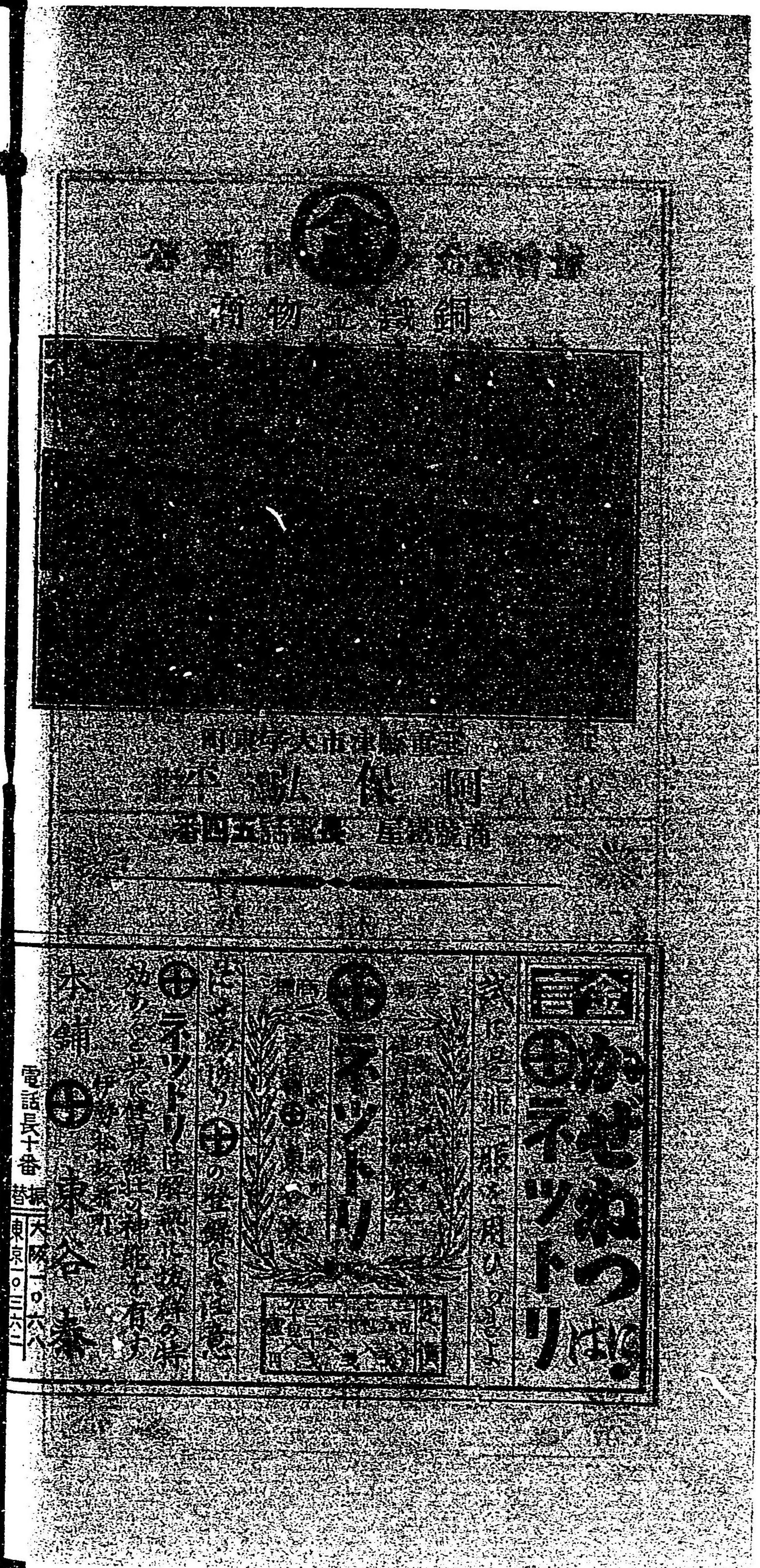
一神宮

御製

まこしへに民やすかれし祈るなる  
我世を守れ伊勢の大神

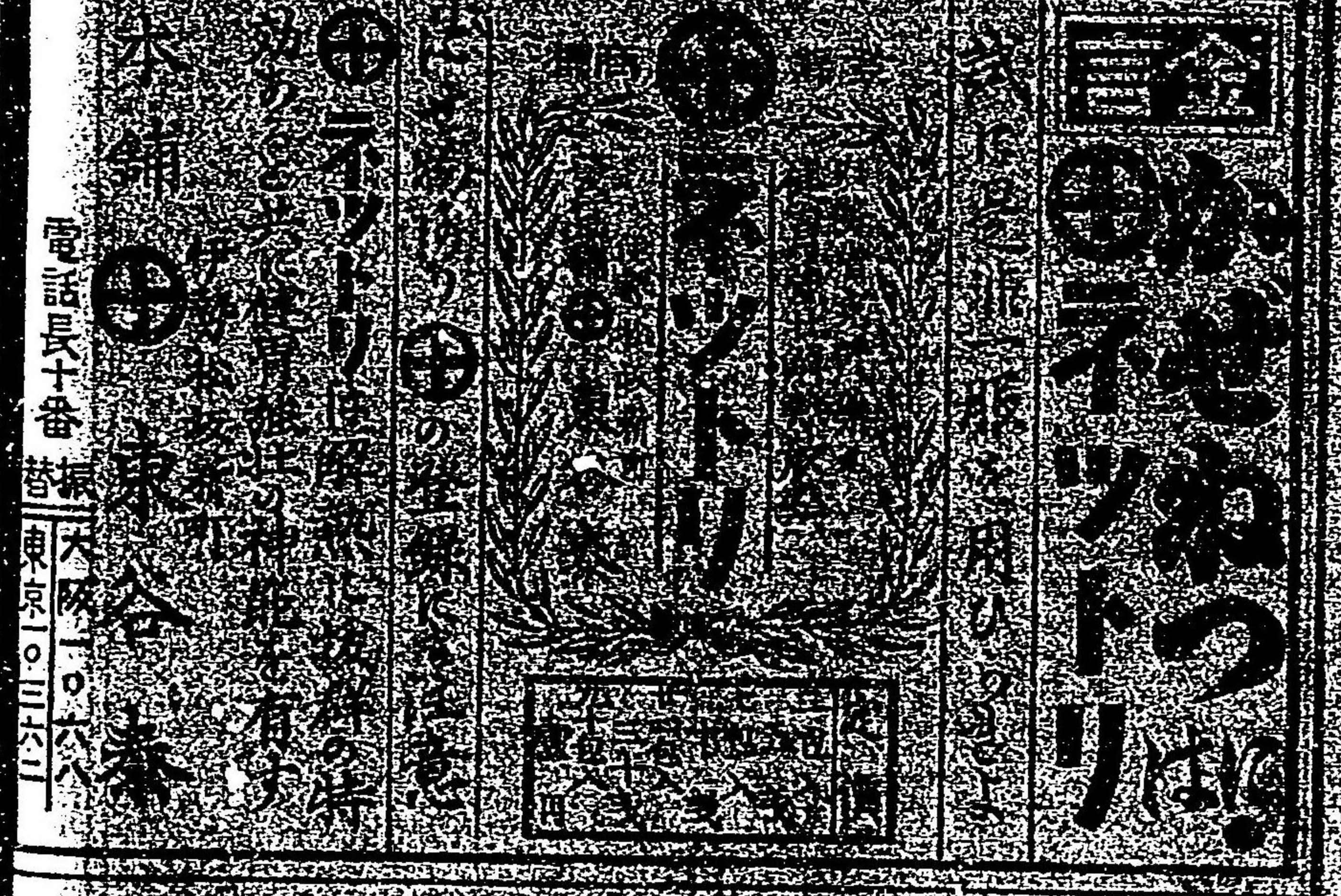
皇后宮御歌

神風の伊勢の内外の宮はしら  
ゆるきなき世をなほ祈る哉



銅製金物

昭和六年  
四月五日



電話長十番  
大塚一〇六  
三〇三〇

かきねつ  
ねつり



日本の土に生れその禾を食らひその桑を衣るもの誰か誠恐誠惶して吾天祖天照大神を尊崇せざる者あらんや、名古屋よりして汽車行程僅かに四時間、長享短驛左に勢海の紺碧を望み右に國境の疊巒を見る廓外の光景一々常にあらず、既に宮川を過ぐれば沿道多く翠蔚を望み巨楡老杉樹に森々、罷ふに紫嵐を以てし隠然鬼神の之を呵護するが如きもの實に神廟の在ます所たり、殘山剩水盡きんとして車の停るころ即ち山田の驛

太廟は内外の二宮に分れ、内宮は 皇大神宮と稱し奉りて五十鈴の川上に、外宮は 豊受大神宮と稱し奉りて高倉山の山麓に鎮りませり、參拜の順序は人毎々に任意なれど勅使參向の大祭は悉く外宮を先とし内宮を後とせらる

【外 宮】 停車場より五町、參道より一の鳥居橋を渡れば右に清盛楠あり、二の鳥居より神樂殿、九丈五丈の殿、三ツ石、御池、木々森々として風色日から幽高、身は神代の昔に入るが如きを覺ふ、玉垣、蕃垣、瑞垣その奥に立たせらるるは豊受の大神宮なり、抑も此の大神はも丹波國比沼の麻奈爲原に坐ましくを内宮鎮座より後るゝこと四百八十二年雄略の御世今の太宮地に鎮め奉らせ給ひしものにて百穀發生のものとを掌どり天下の民に衣食を幸ひ給ふ御神なり、正殿は南面にて萱葺の堀立柱、聊か金碧の艶を加へず白木を儘の結構なれば遠き神代も偲ばれ覺えず襟を正し情を却け氣を屏げしむ、宮城八十七町七反餘歩と承る

掛卷もかしこき豊の宮はしら

直きこころは空に知るらん

俊 行

【神 苑】 北御門外より宮域に沿ひて苑地をなし小徑縱横或は紆回し或は曲折す苑内に四季の樹木を交へ茜神社の森を繞りて

勾玉池を穿ち白蓮を植ゆ一の橋の前に皇太子殿下御手植の松あり翠色殊に深し左傍に日清戰役紀念の野砲彈丸あり

【高倉山】 老樹鬱葱斧會て入らず風物の景神路山に髣髴として宛然外宮の藩屏たり、頂上岩窟あり世俗天の岩戸といふ神苑の東石磴を上ること九丁餘洞口高さ九尺幅六尺入ること深くして洞内漸く潤く巍然たる堂宇の如し興行五丈六尺餘いにしへの神代のかげでのこりける天の岩戸の明かたの月と歌はれたる大己貴尊天日別命の逸史を傳ふるものなり

【内 宮】 外宮を距つること凡三十丁宇治橋を渡り一の鳥居を過ぐれば則ち内宮の神苑、五十鈴の川は天潢を分ちて神路の山終古碧りに軟砂地に寸埃を留めず古杉老檜森然として風靜かに渡り蒼涼の氣人を吹き肅然として太古の感あり、下馬先より二の鳥居を過ぎ玉垣門下に拜跪して覺えず稽首すれば神下りますかと宮居尊とく清淨無垢なる白木造に一點の塵も許さず仰いで遙かに廟殿の高殿を拜すれば

何事のおぼしますかは知られども

かたじけなきに涙こぼるゝ

西 行

を禁じ得ざるべし、退いて惟みれば之ぞ我邦の宗廟にして八咫の御鏡を以て御神體と崇め奉る、崇神天皇の御宇神威を瀆さんことを恐れ宮中より移して大和笠縫邑に祀り後垂仁天皇の二十六年此に遷座せられしなり實に今より千九百餘年を経たり。はじめ天武天皇の二年勅して毎二十年を以て正遷宮の期と定められ持統天皇の四年始めて遷御の大禮を行はせ給ひき再後明治四十二年迄に式年正遷宮を行はせしこと五十七回なりとて又年中御祭典は歳旦大御饌を初め三十八回いと壯嚴に奉祭せらる。そ



の宮域極めて廣く六十七町三反餘と承る。

【神苑】宇治橋以内宮域迄にして廣袤二町五反餘神路山の翠綠を貫ひ五十鈴川の清冽に臨み樹木泉石清淨の風致を具へ御苑に烏啼くも喧嘩ならず神樹に風度るも飄飄ならず四時の風光甚だ佳し苑地の右手に皇太子殿下御手植の松あり年毎に彌榮えて昭代の瑞祥を呈す、

【日本海戦捷紀念】明治三十八年十月十三日聯合艦隊司令長官海軍大將東郷平八郎全艦隊を率ゐて伊勢灣に入る十六日大詔煥發日露の平和克復す十七日勅語を奉じて全隊を上陸せしめ神宮に参拜し凱旋を奉告す是に於て帝國海軍は勅裁を経て日本海戦捷紀念として該戦役中我海軍最後の決戦たる日本海戦に於て我聯合艦隊が捕獲したる敵の戦艦アリヨール號の主砲たる十二吋砲を内宮神苑に樹つ實に千古の壯觀なり

【陸軍奉納の火炮】明治三十七八年の戦役に於て敵の難攻不落と稱せし旅順要塞に備へ陸海の防禦に充用せし最大の火炮二十四冊米及二十三冊米加農は我陸海の將卒をして如何に幾多の鮮血を犠牲たらしめしぞ又我軍が此の要塞に使用したる二十八冊米榴彈砲は敵塞の陥没を紀念するに於て如何に無比絶大のものなるべきぞ、今や共に神苑地の偉觀として當年の戦史を永遠に語り帝國の光輝を無窮に傳ふ

【五十鈴川】又の名を御裳濯川といふ水飽くまで清冽神路山の翠薇を泛べ神宮々城を貫流す宇治橋は即ち此川に架したり上流鳩口(一に法度口に作る)は即ち川の西岸より風宮橋を望むところにして楓樹最も多く四境頗る幽遠なり若し夫れ岸に沿ふて十

數町を溯らんか奇石怪巖磊々として起伏し就中鯉石海泉石發風石御船石鏡石西行戻石等の奇勝多く更に上流大瀧小瀧に到る

#### 東宮御歌

たひらかに年浪かへる五十鈴川

かみのめくみのふかさをそくむ

【二見浦】その風光の妙風に天下に籍甚して三尺の兒童も能く之を記す内宮よりするも外宮よりするも電車の便あり漣波汀に相笑むの邊り軟砂を踏むで數町忽ちかの立石(めうき岩)の處に到れば參尾の遙巒煙波縹渺の間に隱見し身は畫中に入り意は詩境に在るの思あり若し夫れ朝暎波間に躍るの光景に至ては最も偉觀なり、濱上旅亭貝細工店等軒を並ぶ豈嘗に避暑閑遊の地たるのみならんや

【朝熊山】伊勢志摩に跨り内宮と二見浦との間に聳ゆ太廟に拜し二見に遊ぶ者は又この山に登臨するを常とす登山の道數條あるも内宮神苑よりするもの阪路最も平易なり海抜壹千七百尺頂上に金剛證寺あり更に奥の院呑海庵に上れば正に伊勢海を盆池とし富士山を假山とするの壯觀あるべし、旅店さうふ屋は降て七町朝熊道と稱する岐路に當り所謂十八箇國一望の勝あり極暑尙ほ六十度と越えず之よりして二十五町二見浦に下るべし



## 二 名古屋山田間

鐵道の沿道

汽車名古屋を後にして太廟の地伊勢の山田に向ふ、木曾揖斐の二大河上輻輳として鉄橋を轟かせば樂翁公の故地桑名に停る、

【桑名】三重縣六市街の一にして津、四日市、宇治山田の三市に次ぎ松阪、上野と共に縣下樞要の地たり、揖斐川に臨み上流美濃地方と交通の便に富み更に海上熱田へ七里また運輸の利を有す昔は間遠の渡りて東海道の要津なりき

【中臣神社】驛より十一町俗に春日社といふ前に百疊敷の大拜殿あり尙ほ此に有名なるは銅の大鳥居と毎年七月七日に行はるゝ石採祭にてその昔し町屋川原の石を採りて馬場の修理に供せしに始まり桑名四十餘ヶ町各競ふて壯麗なる山車を曳き列ね鉦太鼓を打囃し勇壯喧擾全市恰も狂するが如く誠に壯觀を極む

●●●●● 時雨蛤 木曾揖斐二大河の海に吐出する所河海潮流適其の地に産する蛤を以て製す形大にして味亦美なり之を時雨と稱するは製造の季節によりて名付けし者ならんか古よりの名産にして能く年月を保ち而かも遠路之を携ふるに頗る輕便なり

●●●●● 白魚 蛤と同じく淡鹹両水の交る處に生する特産なり形優しく色純白透明にして風味また高尚なり佃煮として紅梅煮と稱す共に好適なる伊勢土産なり

●●●●● 桑名盆 古雅と堅牢を以て鳴る文政年間藩主樂翁公が「茶根嗜得は百事成る」の語意を寓し家臣文晁をして蕪菁を描かしめてより専ら此圖を用ふ俗に蕪菁盆かぶらぼんと稱し近時之を應用して各種の器具を製れり

【多度神社】桑名町を距る西北三里多度山の麓に在り能く人車を通す三十六峰巖石の怪異なるもの多く八壺谷の幽溪特に勝處なり俗に北伊勢大神宮といふ境内老樹鬱蒼頗る森嚴を極む別宮に一日連社あり祈雨の靈驗を以て聞え旱魃の歲雨乞ひの參詣陸續相踵ぎ御幣を受けて歸る

●●●●● 鯉料理 多度村に大黒屋あり庭に池を鑿つ深さ丈餘清泉湧て盡きず數百の鯉魚を養ひ人の餌を投するを待つものゝ如し客あれば則ち割いて膳に上す潑瀾として長さ三尺に至るものあり頗る快適

【鳴谷山聖賢寺】桑名町より約四里貞辨郡楚原より一里藤原ヶ岳の麓に在り境内廣く池に臨み湧泉閣を構へ頗る雅趣に富めり其の南一里餘懸崖千丈の處飛瀑あり清涼避暑の別天地とす

【富田海水浴場】富田停車場の南白砂青松相運る處潮寛やかに清清く夏時一日の清遊を貪るに於て頗る好適の處なり近時海水浴場として大にその名を成すに至り設備亦乏しからず鐵道院また特に夏時富田濱臨時停車場を設け益すその便を極めたり

●●●●● 焼蛤 昔より名高き名産にして松毬まつかきを以て焼く其角匂あり「はまくりの焼かれてなくやほこゝきす」と

【四日市港】伊勢灣内の形勝を占め陸に鐵道關西線と相連絡し海に日本郵船大阪商船の定期その他社外船の往復亦甚だ頻繁を極め東西兩京の間水運の由る所横濱神戸間第一の商港たり去れば廿二年特別輸出港に指定せられ次て特別輸出入港に編入せられ更に三十二年開港場と定められ今また多大の縣費を投じて築港の舉縣會に決せられたり然かく運輸の利便は市民の企業心に利用せられ商工業の發達自から生氣を帶ふ。綿糸、織布、油の如き重要物産は別項特記したる如し



●●●●● 萬古燒陶器 由來指頭捏造の典雅を以て賞せられしが近時更に旋盤を用ひて精巧なる美術日用品を製出するに至れり足一たび此地を過ぐるの旅客は必ず購ふて土産品とすべきなり

【湯の山温泉】 四日市より三重郡菟野市街まで三里八丁馬車人車の便あり更に病者は昇輿に扶けられて二里二丁湯の山温泉に達す脚氣肺病胃病の攝養に適す云ふ山中八景の勝あり四時の眺望に富み海拔三百十八米突盛夏日中八十五度朝夕五十度また以て避暑の好適地たるべし

【龜山公園】 龜山停車場より一二町僅に一投足の間在り舊城本丸の地にして丘陵に據り鈴鹿川を帯び頗る眺望に富む園内に舊武庫あり樓櫓の舊容を存す傍ら眞澄神社あり藩主石川氏の祖靈を祀る

【子安観音】 河原田驛より二里強白子町大字寺家にあり本尊白衣観音にして方俗子安観音と稱し安産を祈るもの頗る多し本堂の右に一老櫻あり四時花を斷たず不斷櫻といふ亦一奇なり

【鼓ヶ浦】 白子町一帯の海濱を総稱す就中子安観音より敬町を隔つる處を最も勝景とす濤聲相拍つて鼓響に似たり依て此名ありと傳ふ

【高田山専修寺】 一身田驛より二丁眞宗高田派の大本山にして初め下野國大内庄高田に在り宗祖親鸞上人の草創に係り後今の地に移す境内一萬八百六十四坪周圍に山門阿彌陀門太鼓門を置き中に雄然として大殿堂の天を摩して立つもの即ち祖師堂なり別に阿彌陀堂あり祖師堂の前菩提樹枝垂柳を植ゆ縁起に聞く親鸞上人高田に至る時日會ま暮る終夜石に踞して念佛を誦す一童

子あり柳枝と紗囊を携へ來り告げて曰く汝須らく此に伽藍を創建すべし是は西天白鷺池の柳枝及び佛生國の菩提子なり以て汝に與ふと忽ちにして去て影なし上人異なりと之を植えたるに遂に繁茂す後寺と共に移して今尚ほ存するもの即ち是なりと歴代の法主皆高貴の出にして前法主堯熙上人に至る數世相次で有栖川宮家より出で新法主堯猷上人は近衛家の出にして實に篤磨公の令弟なり、毎年一月九日より一週間の間宗祖の法會を營む賽詣の男女遠近相簇がり市街人を以て填む實に當國第一の巨刹なり

●●●●● 櫻おこし 一身田名物の駄菓子なり

【津公園】 津停車場を距る三丁の處に在り往昔藩主藤堂侯の山莊にして天然の丘陵に園藝の妙工を加へ泉水に藤糸を架し杜若人を迎ふ板橋を歩して鯉魚の躍るを見る陽春の櫻花霜天の紅葉參差として老松の間に交はる魂齋錯居之を裝ふに四季の花卉を以てす頂上傘の臺と稱する處展望甚だ佳、伊勢の海波靜かにして白帆去來し濃尾參遠の遙淡として煙るに似たり風味自適誠に塵外の境なり園内に俱樂部あり洋食の調理をなす

【官祭招魂社】 津公園の前にあり戊辰西南日清日露の戦役及び北清事變に於ける名譽の戦死者三重縣三千四百有餘の英靈を祀る正面に銅張大華表を建つ又津市に於ける一偉觀なり

【安濃浦】 塔世河口一帯の海岸をいふ所謂安濃の松原の遺跡にして水淺く渚遠く天然の海水浴場たり白砂青松の間朝日館あり避暑養病によるし漫步して曳綱を見る亦一興なり、津停車場を距る十八町



【観音寺及國府阿彌陀】 津市の中央大門町に在り本尊如意輪觀世音の像は和銅二年阿漕浦にて漁夫の網にかかり出現せるものと傳ふ城内六大院その他の祠宇あり劇場寄席露店等多く市内第一の殷賑を極む、仁王門を入りて左り國府阿彌陀あり伊勢國三十三番の札所として最も著はる

【津城址及高山神社】 津城址は丸之内に在り今尙ほ木丸を存し環らすに濠を以てす、願れば津城はもと關西の雄藩にして學士の冀北文學淵藪の地、英主に高山公誠徳公詢公あり名儒に津阪東陽齋藤拙室川村竹坡土井聳牙等あり、有造館の名は夙に藩刻資治通鑑と共に天下に噴々として日本文學の史上實に不朽の名を存す、藩廢せられて後城を壞ち今更に藤堂伯の有たり墟址廢濠人をして俯仰感慨に堪えざらしむ。高山神社は城址本丸に在り藩祖高虎公の靈を祀る

【阿漕浦及阿漕塚】 岩田川口より南海岸を総稱して阿漕浦といふ阿漕停車場より二十五丁沙汀千頃松懸濤聲に和し閑禽漁隻に伴ふ風光明媚參尾の翠蕪模糊として遙かに煙波縹渺の間に在り波舒び潮寬かに海水浴場として好適の地たるのみならず毎夏洄水觀海流の道場を此に開き遠近來り學ぶもの多し特に楢干網の漁遊その壯快なるに至ては殆ど天下の至樂なり、千鳥館魚庄の阿旗亭また此に在り別に貸別荘の設あり四時閑客の來遊を待つ。阿漕浦の西數町樹叢の間一丘の古墳あり阿漕平次の塚といふ傍ら一碑芭蕉の句を刻す「月の夜の何を阿古木に啼千鳥」は夙に人口に膾炙する所なり斷碑苔翠りにして草長く古木夜風に號び行客をして惆悵低回容易に去る能はざらしむ

【結城神社】 津市の街衢南に盡くる所八幡町に在り阿漕驛より二十五丁別格官幣社にして南朝の忠臣結城宗廣公を祀る公勅命

を以て義良親王を奉じ水路東國に赴くの途次颶風に遭ひ海上に漂ふこと七晝夜にして此處に着せしが遽かに病に罹り劍を按じて薨じたる事績は史冊に明かなる所とす、姦雄骨朽ちて半千歳公の威煥煥然として蒼溟に滿つ誠に聖世の餘澤なり

●●● 茄子團扇 その形茄子に象れるより此名あり津市古來の名産にして優美堅牢を以て稱せらる近來頻りに改良の製品を市場に見る

●●● 津縷子 麻織綿織の二種あり古くその名を傳へ却て遠隔好事の士に迎へらるること多し

●●● 阿漕焼 安東焼陶器の後身にして頗る雅趣に富む

●●● 竹細工 莩々齋は舊藩に於ける竹細工の名匠なりき今その遺鉢を繼で巧みに製品となす者あり火鉢花活額縁等また一種の趣を存す

●●● 醜染浴巾 特許品にして浴巾に手巾に其他浴衣座蒲團卓子掛等に應用し頗るハイカラ式に適す

【榊原温泉】 阿漕驛より五里十九丁その久居町に至る一里餘は輕便鐵道の便あり高茶屋驛よりせば四里二十丁一志郡榊原村に在り近傍貝石山にて岩石を砕けば貝類の化石を出だすとあり麓に湯の瀬川の碧流を控へ風景甚妙なり

【香良州浦】 高茶屋驛を距る三十二丁道路坦々自から人を矢野村の海濱に導く香良州神社のある處即ちこれ香良州浦なり砂清く松古り風光舞子に似て舞子に軼ぐ實に伊勢灣内風景第一の地なり松蔭より砂晴れたる處松阪屋日出館あり共に海水温浴を設け客室清麗生魚の潑瀾たるを食膳に供す避暑遊樂の勝地として其名遠近に著はる



【多氣御所跡】 一志郡多氣村に在り北畠國司累代の城地たりし處にして六軒驛より四里餘を隔つ、さても南朝の柱石北畠准后親房の子顯家顯信の二卿は王事に殉じ三男顯能伊勢國司に任せられ此に芳野の藩屏として九世の久しきを傳へしも遂に織田信長の爲に奪はる麥秀の歎何ぞ堪えむ今も尙ほ假山泉水の左ながら當年の俗を留め青苔石に被り老櫻空く榮ゆるぞ無殘なる

【川上八幡】 一志郡八幡村に在り國司北畠顯能卿の創建にして後藤堂家の祈願所となり其地六軒驛を距る十一里に在り雖も遠近の信徒少からず參詣の客常に絶ゆるとなし境内老松杉鬱鬱として日光を翳す不動の瀧また近傍に在り

【岡寺山巖松寺】 松阪驛より三丁字中町に在り如意輪觀音を本尊とす世俗厄落しの祈願佛とし初午の日は遠近より參詣するもの多く此地第一の股賑を極む庭園の風致頗る幽邃春曙秋晚雅客杖を曳く者少からず

【松阪公園】 松阪城の址なり石壘高く山に倚り伊勢海を俯瞰し十里の光景一時に集る園内に藤の棚あり一幹一架方二百餘歩を占め花時頗る壯觀を極む、園の頂上南龍神社あり領主紀州藩祖徳川頼宣公を祀る

【本居神社と鈴廻舎】 本居神社は公園の下に在り贈從三位本居宣長翁を祀る翁は松阪の人夙に古學に志し君臣の大義を闡明して維新大業の機運を啓きし偉績は炳として我帝國の國史に輝やけり、舊居鈴廻舎遺跡近時祝融の虞を避けて之を魚町より城山に遷し當年の有様をその儘鈴廻舎書齋の面影を傳へて頗る古意を存す、翁の墓は松阪の南一里三十丁山室山妙樂寺の上に在り

【岩内瑞巖寺】 松阪を距る一里二十丁伊勢寺村に在り山に倚り池を擁し溪澗飛泉の傍ら巖面彷彿として觀音の像を刻し世俗石觀音と稱す奇石怪岩の間櫻楓配置宜きを得杜鵑花巧みに其間に點綴す誠に得易からざるの景なり人稱して小松島と云ふ、飛閣

あり欄に凭りて伊勢灣を望む寺僧客を好み囁に應じて紫蘇飯を供す亦一種塵外の味あり

●老●伴 東漢古瓦に擬せる菓子なり能く久しきに耐へ古來松阪名産として聞ゆ

●し●ら●梅 婦人用煉油にして珍しき名産なり

【相可の鮎漁】 香魚は柳田川の名産にして就中相可地方硯ヶ淵附近は釣すべく綱すべく清流舟を泛べて金波盃を洗ふべし河畔に旅館鹿水亭あり相可驛より三十丁

【丹生神社及神宮寺】 相可本村より二里を距る多氣郡丹生村に在り境内社十六を有し千年の老樹蒼鬱として夏尙寒きを覺ふ、隣域神宮寺あり丹生の大師として參詣の老若踵を接す

【業平松と煙火】 相可驛より二里廿六丁多氣郡大淀村の海岸に在る古松にして昔業平朝臣尾張に赴く時此處にて別れを送りたりと傳へその松に名づく。此地は古來煙火の名所を以て關西に著はる

【瀧原の宮】 熊野街道にして田丸驛よりせば九里十九丁度會郡瀧原村野後に在る皇大神宮の別宮なり宮域四十三町餘老樹鬱蒼として晝尙ほ暗し此附近野後川に落下する瀧津瀨四十八箇所あり瀧原の名乃ち起るを稱す

【宮川堤の櫻】 宮川は伊勢第一の長流にして參宮の旅客が足を太廟の地に入る、其の第一歩に在り堤防に數萬の櫻樹を植ゆ若し夫れ花季に至らば爛熳として不動の屯雲をつくる東都墨陀に過ぐるの美觀なり

【宇治山田市】 筋向橋驛を過ぎて直ちに車の停るところ即ち山田驛なり、山田驛は伊勢電氣鐵道に連絡す其一線は内宮より外



宮に通じ分岐して二見浦に到り他の一線は外宮より倉田山附近を経て二見浦に達す、今參宮者の爲に順路を示さんか山田停車場を降りて數町外宮に參拜し高倉山を攀ちて天の岩戸の石窟を窺ひ電車にて内宮に參拜し神苑より直に朝熊嶽に登り四郷村朝熊に下りて二見浦に遊び、人車を備ふて鳥羽に至り日和山に風光を賞し轉じて青峯山正福寺に少憩し矢港を過ぎり大王岬端に臨み舸に乗して御木本幸吉氏眞珠養殖場多徳島に渡り磯部村伊雜宮に詣で和合山鸚鵡石の風景を娛み逢阪山水穴風穴の奇勝を探り山を越へて大瀑小瀑に浴し神路山の翠色を翫ひつゝ宇治に歸着し倉田山神苑に出て御物を拜觀し農業館古館を歴訪し去て宮川の櫻花を賞するも可なり又蓮臺寺に遊び瀑布を観る亦興あり、若し又二十分時を割愛して内宮外宮間に於ける行幸啓の御順路たる御成街道に車を驅る最も快なるべし

- 擬草紙 舊多氣郡稻木の特産にして古來多く煙草入を製し蜀山人狂歌あり「夕立や伊勢の稻木の煙草入ふるなる光るつよいかみなり」
- 近來店舗を此地に設く伊勢參宮の好土産品なり
- 春慶塗 堅牢を以て知られたる漆器にして食器日用品を製出す
- 張皮籠 古くより參宮道者に知られたる名産なり
- 萬金丹 朝熊山の萬金丹さて古來有名なる賣藥なり本舗は同山嶺金剛證寺の門前に在り販賣支店を尾上町に置き參宮土産の一に數へらる
- 赤福餅 宇治中之切町にある餅屋にして參宮して此に入らざる者は稀に四時雜選を極む必ずしも下戸にのみ限らず

### 三 志摩巡り

【鳥羽港】 二見浦より海に沿ふて一里二十八町、今また近く山田より鐵道の延長を見るあらんさす、西北に山を負ひ東南に暖潮を受け冬に冷風を防ぎ夏に涼風を迎ふ冬暖夏涼常に人に可なり、灣内水深く浪靜かに南は渺茫たる太平洋水天相接して一帯の青を認めず東に遠州灘西に紀州灘淼漫として涯際たり管にその良灣たるのみならず山峙ち海清く坂手島は咫尺の間に在り桃取管島の諸島また目睫の間に迫る稍や離れて神島を望み風景誠に絶佳なり更に舸を備ふて奇巖怪嶼の間を歴訪せば雅興愈よ盡きざる者あらん、明治十年 今上陛下風駕を駐めさせられし時御製ありいさも畏し

浦風も荒磯浦もけさなきて

かもめたちたつ鳥羽の海面

【日和山】 鳥羽港にある丘陵にして高さ七八十間に過ぎざれども眼界極めて廣く伊勢灣口に羅布せる大小の島嶼を俯瞰し右は鳥羽の城址左は小濱の岬を望み參尾の海山をも并せ收む天濤れ雲散するときは富士、八ッ峰、駒ヶ嶽を煙霞依約の間に望む之を松島に過ぐるの景致さなす必ずしも溢美にあらず

【学生浦】 鳥羽を距る海上二里奇島怪岳處々に散點し島壁巖頂老樹の蟠屈する等の景致眞に一幅の妙畫といふべし又此浦に近く大瀛浦にて海水深く灣入せる處あり有名なる鰯網漁場なり一擧數萬尾を獲るとあり又一種の壯觀なり



【國崎】志摩の最東端に突出せる岬を鏡崎といふ渺漫たる大洋の激浪崖角を嘯み南に安乘大王の崎端雷の如く東は三州の峯巒雲烟の間に浮ぶ國崎は即ち小灣を隔て、其對岸にあり内宮御鎮座の昔より神部の地と定められ鮑を取りて捧げし古例今なほ存し毎年鮑鬚斗を調進す

【正福寺】志摩國の中央青ヶ峰の中腹に在り鳥羽を距る一里二十四町天平年中の創建に係り堂宇の結構堅牢壯嚴を極め彫刻の巧美を以て稱せらる山上展望に富み而かも寺内の老杉古檜鬱蒼として綠蔭よく三伏の暑熱を忘れしむ

【的矢港】實に當國三大灣の一にして海水深く灣入し安乘崎明神崎相對して灣口を扼す渡鹿野島は其前面に當り灣内風波靜かに帆檣林立し外洋航行の船舶また來て時に海上風浪の難を避く

【大王崎と老崎】兩岬相扼して波切灣を抱く、大王崎には海軍望樓の設あり鳥羽港を距る八里十三町斷崖海を壓して狂瀾に當り危巖怪島縱橫起伏怒濤之に激して銀屋崩るゝが如し然かも風暖かに波靜かなるの時ば茫洋として水天彷彿また一髮の青を見ず學童笑て指して曰く亞米利加彼處に在り、就中大王崎の前面二大岩嶼の間より旭光浮動して上るの光景は之を二見浦に比して更に偉觀なるものなり

【眞珠貝養殖場】養殖眞珠と共に御木本幸吉氏の名を知らざるものなし實に其養殖場は英虞灣神明浦多徳島に在り鳥羽より磯部村を経て行程六里十五町内外貴紳の特に車を任せ乘じて往訪する者少からず(前編水産編參照)

【伊雜宮】磯部村字上之郷に鎮座せる皇太神宮の別宮にして宮域一町九反餘附屬神苑あり老杉古檜鬱蒼として千古の靈地たり

宮を距る西南約八町の山上大字惠利原に佐美長神社あり伊雜宮の所攝にして當國の名社なり

【鸚鵡石】磯部村惠利原に在り高一百余尺巾四百余尺の巨巖にして巖巖狼籍その腹背に峭立し老杉を戴き薛蘿を纏ふ若し夫れ岩に向て高吟放唱せば直ちに巨巖轟呼して之に答ふ鸚鵡石の名即ちある所以なり岩頂は坦々として廣袤百五十餘歩加ふるに志摩南岸の奇勝擧げて一眸に入る、明治三十三年小松宮殿下登臨の勞を親らせられたるもあり好奇の士必ず一遊を試みざるべからざるの勝區なり

【水穴と風穴】これ又磯部村惠利原逢阪山にあり巨巖洞窟をなす臥石起石四周に乱據し一條の清流窟内より出づ之を窺ふに暗黒漸く灯して溯れば濛々たる清響を聞く愈よ進んで益す深し忽ちにして一大瀑布あり豪響雄觀耳爲に聾し眼爲に眩す炎暑の時と雖も凜冽久く立つべからず誠に奇境なり、相距る數町にして風穴あり水穴と石質を同くし口を北方に開く洞中數坑あり深さ十町に及ぶ、山を越えて神路山に近し若夫れ宇治山田市より腕車を驅つて此の奇勝を探らんには往復約五時間に過ぎず

#### 四 關より伊賀

【筆捨山】關停車場より三十二町鈴鹿郡阪下村一ノ瀬國道の傍に在り箱山奇巖並び峙ち鈴鹿川の清流に臨む傳へ曰ふ狩野元信この景を寫さんとしたるに雲烟去來して山容巒巒變幻極りなく遂に筆を投じて去る故に此名ありと雅客一遊の勝區なり

●●● 關の戸 風味よき餅菓子なり箱入として携帶に便に古來の名菓なり







紅を染め春候尙ほ百花妍を競ふ塵外の別天地なり

【正月堂】島ヶ原停車場より凡十二町觀菩提寺と稱し奈良二月堂の別院にして正堂及び山門は一千余年前の建造にかゝり樓門の仁王は春日佛師の作として亦考古の好資料なり

## 五 紀伊沿岸

【江の浦及名倉灣】長島港は汽船にて紀北に遊ばんとする者の第一上陸地にして又陸路熊野街道を相可より人車又は馬車によるの便あり、江の浦は即ち長島港の入口にして大向井の山脈東に延びて海に入る月明の夜山影模糊として江上に浮び其の形宛然涅槃像に似たるより稱して寢釋迦山といふ、名倉灣は長島町の東八町二郷村に在り水を隔て、朝向山を望み灣口ひかきの鼻と稱する勝地あり共に頗る風趣に富む

【天満洞門】島勝浦にある自然巖の洞穴にして長十五間中八間潮水之に通じ窺ふに闇黒景狀を辨せず洞邊波を破る處傲巖亂據松樹巖角に懸りて姿態危からむとす其傍ら奇巖怪石點々羅布せるの間鮑採るべく魚釣るべし實に南紀の仙郷たり

【九木浦の鱒敷網】山林に次げる牟婁の生命は實に漁業に在り就中九木浦の鱒漁に至ては天下多く見ざる所といふも亦誇大の言にあらず一箇年の收益實に十五萬圓に上り其收利の結果今や北牟婁の大都會として尾鷲を凌がんとするに至れり十數艘の漁船が豪呼勢を作りて敷網を繰上げ網漸く迫りて魚漸く窮し群鱒跳躍捕へて船に投ずるさま眞に壯觀を極む

【熊野山林】牟婁郡の地氣候溫暖にして乾濕宜しきに適ひ加るに造林施業方法其の常を得て杉檜の生育甚盛んに搬出亦た容易なるの特色あり近來林業家の視察を試むる者漸く多く自から林相の優秀を喧傳せらるゝに至れり、熊野山林を視んとする者は引本又は尾鷲より船津村に至るを便とす此間三里廿八町更に進んで御料殖林地を過ぐれば山脈一帯千古斧鉞を加へざる大臺ヶ原山の深山幽谷に達すべし

【魚跳溪】船津の磯村相賀村大字恒山の西方銚子川の上流なる湖の川にあり水中奇巖怪石或は老牛の偃臥するが如く或は猛虎の負嶋するに似たり水流その間を奔放し魚跳て湖る故に此名あり紀北第一の勝區なり

【鬼ヶ城】木の本を距る十町許り東の海岸にある奇巖なり其狀屋宇の如く高さ十間余その下窟をなし怒濤激蕩して奇絶壯觀を極む

【花の窟】木の本町の西南五町余有非村字右馬の海邊に在り大巖壁立すること二十七間正而に方三間許の壇を作り玉垣を圍らし拜所を設く毎年二月及十月の二日長き繩を以ての窟上より前なる松に懸け繩三旋を繋ぎ之に百花千草を纏ひ以て神前に供す故實ある奇異の祭事なり下より十間許の上に方五尺餘の洞あり日本書記に伊弉册尊の御陵とあるは即ち此處なり

【瀬八町】木の本町より小川口まで道程八里重行の便あり此より舟を備ふて音無川の上流北山川を遡ること三里許乃ち瀬八町に達す此地は實に三重、奈良、和歌山三縣界の相交る處にして幽峽八町前後左右斷崖にあらざるはなし峻巖高さ千仞天小にして山高く碧潭深さ百仞水靜かにして風來らず隨て進めば隨て一室を成す巖窟石容千變萬化離接に遠あらず驚し天下の絶勝なり山



明治四十四年三月二十日印刷  
明治四十四年三月十五日發行

第十回關西府縣  
聯合共進會  
三重縣出品協會

三重縣內務部勸業課內

著者兼  
發行

倉田庄兵衛

三重縣津市丸之内本町三百番屋敷

印刷者

松田武兵衛

三重縣津市北町拾貳番屋敷

印刷所

遵法社

三重縣津市北町拾貳番屋敷

陽をして遂に此地に遊ばしめず耶馬溪をして獨り其名を擅にせしめたるを憾とす  
【布引漉】 瀨八町より音無川を下り舟を上川村楊枝に捨て陸行一里にして達す直下四十尋二大臼練を懸くるが如く眞に布引の名空しからず

【辨慶産家塚】 御船村字鮎田に在り武藏坊辨慶の産家跡と稱す曾て抱園九尋に余る大楠ありしが寛政の頃枯凋したるより碑を建て辨慶産家楠跡の數字を刻せり楊枝村より舟行三里餘音無川の下流にして木ノ本町より九里を距つ、此附近蜜柑の産地にして盛んに全國に輸出す

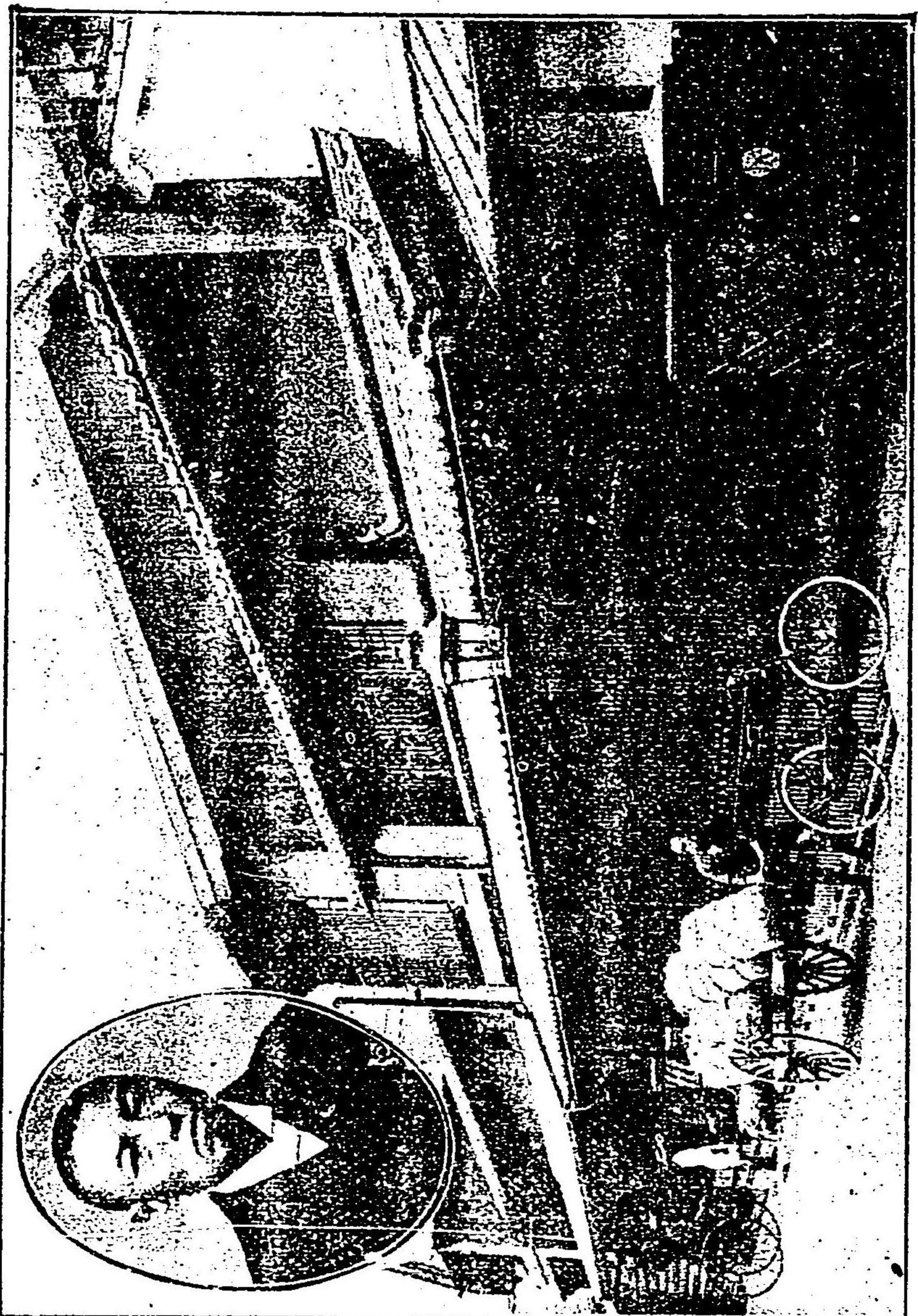
【阿田和の捕鯨】 縣境音無川の河口なる鶴殿村より木ノ本に至る七里ヶ濱に臨みて阿田和村あり古來有名なる捕鯨地にして冬期には巨鯨の近海に來るあり漁師又は網を以て捕獲す頗る壯觀なり



賜皇太子陛下御買上之榮

三重縣水産品評會名譽金牌受領  
 第二回關西九州水産共進會一等賞金牌受領  
 其他有功賞牌十數個

創業明治元年



(見本及定價表御一報次第送呈)

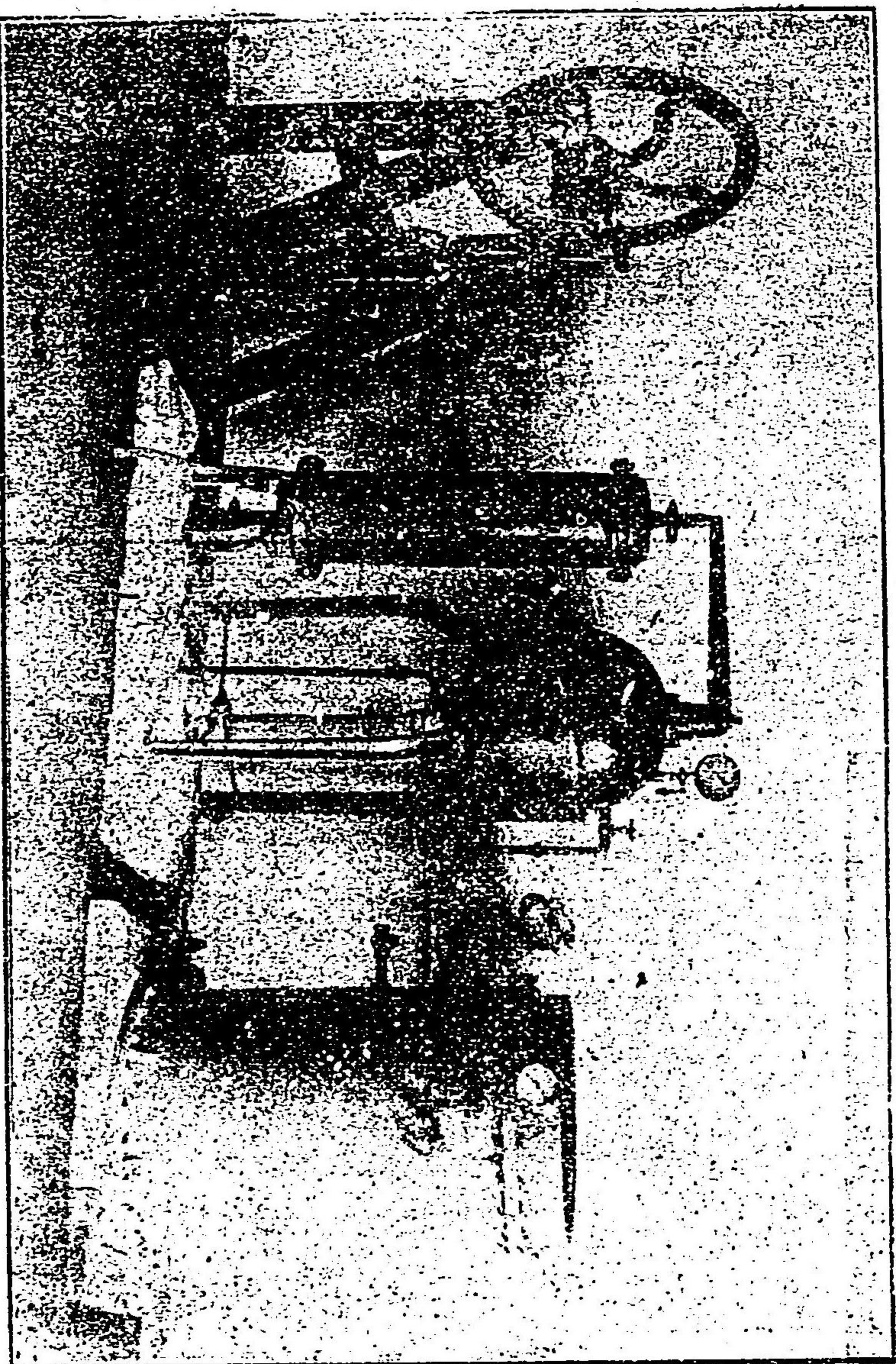
三重縣三重郡富田一色

全

漁網商平田佐次郎

電信局號(アササ)又ハ(ア)  
 長電話二一四番  
 振替口座東京五四四五番

器發蒸空眞ル得シ發蒸ラニ度温ノ下以度拾五



製品ノ純良ヲ保シ製産費削減ニ倦慮シ最新ノ器械ヲ應用ス前圖ハ其一ナリ

四日市市濱町(電報畧符シ主)

藥局製劑  
 工業方藥品  
 下里製藥所

電話二四二  
 振替貯金口座二〇六五二

名古屋市京町四丁目

名古屋製藥株式會社工場

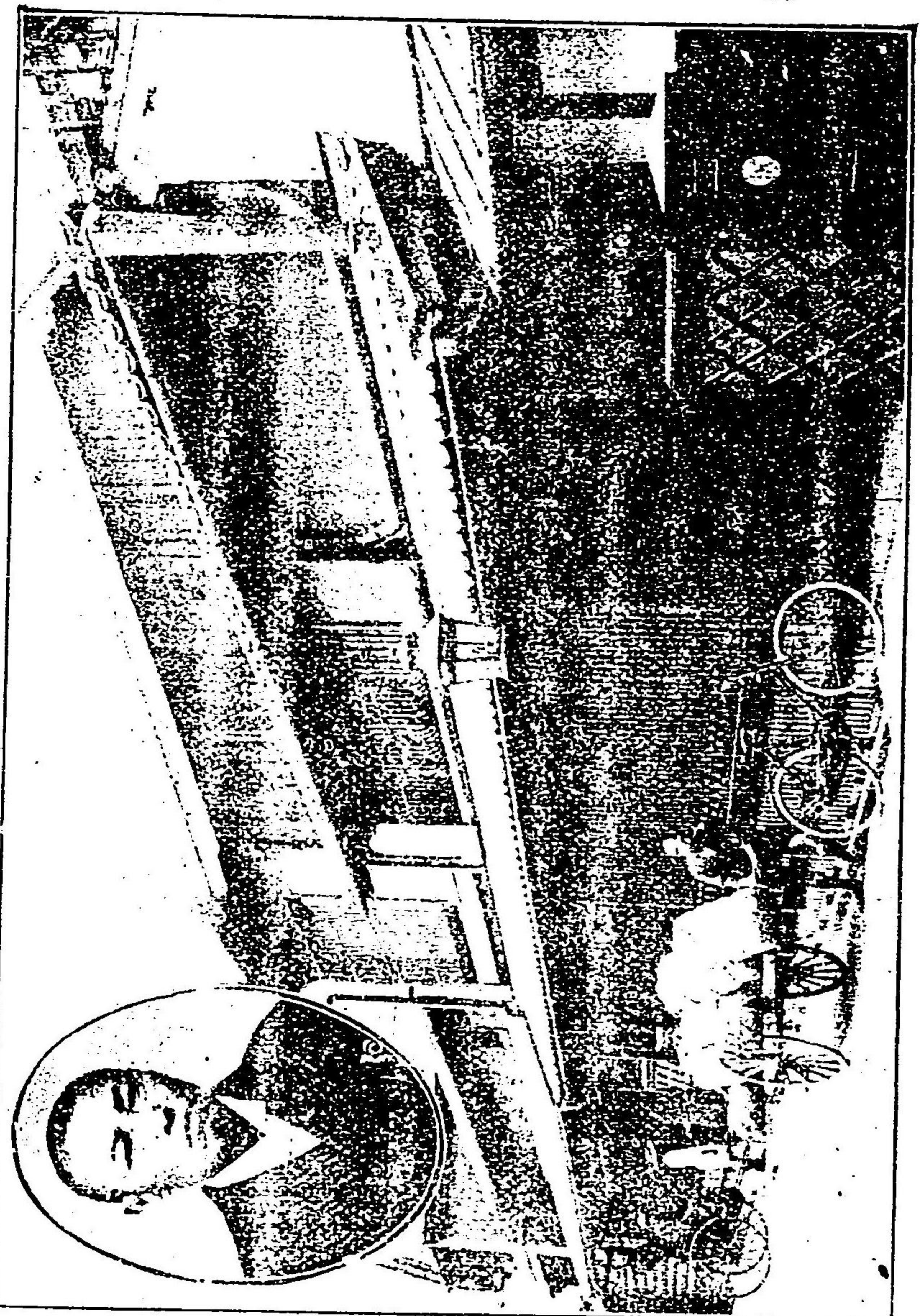
長電話六〇六番



賜皇太子殿下御買上之榮

三重縣水産品評會名譽金牌受領  
 第二回關西九州水産共進會一等賞金牌受領  
 其他有功賞牌十枚個

(明治元年創業)



見本及定價表御一報次第送呈

三重縣三重郡富田一色

魚

漁網商 平田 佐次郎

電信署號(アササ)又(ア)  
 長一電話二番  
 振替口座東京五四四五番

器發蒸空眞ル得シ發蒸ヲニ度温ノ下以度拾五

製品ノ純良ヲ保シ製産費削減ニ焦慮シ最新ノ器械ヲ應用ス前圖ハ其一ナリ

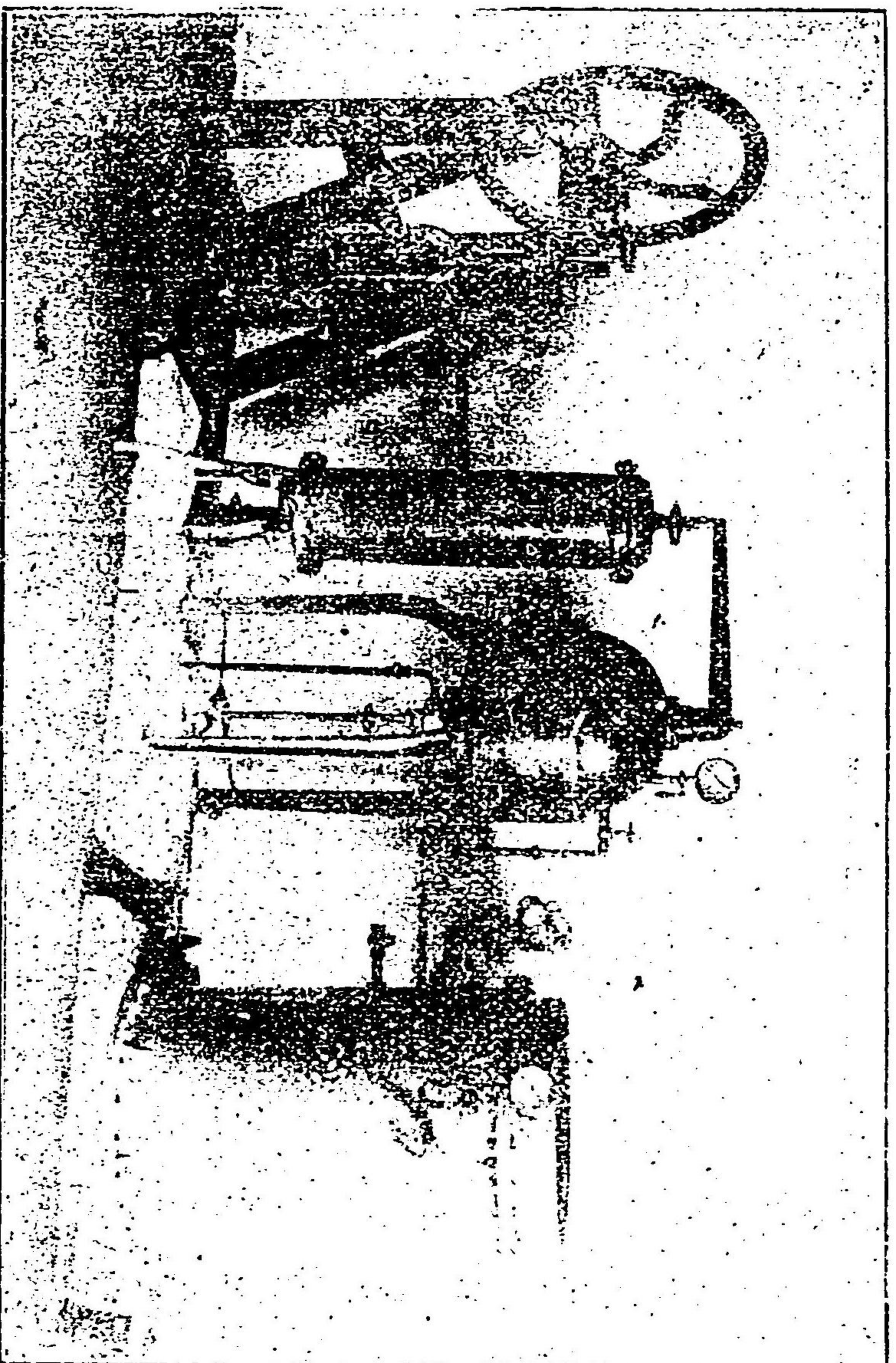
四日市市濱町(電報署符シモ)

工局藥製  
 業方藥製  
 用藥品劑

下里製藥所  
 電話二四二  
 振替貯金口座一〇六五二

名古屋市京町四丁目

名古屋製藥株式會社工場  
 長電話六〇六番





紐育スタンダード石油會社

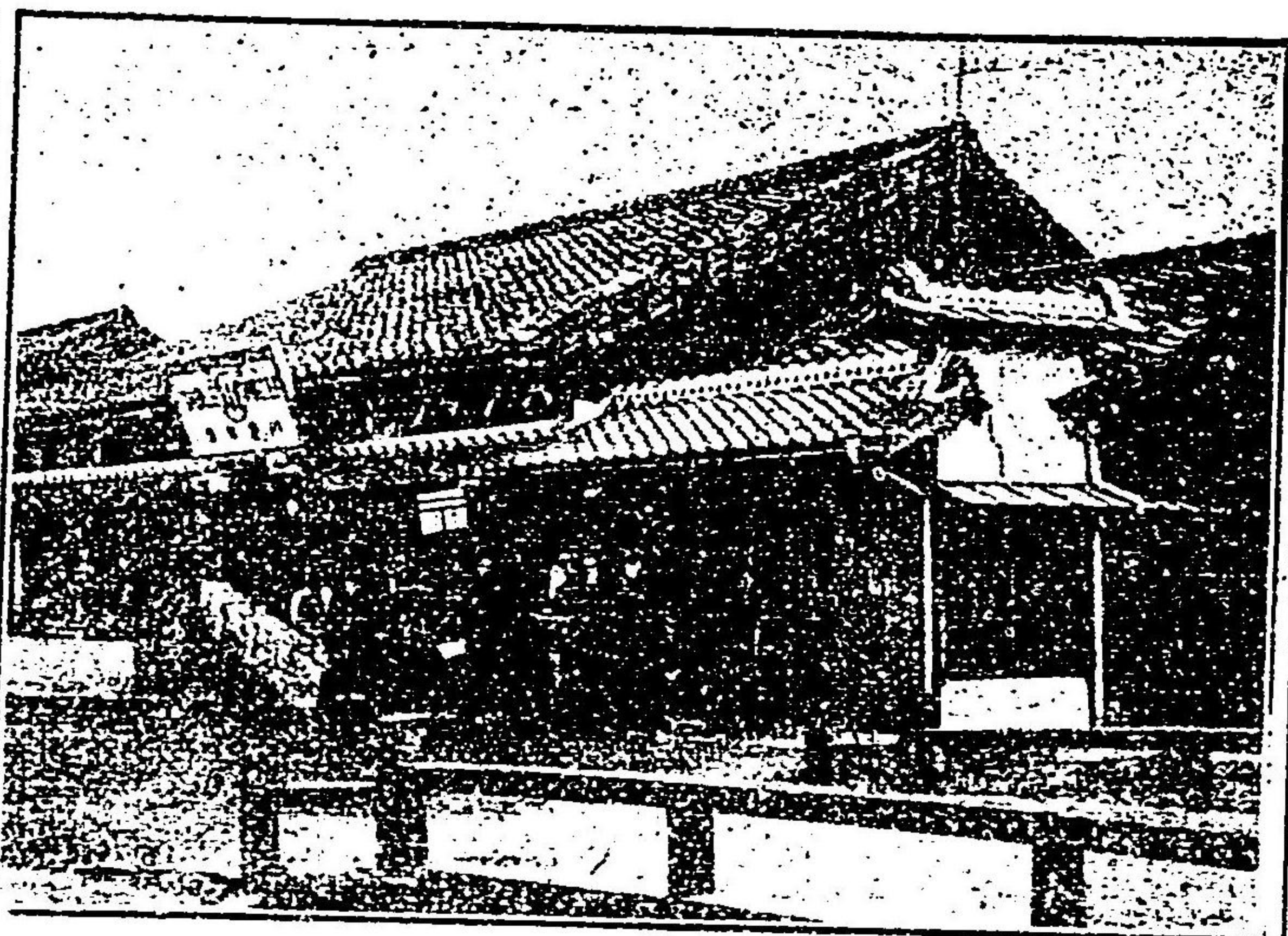
四日市代理店

④ サイダー  
④ インキ  
製造元

帝國生命保險株式會社

四日市代理店

④ 四日市川島商會主  
川島俵太郎



本店 伊勢國四日市市濱田町三八二番  
支店 名古屋西區下長者町一丁目 電話一〇三九番



菰野溫泉

〔溫度八十六度亞兒可里性ニシテ伊豆修禪寺湯ト同質也〕

溫泉御旅館

壽亭  
伊勢屋

物價低廉篤實ヲ旨トシテ御取扱可申上候尙御貸席ノ方法モ設有候間何卒御引立ノ程奉希上候

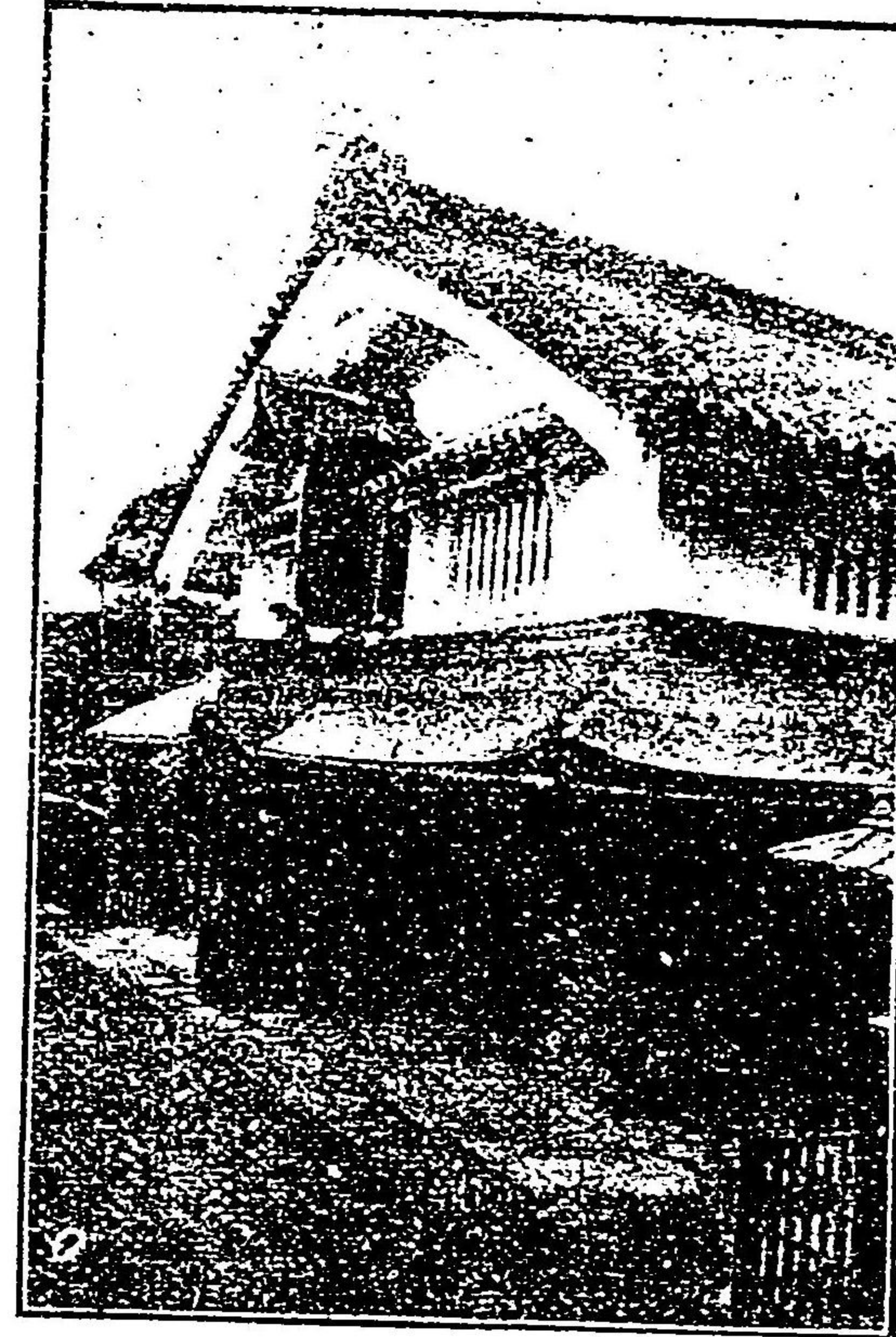
土地

高燥幽邃ニシテ最モ眺望ニ富ミ大暑ト雖華氏ノ八十三度ヲ越ルコトナシ殊ニ櫻紅葉ノ名所ニシテ三ヶノ大飛瀑アリ

里程

四日市停車場ヨリ菰野東町へ三里（人力車四十錢馬車廿錢）同東町（鰻善又ハ松川屋）ヨリ溫泉場へ一里廿八丁山籠ノ便アリ賃金七十五錢途中神明橋迄一里人力車（廿錢）ヲ通ス





伊勢國朝熊岳壹番屋敷

萬金丹本舖 野間 因彦

宇治山田市尾上町十四番屋敷

野間 因彦支店

旅 館

海 水 浴

紀州各港其他汽船乘客取扱

弊館當ノ地ノ名勝和山ノ麓ニテ山臨水ノ地ヲ占メテ東南ニ  
 面シタル三層樓ニテ港内ノ勿論遠近ノ碁列ノ小島風光一  
 眺ニテ殊リ四季時節候和温寒避暑ノ適地ヲタ



鳥羽港海岸新築三層樓

大阪屋事 長門 館 電話六番





旅館

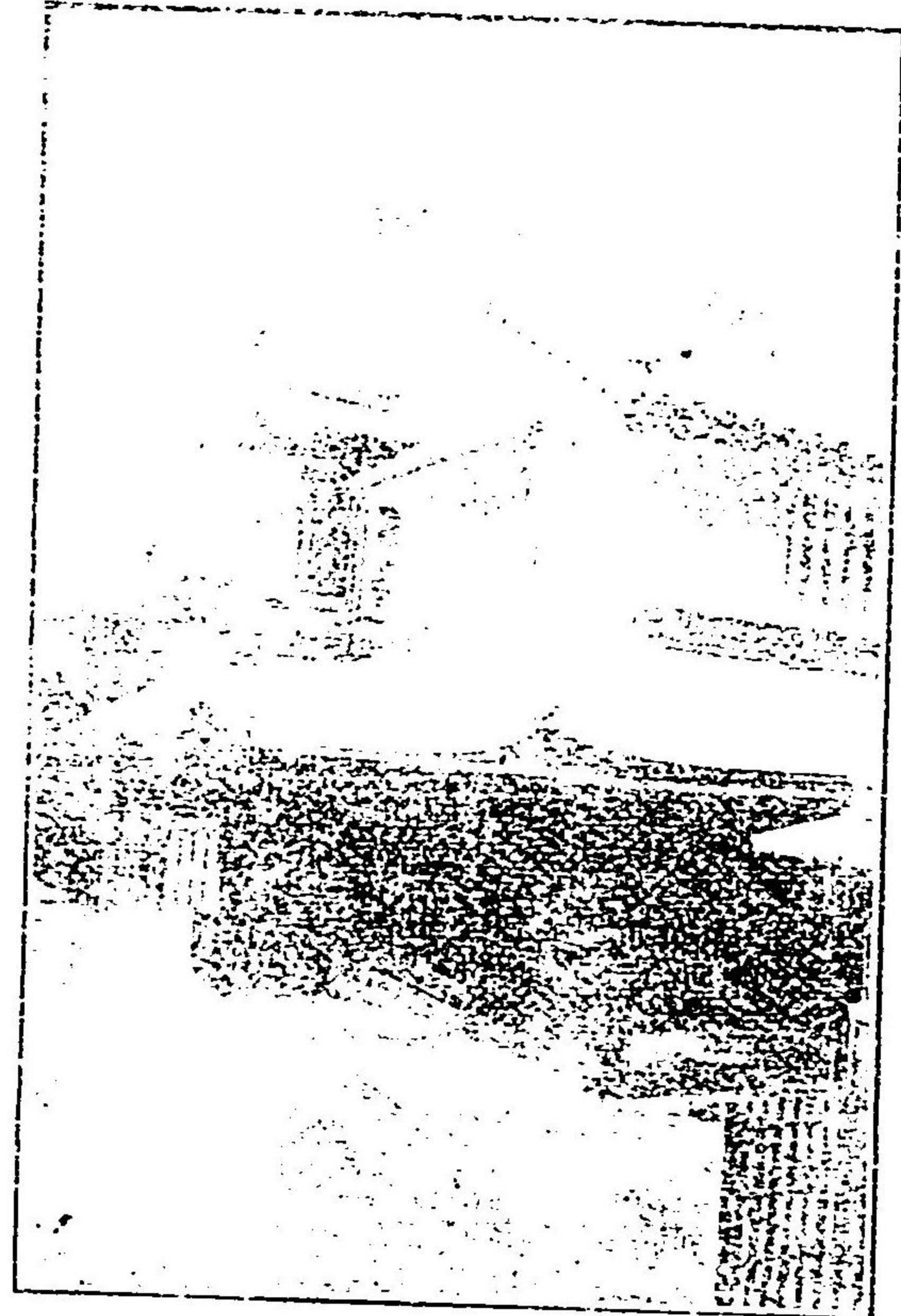
何勢古市

油屋本店

山内信吉場前

油屋支店

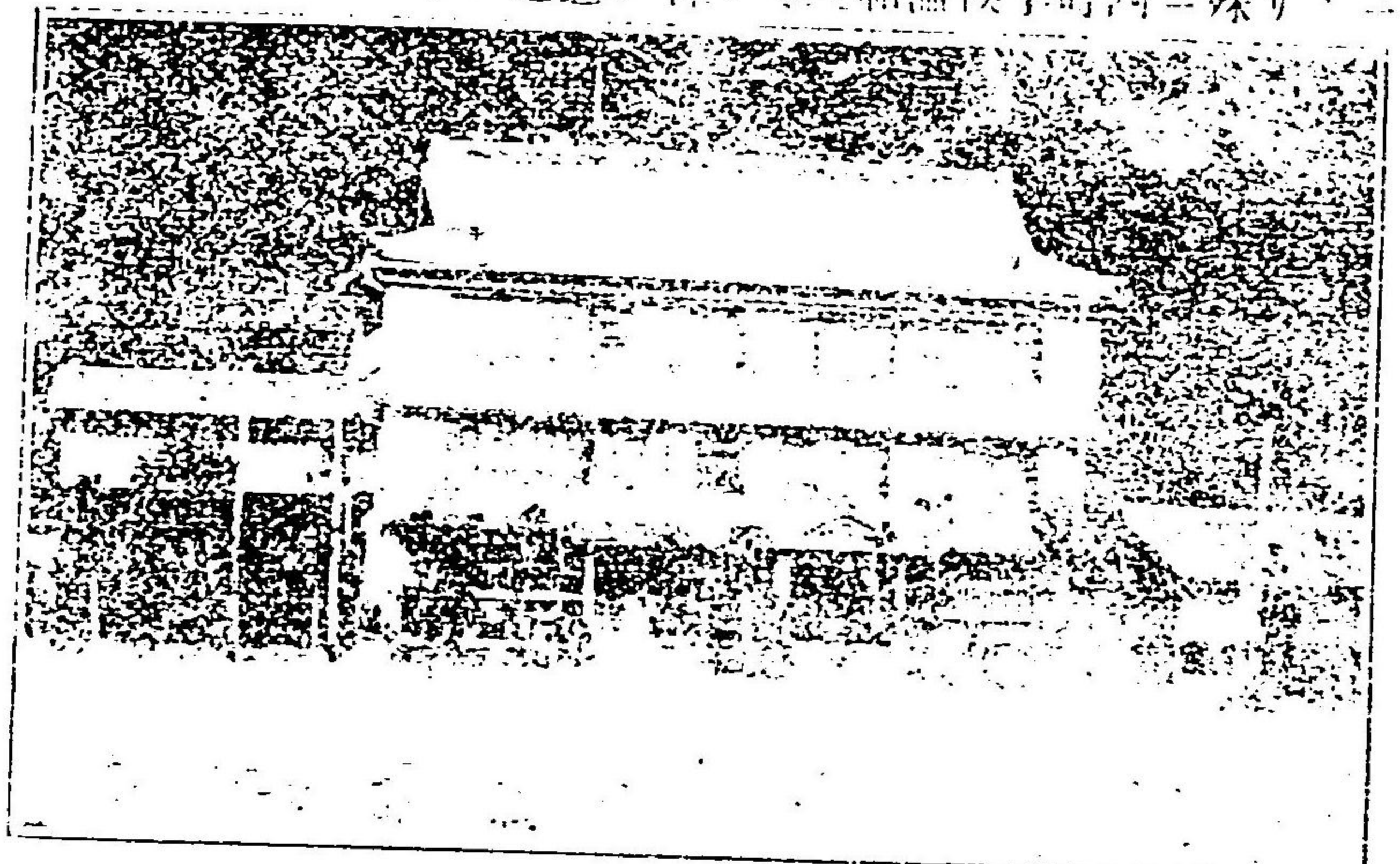
電長十九番



伊勢國朝熊郡富田番屋敷  
 宇治山田市尾上町十四番屋敷  
 野間岡彦支店

旅館

海 水 浴  
 紀州各港其德汽船乗客取扱  
 紀州各港其德汽船乗客取扱  
 紀州各港其德汽船乗客取扱



鳥羽港新築三層樓  
 大阪事務所 長門館 電話六番



津市旅館

中之番町	阿漕浦	萬町	藏町	津停車場前	京口町
料理兼	料理兼	料理兼	料理兼	料理兼	料理兼
林	千鳥	櫻水	岡	若	加喜伊
電話長二八番	電話二四番	電話長一三三番	電話長三七番	電話長一四三番	電話長二二〇番
家	館	樓	宗	六	伊

謹告

小亭ハ津市ノ中央ニアリ安濃松原白砂青松  
前庭ニ連リ東ハ伊勢海ヲ距テ、尾三ノ諸山  
一眸ノ裡ニアリ西ハ岩塔河ヲ挾ンデ長經  
諸峯窓下ニ横ハリ山海四季ノ風景皆悉ク備  
フ之レ小亭ノ大觀ナリ

高等旅館  
兼御料理

津市入江町

大觀亭

長電 六六番

津市旅館

榮町	津停車場前	西町	中之番町	萬町	京口町	榮町
鍋	松坂	古梅	國分	金時	若林	勢榮
電話長七〇番	電話長一八番	電話長一二番	電話長二〇番	電話長二七番甲	電話長三〇番	電話長二三四番
屋	屋	軒	屋	時	亭	館

第五回内勸博覽會其會賞牌十個受領

●振替口座大阪七〇四三番  
類似品アリ命商標ニ御注意ノ上最寄販賣店ニテ御購求アラシコ  
●電話長 三六五番



足下ナリ袋足發賣元

足袋防被服 各種一服 腹切 當役 股引 脚所 類受

津市宿屋町中屋商店 堤清助



館 ★ 旅

ルアホ都神

伊勢(外宮)大世古町

神風館

山田ステーション前

神風館支店

館 旅



伊勢山田市

大安

電話長五十三番

鯷油漬各種罐詰  
海軍省御用品製造

三重縣鳥羽町

東洋水産株式會社

電話長二九番

理料御洋和

伊勢松阪町愛宕町

むさし

廣月樓

竹中

電話長五九番



鯷油漬各種罐詰  
海軍省御用品製造

三重縣鳥羽町

東洋水産株式會社

電話長二九番

和洋御料理

伊勢松阪町愛宕町

ひさし

廣月樓

竹中 〆

電話長五九番



松阪木綿ハ染色糸質共ニ堅牢ナリ

# 松阪木綿

松阪木綿ハ每反嚴密ナル検査ヲ行フ

松阪木綿最近一年ノ産額十六萬反ナリ

松阪木綿ノ主ル者  
問屋及製造者

大	石	白	藤	丸	伊	岡	上	森	棚	西
井	井	塚	村	木	藤	田	野	本	橋	出
勘	大	喜	清	幸	又	右	孫	市	仲	萬
彌	次	兵	四	幸	衛	門	七	助	次	治
平	郎	衛	郎	助	助	助	助	助	郎	郎

綿絲綿布

製造販賣

# 三重紡績株式會社



松阪木綿ハ染色糸質共ニ堅牢ナリ

# 松阪木綿

松阪木綿ハ每反嚴密ナル検査ヲ行フ

松阪木綿最近一年ノ産額十六萬反ナリ

松阪木綿ノ主ル者  
問屋及製者

西	棚	森	上	岡	伊	丸	藤	白	石	大
出	橋	本	野	田	藤	木	村	塚	井	井
萬	仲			又		清	喜	大	勘	
治	次	市	孫	右	幸	四	兵	三	次	彌
郎	郎	助	七	門	助	郎	衛	郎	郎	平

綿絲綿布  
製造販賣

# 三重紡績株式會社







商標 登錄  
 標 一 庖 之 厨 用 第  
 票 日 之 常 品 火  
**油 醬 上 最**  
 町 濱 南 市 津 縣 重 三  
**造 製 門 衛 右 茂 澤 藤**

**GONIKAI HOTEL,**  
 YAMADA, ISE.  
 (5 HOURS FROM NAGOYA.)  
 The Shrine of Sun Goddess Imperial Ancestress.

---

館 旅 洋 和  
**ル テ ホ 會 二 五**  
 番 二 五 話 電 長  
 ( 田 山 勢 伊 )

商 標 登 錄  
 正 正 正 正 正  
 種 種 種 種 種  
 白 粉 板 粉 油  
 種 仁 販 粉 油  
 種 用 仁 販 粉 油  
 種 亞 製 正 正 正  
 種 食 麻 造 種 種  
 種 油 油 油 油 油  
**四 日 市 製 油 場**  
 三 重 縣 四 日 市 市 濱 町  
 長 電 四 三 番  
 零 七 二 八 七

**YOKKAICHI OIL MILL**  
 Manufactures of  
**OILS & PAINTS.**  
 YOKKAICHI, ISE, JAPAN.




商標 登錄  
 最上醬油  
 一庖之廚用  
 三重縣津市南濱町  
 藤澤茂右衛門製  
 日常必需品



GONIKAI HOTEL,  
 YAMADA, ISE.  
 (5 HOURS FROM NAGOYA.)  
 The Shrine of Sun Goddess Imperial Ancestress.

和洋旅館  
 五二會ホテ  
 長電話二五番  
 (伊勢山田)

商標 登錄  
 正正正正  
 種白種種  
 板粉板粉  
 油油油油  
 三重縣四日市市濱町  
 四日市製油場  
 長電四三番  
 零七ユ又ハセ



YOKKAICHI OIL MILL  
 Manufactures of  
 OILS & PAINTS.  
 YOKKAICHI, ISE, JAPAN.



# 伊勢參宮案内

山田停車場ヨリ各地へ距離  
 外宮へ三丁、古市へ十八丁、内宮へ五十丁、二見浦丁へ八十丁  
 山田停車場ハ山田市本町ニアリ市ノ中央ニシテ外宮、内宮、二見浦へ参詣ニ最モ便利ヨク殊ニ電車ハ十六分毎ニ發着ス  
 一人前 内宮へ 片道金拾錢 往復金拾七錢  
 同 二見へ 同金拾參錢 同 金廿四錢  
 同 外宮 内宮 二見浦巡廻金參拾參錢  
 団体参宮ノ方ニハ特ニ割引切符ヲ發賣ス  
 大々御神樂料金及ヒ昇殿人員數奉奏手續キ一萬度大麻拜授ノ次第其他詳細ノ件ハ指定旅館高千穂館ニテ確實明瞭ニ御案内可仕候  
 帝國鐵道院指定旅館高千穂館ハ客室五十疊余ノ廣間外ニ大小六拾間五百疊余アリテ優ニ數百人ノ宿泊ニ適ス  
 夜間御散步ニハ新古市遊廓芝居寄席其ノ他遊戯場僅ニ四丁

前驛左か(指)定旅館(長)電五百十五番

高 千 穂 館  
 かた ち ほ にか

外宮前本店(北)村屋(電)五百一十五番

# 酒水銘菓ハ

無花果 芭蕉の露 月歌仙殿

菓子舖新吾妻  
 四日市港



# 油 醬 酒 清



市津縣三重 元造釀

門衛右仙本森

番一六二一東京座口替振・番八四電話

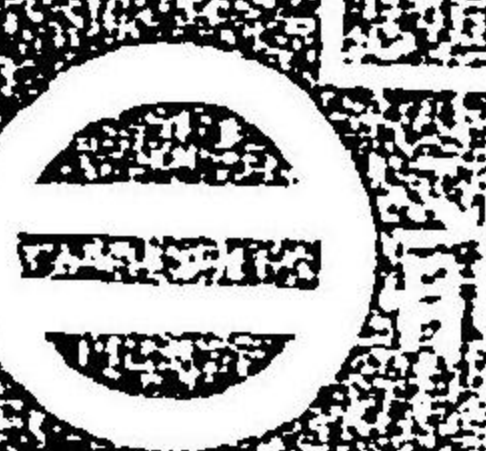




本店山田市中心三ツ停車場前四丁



支店停車場前直々角至極便利



旅館

山田本

宇

仁

館

本店各  
支店各

支店  
分店  
本館

山田  
宮  
宮

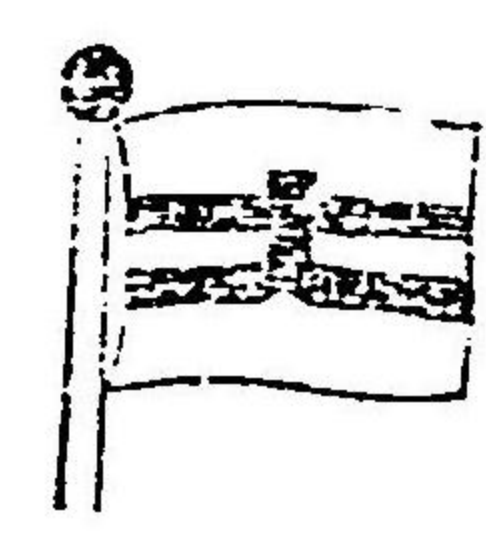
停車場  
前  
前

分店  
分店

電話

支店長  
分店長  
分店長

大阪商船株式會社代理店  
帝國海上運送保險會社代理店

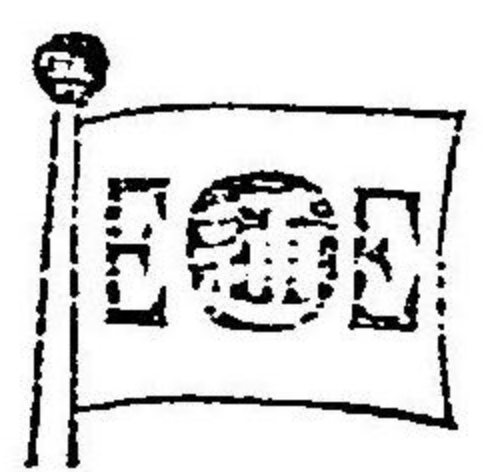


伊勢四日市港高砂町

黑川回漕店

特電話(二五番)

內國通運株式會社取引店



伊勢四日市驛前

黑川支店

特電話(四番)

御料理

伊勢四日市市

松茂樓

電話 長五三〇八番



各店共計十數客室有之  
 一各店外一宮外一高居前

本店、山田、中央、三、停車場、四丁

旅館

山田

支店

山田

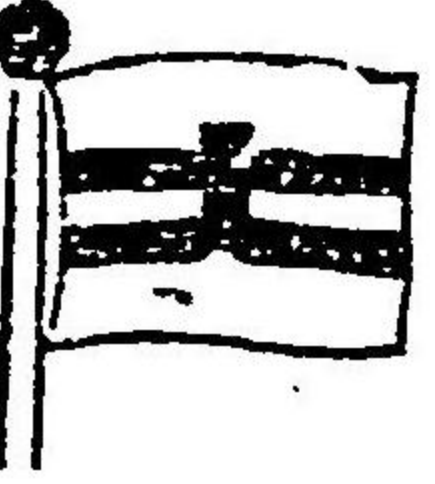
支店

支店

支店、停車場、前、直、角、至、極、便利

電話  
 本店 長二〇番  
 支店 長二二番  
 分店 長一五番

大阪商船株式會社代理店  
 帝國海上運送保險會社代理店



伊勢四日市港高砂町

黒川回漕店

特電話(二五番)

内國通運株式會社取引店



伊勢四日市驛前

黒川支店

特電話(四番)

御料理

伊勢四日市市

松茂樓

電話 長五三〇八番



白砂青松  
ノ内ニア  
リテ風景  
絶佳ナリ  
當館ハ海  
水温浴ノ  
設備アリ

富田濱海水浴場

旅館 霞 洋館

富田停車場ヨリ七丁  
富田濱停車場ヨリ一丁

電話架設中

高等洋服調製  
各國毛織物商

三重縣四日市市南町

南川佐太郎

電話番號一七八番  
振替口座二二七一九番

洋物部營業課目

- 各種洋傘類
- レリース肩掛類
- 室内敷物一式
- 防寒用毛皮類
- メリヤス、シャツスボン下
- 中山中折學生帽子
- 旅行用靴類一式
- 手袋首卷靴下類
- 各種運動具一式
- 各種毛布膝掛類

南川洋物雜貨部

電話番號一七八番  
振替口座一三七一九番

松島館本店  
電話番號一七八番  
振替口座一三七一九番  
松島館支店  
電話番號一七八番  
振替口座一三七一九番



白砂青松  
ノ内ニア  
リテ風景  
絶佳ナリ  
當館ハ海  
水温浴ノ  
設備アリ

富田濱海水浴場

旅館 霞洋館

電話架設中

富田停車場ヨリ七丁  
富田濱停車場ヨリ一丁

高等洋服調製  
各國毛織物商

三重縣四日市市南町

南川佐太郎

電話番號一七八番  
振替口座二二七一九番

洋物部營業課目

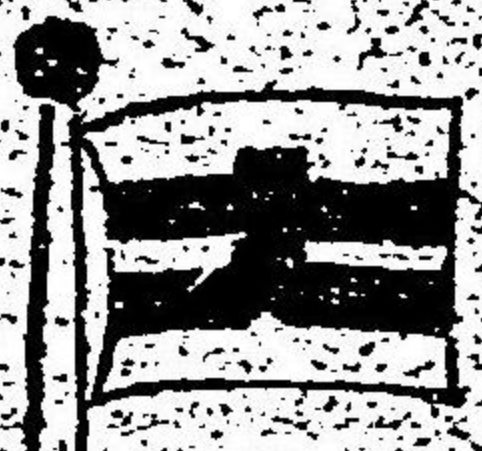
- 各種洋傘類
- レリース肩掛類
- 室内敷物一式
- 防寒用毛皮類
- メリヤス、シャツスボン下
- 中山中折學生帽子
- 旅行用靴類一式
- 手袋首卷靴下類
- 各種運動具一式
- 各種毛布膝掛類

南川洋物雜貨部

電話番號一七八番  
振替口座一三七一九番

出帆時刻

津、四日市、名古屋行 毎日二回  
午前七時及午前十二時發  
崎島、南島、經由紀州各港木ノ  
本行 毎日一回 午前十二時發  
紀州各港經由兵庫大阪行(郵  
便船) 毎日一回 午後三時發



三重縣鳥羽港  
大阪商船株式會社 藤本回漕店  
鳥羽港荷客取扱店 電話二二三番

寄港地

名古屋、四日市、津、鳥羽、波切、越  
賀、阿曾、神前、錦、長島、島勝、引  
本、尾鷲、九鬼、三木浦、二木島、木  
ノ本、三輪崎、勝浦、太地、右座、串  
本、周三見、田邊、印南、御坊、比井  
湯淺、和歌山、和歌浦、兵庫、大阪

旅館 松島

伊勢山田尾上町

電信略號 シマ

松島館本店

電話長二十九番

本館ハ當市ノ中央ニシテ外宮  
ヨリ八丁目ニ位スル三層樓ニ  
シテ和洋敷十有餘ノ客室ヲ有  
シ空氣流通眺望尤モ宜ク室内  
電話ノ設置アリ内外貴賓ノ御  
宿泊ニ適ス  
本館ニ從來ヨリ重寶ノ御神木  
アリ敬神者諸君ニハ隨意縱覽  
供ス

山田停車場前右三軒

松島館支店







伊勢内宮前 長電話二四六番  
すし久  
御料理  
御旅館  
水月樓

五十餘年の清流に臨み眺望絶佳

伊勢山田市外宮前

上田旅館

電話(二六四番)

弊館は親切丁寧にして至極輕便を專らとす

三重縣鳥羽港  
和酒類問屋 角卯商店

電話(夕)電話番號(二〇)

御旅館 同上海岸 角卯館

紀州各港大阪行並各地汽船乘客取扱  
電話(夕)電話番號(二〇)

海水浴 二見館

電話(長)二三番  
伊勢二見浦海岸

# 鷹印セル地

染色の變褪せざると地質の堅牢なるは責任を負て保證する處なり

製造 販賣元 平松藤五郎

營業品目

各國毛織物 毛布旅行用具  
洋服調進 洋服附屬雜貨  
インパネース 襟卷、肩掛  
吾妻コート 帽子、洋傘

三重縣四日市市辻

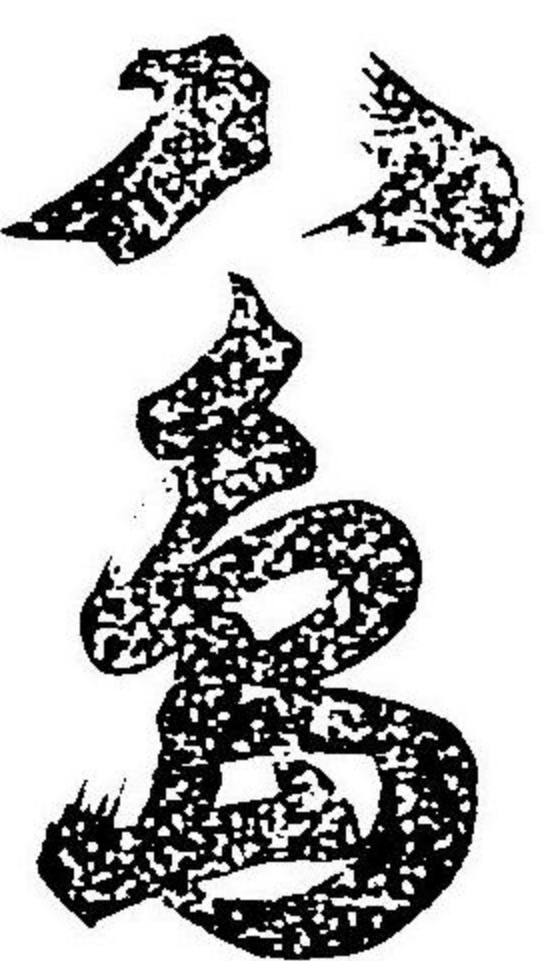
平松洋服店

電話 五六六番  
振替口座東京二六七八

# 純良清酒

宮内省御買上蒙恩命(第四回内國博覽會)  
有栖川宮殿下御用命酒  
第三回内國勲業博覽會進歩二等賞  
英國開龍世界大博覽會優等銀牌  
第四回内國勲業博覽會二等進歩賞

有權商標



第五回五二會品評會最優等進歩金牌  
巴里萬國大博覽會優等金牌  
第五回内國勲業博覽會一等賞  
第九回關西府縣聯合共進會一等賞  
其他縣下品評會共進會受賞略ス

伊勢 室山 伊藤傳七 釀造



# 鷹印セル地

染色の變褪せざると地質の堅牢なるは責任を負て保證する處なり

製造 販賣元 平松藤五郎

## 營業品目

各國毛織物 毛布旅行用具  
 洋服調進 洋服附屬雜貨  
 インパネース 襟卷、肩掛  
 吾妻コート 帽子、洋傘

三重縣四日市市辻

平松洋服店

電話 五五六番  
 振替口座東京 一六七八八

# 純良清酒

宮内省御買上蒙恩命(第四回内國博覽會)  
 有栖川 宮殿下御用命酒  
 第三回内國勸業博覽會進歩二等賞  
 米國閣龍世界大博覽會優等銀牌  
 第四回内國勸業博覽會二等進歩賞

有權

商標



第五回五二會品評會最優等進歩金牌  
 巴里萬國大博覽會優等金牌  
 第五回内國勸業博覽會一等賞  
 第九回關西府縣聯合共進會一等賞  
 其他縣下品評會共進會受賞略ス

伊勢 室山 伊藤傳七 釀造



# 旅 館

山田停車場へ出迎人を遣し置候間御着の上は必ず  
「大橋館」と大聲にてお呼び下さり



伊勢 内宮 宇治橋前

# 大 橋 館

長電話三三八番  
振替東京一八九二七番

外宮前より電車の便あり内宮まで賃金通行税とも  
金十銭



# 旅 館

山田停車場へ出迎人を遣し置候間御着の上は必ず  
「大橋館」と大聲にてお呼び下さい



伊勢 内宮 宇治橋前

# 大 橋 館

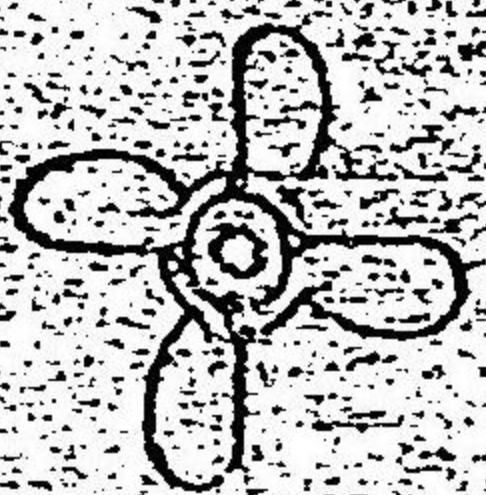
長電話 三三八番  
振替東京 一八九二七番

外宮前より電車の便あり内宮まで貨金通行税とも  
金十銭

## 業 營

船舶の新造及修繕諸機械器  
具の製造及修繕船渠及起重  
器の貸與海上運輸業並に

三重縣志摩郡鳥羽町  
本 社 電話九番(社 用)  
電話二七番(俱樂部用)



# 合 資 會 社 鳥 羽 造 船 所

## 目 種

電氣供給業  
鳥羽式船舶用石油發動機

(專賣特許第五〇七八八號)

大阪市西區刺波堀通四丁目  
大阪出張所

電話西一四二〇番



始 祖

伊勢土產  
名菓

老之雪  
越之山  
桐葉山  
宣長翁遺芳菓

各種

三重縣伊勢松阪中町  
總本家楊柳園十四世

菓子司

柳屋奉善老舖

長電話百三十八番

菜種油 白絞油



菜種油粕 玉粉粕



諸罐詰沃度製造所

石原圓吉

三重縣志摩郡鳥羽町

諸海產物製造

罐詰創業明治十八年

鳥羽港

登錄商標 全阿部隆寬堂

人造天蠶一手販賣所





諸罐詰沃度製造所

⊗ 石原圓吉

三重縣志摩郡鳥羽町

諸海產物製造

罐詰創業明治十八年

鳥羽港

登錄商標 **全** 阿部隆寬堂

人造天蠶一手販賣所

始 祖

伊勢土産

名菓

老之件

越之雪

桐葉山

宣長翁遺芳菓

各種

三重縣伊勢松阪中町  
總本家楊柳園十四世

菓子司

柳屋奉善老舖

長電話百三十八番

菜種油 白絞油

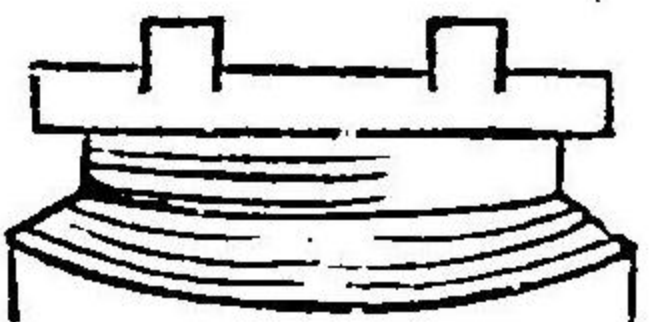


菜種油粕 粉粕



○第一二七七六號

實益竈  
廢物利用  
鋸屑タキ



此竈ノ焚物ハ鋸屑ニシテ三升ノ飯ガ廿分間ニテ上等ニ出來マシテ僅カ三厘ノタキモノニテタケマス徳用ナ竈デアリマス

輕便徳用炭ハマツチデ火ノ付ク炭ニシテ蕘盆用火鉢用ニハ至テ便利ニシテ火持ヨク徳用炭ナリ即席來客用進物用ニ適當品ナリ

三重縣四日市市高砂町

石炭、コークス  
セメント販賣 **松島石炭商會**

振替貯金口座(東京)第一四一〇三番  
電話 二二一〇一三番

支店 名古屋市松重町 電話一〇三三番

### 旅 館

四日市市濱町

吉高屋 電話一三三番

同 高砂町

白木屋 電話二五四番

同 停車場前

十九村屋 電話二〇五番

同 北

橋與 電話一七二番

## 内外洋紙商

四日市製紙會社製品販賣所

マニラボール用  
艶臺紙インジゲ製造販賣所  
一タペーバ

四日市市下新町

清水治助

長電話五十四番

登錄商標

アコギ織

製造發賣元

津市常磐町

下前田木綿店

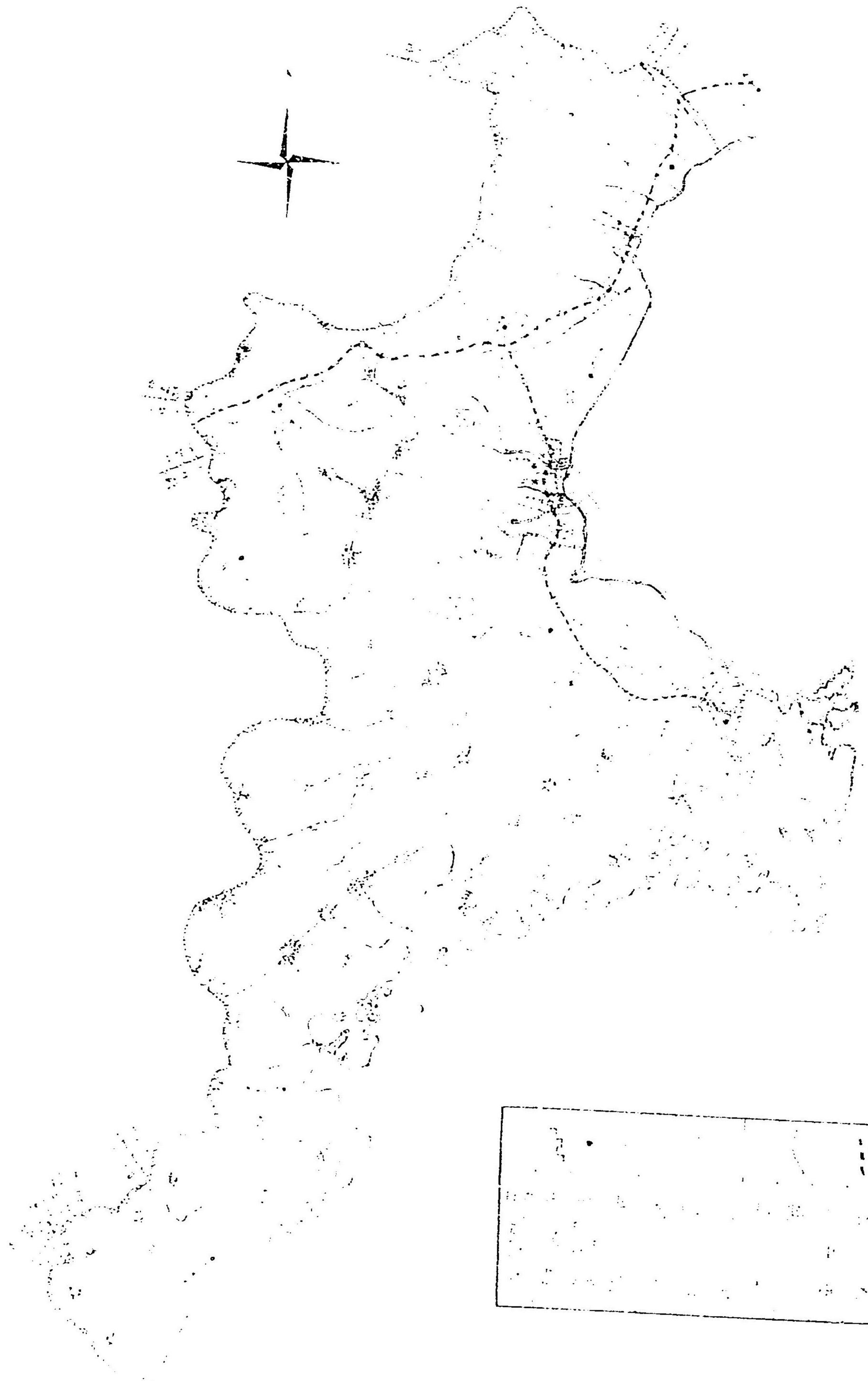
電話長一四六番

木綿製造販賣

一志郡矢野村

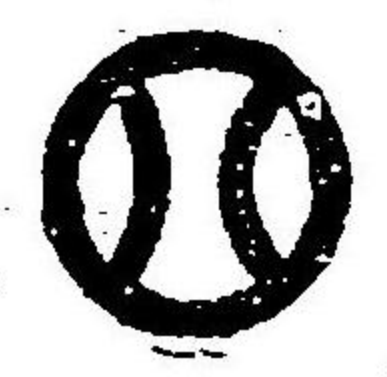
森本市助





三重縣管内略圖

資本金 七拾萬圓  
積立金 拾六萬貳千圓



株式會社 四日市銀行

四日市々藏町

電話 二二八番  
二三〇番

支店所在地

津市大門町  
四日市々南町

出張店所在地

河藝郡白子 三重郡室山  
三重郡菰野

登錄商標  
陸海軍御用達  
三重縣津市立町



平松金玉堂

電話 三三二番  
電略 (キニ)

貿易檜業  
檜材請負

三重縣津市釜屋町卅五番屋敷

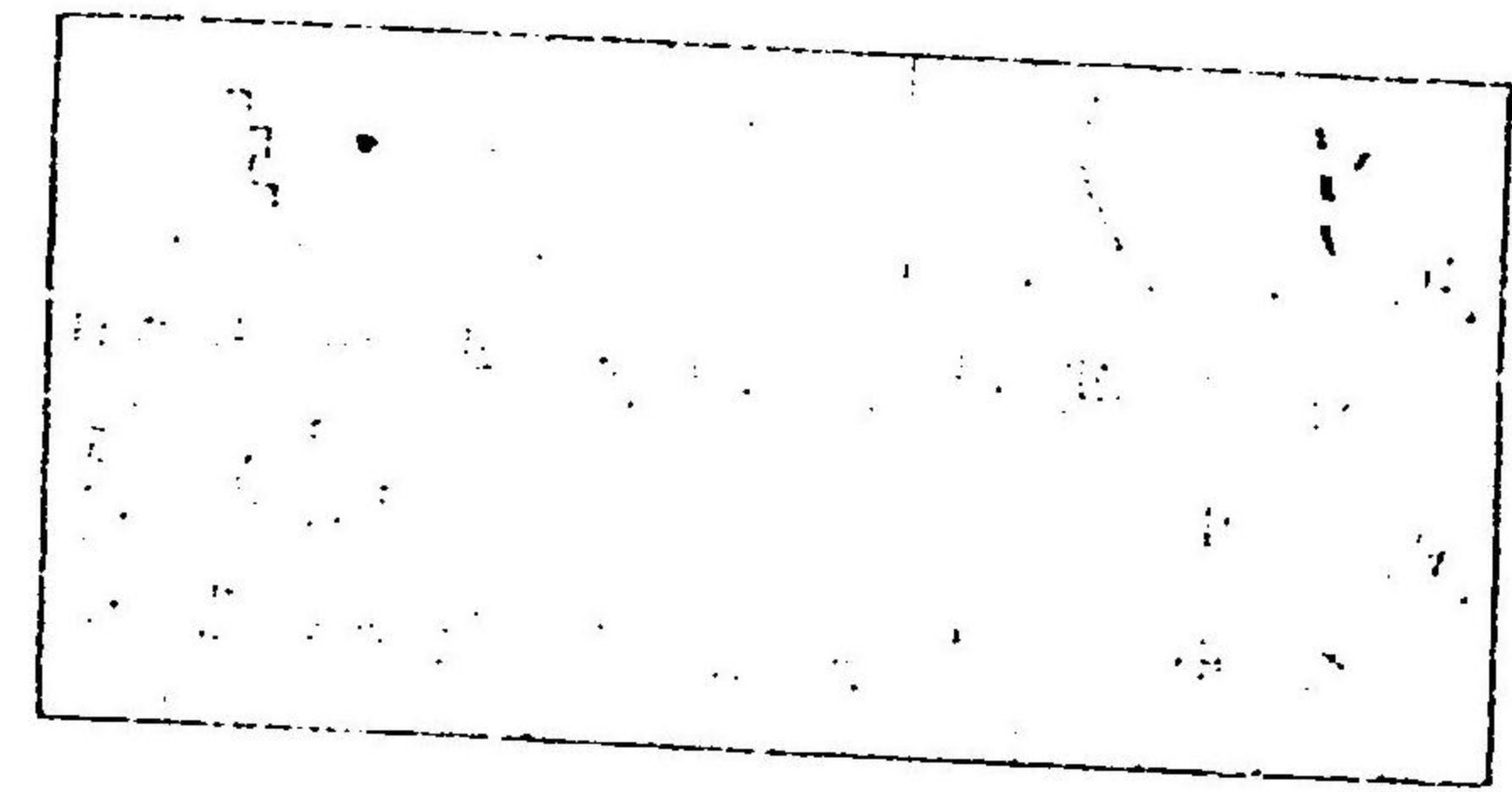
盛林組本店 林口萬次郎

長電話三三六番

同縣同市寺町七番屋敷

盛林組支店 小林豐吉

電話四〇三番





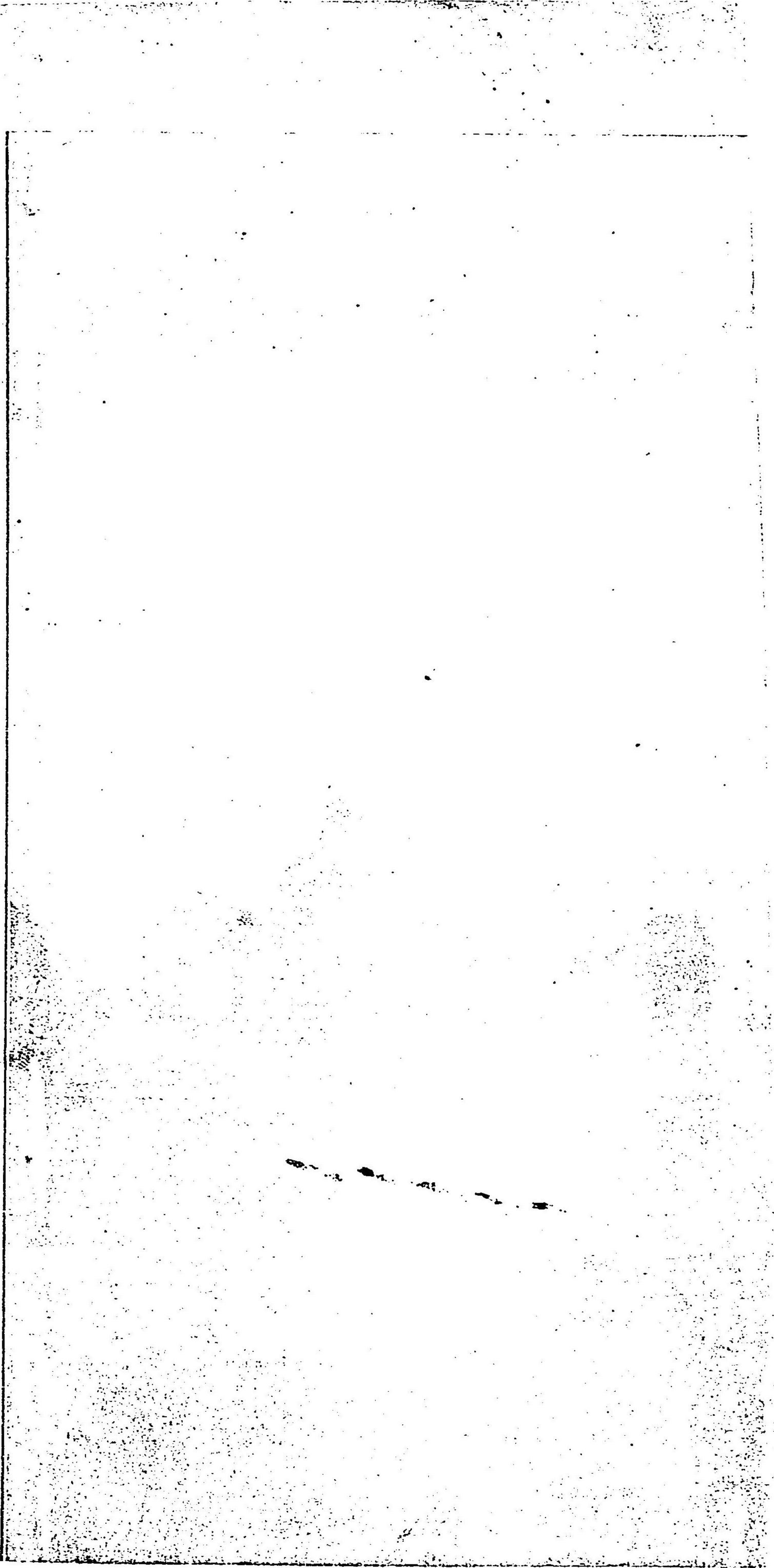
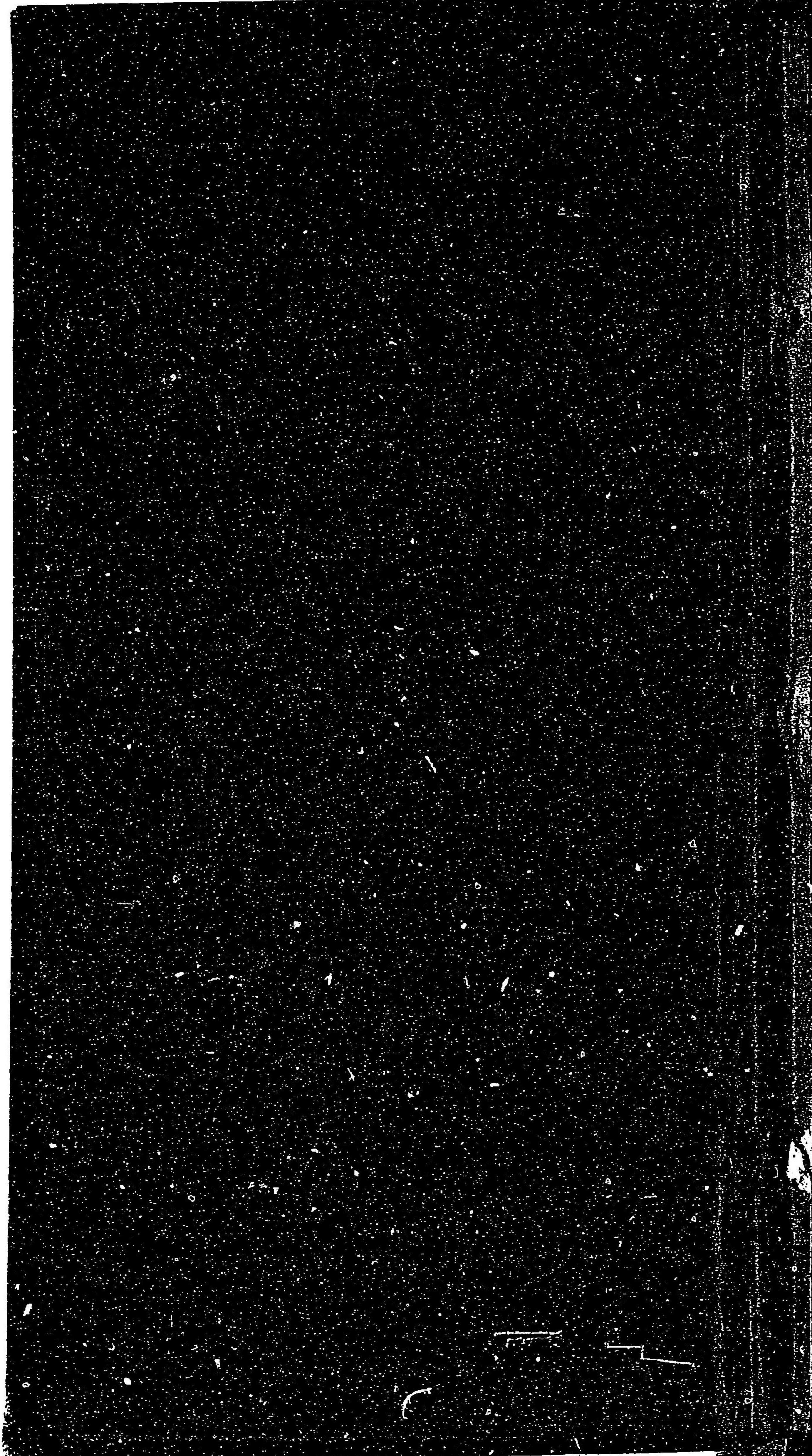




20
899

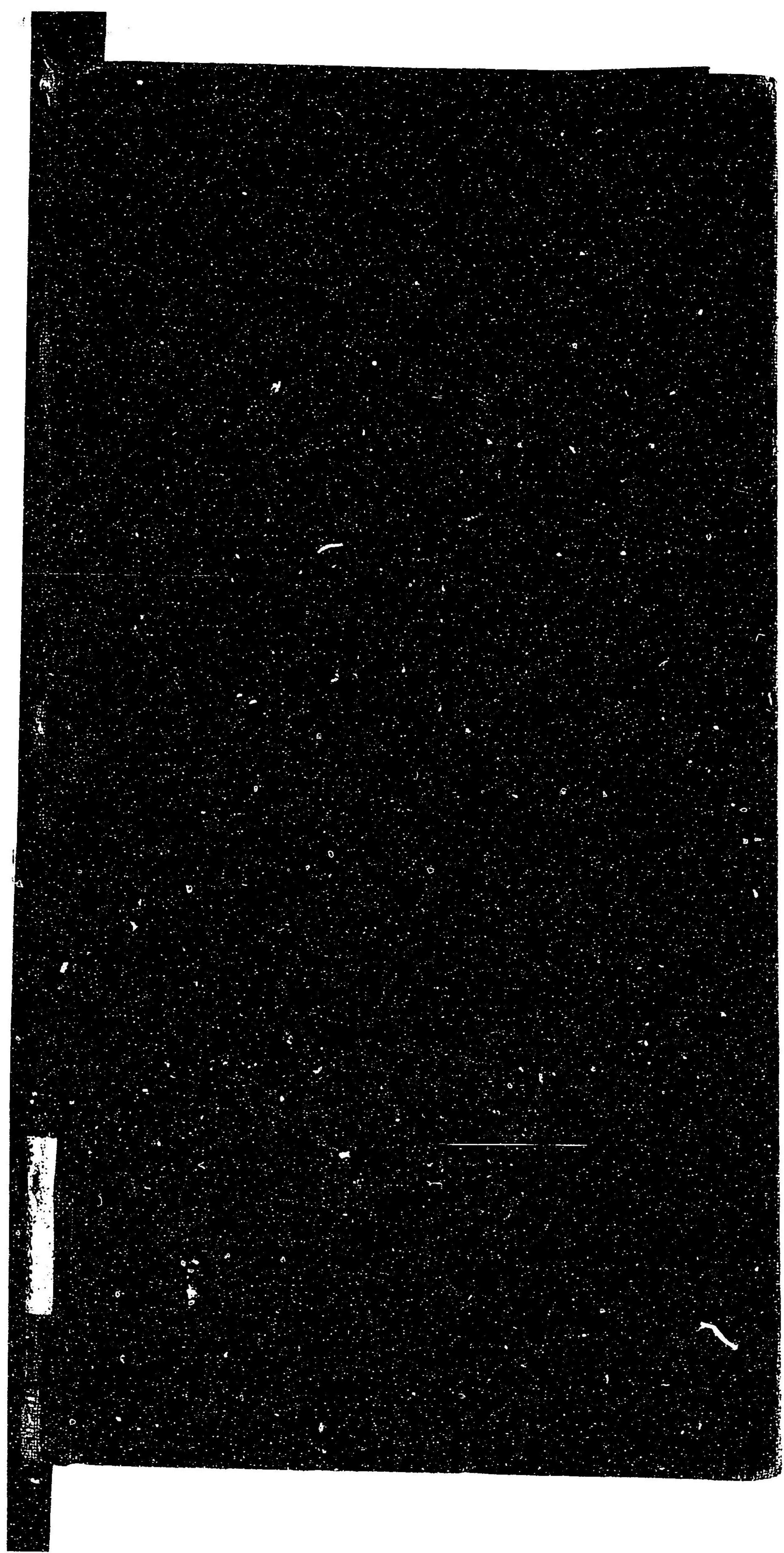
1914





4







25  
899

M

042118-000-1

25-899

三重県実業案内

第十回関西府県聯合共進会三重県出品協会編

M43

BDI-1094

